

小針野球場解体工事図（設計図）

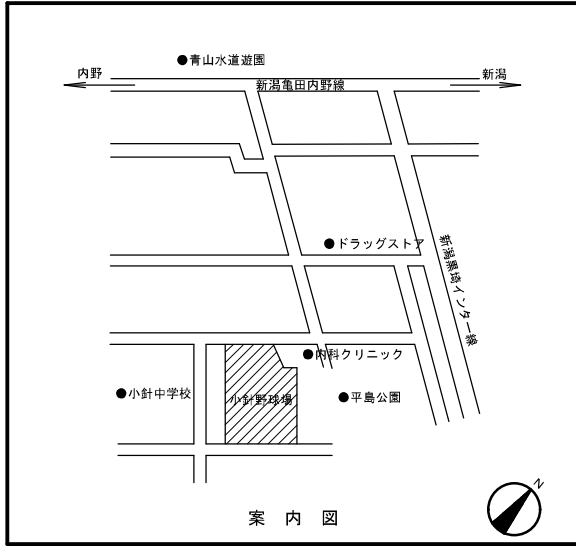
（参考図書）

予定価格算定のため、解体工事費の積算用に作成した設計図書です。
あくまでも参考図書となります。

解体図面目録

図面番号	解体図面名称
特記-1	解体特記仕様書
A-01	案内図・配置図・工事概要
A-02	仮設計画図
A-03	仕上表
A-04	平面図
A-05	立面図
A-06	天井伏図
A-07	矩計図
A-08	Aﾌﾞロック平面図
A-09	Bﾌﾞロック平面図
A-10	Cﾌﾞロック平面図
A-11	ﾀﾞｯｸﾞｱウト、B階段詳細図
A-12	RCｽﾀﾝﾄﾞ妻側詳細図
A-13	器械室(受水槽室)、C階段 平面及び断面図・伸縮目地詳細図
A-14	玄関、管理人室、審判控室 断面・展開図
A-15	旧管理人室 平面図・天井伏図・展開図
A-16	切符売り場、会議室 断面図・展開図、事務室展開図、
A-17	選手控室、選手溜所 断面図・展開図、その他詳細図
A-18	倉庫断面詳細図(材料置場断面図)
A-19	便所配置図
A-20	旧便所詳細図
A-21	男子便所詳細図
A-22	女子便所詳細図
A-23	職員便所詳細図
A-24	建具配置図
A-25	建具表-1(鋼製)
A-26	建具表-2(木製)
A-27	建具表-3
A-28	盛土ｽﾀﾝﾄﾞ 平面図・立面図・断面図
A-29	ﾊﾞｯｸﾈｯﾄ平面図・立面図・詳細図
A-30	ﾊﾞｯｸﾈｯﾄ立面図・ﾊﾞｯｸﾈｯﾄ及びｽﾃｰ平面図
A-31	球場平面図・球場高低図・路面断面図
A-32	球場排水系統図・ﾌｧｰﾙﾄﾞｰﾙ、外野ﾌｪﾝｽ 詳細図
A-33	外構配置図、リスト
A-34	外構詳細図
A-35	ﾌｪﾝｽ、防球ﾈｯﾄ詳細図
A-36	ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞ、ｶｳﾝﾄﾎﾞｰﾄﾞ、ﾊﾞｯｸｽｸﾘｰﾝ詳細図-1
A-37	ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞ、ｶｳﾝﾄﾎﾞｰﾄﾞ、ﾊﾞｯｸｽｸﾘｰﾝ詳細図-2
A-38	セﾌﾞﾃﾞｰﾌｪﾝｽ詳細図-1
A-39	セﾌﾞﾃﾞｰﾌｪﾝｽ詳細図-2
A-40	非常用発電機基礎・ﾌｪﾝｽ詳細図
C-01	杭伏図
C-02	基礎伏図
C-03	M2階伏図
C-04	2階伏図
C-05	便槽詳細図・ｽﾀﾝﾄﾞ基礎詳細図・土間ｺﾝｸﾘｰﾄ配筋詳細図
C-06	柱、梁 断面表
C-07	架構配筋図
C-08	ｽﾀﾝﾄﾞ、各階段 配筋図・床版及び壁 配筋表
C-09	盛土ｽﾀﾝﾄﾞ 構造図
E-01	電気設備解体数量表
E-02	全体配置図
E-03	電灯設備 平面図
E-04	誘導灯設備 平面図
E-05	非常用放送設備 平面図
E-06	自動火災報知設備 平面図
M-01	配置図・案内図
M-02	衛生器具表・機器表・樹リスト(撤去)
M-03	Aﾌﾞロック平面図・便所詳細図
M-04	Bﾌﾞロック平面図・便所詳細図
M-05	Cﾌﾞロック平面図・排水縦断面図
M-06	1階・2階平面図(空調)

小針野球場解体工事		仕様書																												
<p>仕様書</p> <p>I 共通仕様</p> <p>1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の建築物解体工事共通仕様書 平成31年版」（以下「解体共仕」という。）により、解体共仕に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書 平成31年版（以下「標仕」）及び公共建築改修工事標準仕様書 平成31年版（以下「改修標仕」）による。</p> <p>2. 解体共仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。</p> <p>2. 標仕に用いられている用語を次のとおり読み替える。</p> <p>(1) 「契約書」を「新潟市契約規則による帳票規定(昭和41年4月1日訓令第9号)別記様式第6号の2の工事請負契約約款(以下「約款等」という。))及びその他の関連要綱」に読み替える。</p> <p>(2) 「監督職員」を「監督員」に読み替える。</p> <p>(3) 「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。</p> <p>3. 次の各号に該当する解体共仕の項目について、解体共仕の規定を別表に置き換えて適用する。</p> <p>(1) 1章 1.1.2用語の定義の(7)及び(8) (2) 1章 1.6.1工事検査の(2)及び(3)</p> <p>4. 解体共仕の次の項目の規定は適用しない。</p> <p>1章 1.1.2 用語の定義の(7) 1章 1.6.2 技術検査</p> <p>別表(建築工事)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>号</th> <th>項目</th> <th>置き換え後の解体共仕の規定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1章 一般共通事項</td> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td>1.1.2 用語の定義</td> <td>(7) 「監督員」とは、約款第10条の規定により受注者に通知された者をいう。 (8) 「工事検査」とは、約款に規定する次の各事項をいう。 ①約款第32条第2項に規定する検査 ②約款第38条第3項に規定する検査 ③約款第48条第1項に規定する検査 ④その他 新潟市請負工事検査要綱第5条に規定する検査</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>1.6.1 工事検査</td> <td>約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとし、当該請求部分に係る工事について、(1)の要件を満たすものとする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 建築物除却届の提出 建築基準法15条第1項に該当する場合は建築物除却届を提出すること。(受注者作成とする。)</p> <p>6. 周辺構造物対策 工事にあたって、周辺地盤のゆるみ又は沈下、構造物の破損、汚損等に十分注意するとともに、必要に応じて構造物の補強又は養生等について、その構造物の管理者とあらかじめ協議し、危害防止のための措置を講じなければならない。</p> <p>7. 公共設備等への対策 工事による影響があると思われる範囲内の公共埋設物、架空線等の処理等について、十分配慮して工事しなければならない。公共の埋設物、架空線等に接近して工事を施工する場合は、あらかじめその埋設物、架空線等の関係者と協議し、施工の各段階における保安上必要な措置、埋設物、架空線等の防護方法、立会の有無、緊急時の連絡先及び連絡方法等を決定しておかななければならない。</p> <p>8. 残置物がある場合 案内図、配置図、残置物等の配置図、その他監督員が指定した図面及び図面データ(PDFデータ、JWW、CADデータ)を提出すること。部数等は監督員の指示による。</p> <p>9. 写真について 工事施工状況写真の作成については「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領 平成28年版 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編(地業工事)及び解体工事編」による。</p> <p>II 特記仕様</p> <p>1. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>2. 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。</p> <p>◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。◎印と◎印の付いた場合は、共に適用する。</p> <p>3. 特記事項に記載の()内の表示番号は、解体共仕の当該項目、当該図または当該表を示す。特記事項に記載の(標仕)内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。</p>		号	項目	置き換え後の解体共仕の規定	1章 一般共通事項			(1)	1.1.2 用語の定義	(7) 「監督員」とは、約款第10条の規定により受注者に通知された者をいう。 (8) 「工事検査」とは、約款に規定する次の各事項をいう。 ①約款第32条第2項に規定する検査 ②約款第38条第3項に規定する検査 ③約款第48条第1項に規定する検査 ④その他 新潟市請負工事検査要綱第5条に規定する検査	(2)	1.6.1 工事検査	約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとし、当該請求部分に係る工事について、(1)の要件を満たすものとする。	<p>⑤ 工 事 用 水 構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)</p> <p>⑥ 工 事 用 電 力 構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)</p> <p>7 仮 設 建 物 等 現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。</p> <p>③ 1 浄化槽、排水槽等 汚水、汚物等の回収、洗浄、消毒等の措置 (3.2.1) ・ 行う ・ 行わない</p> <p>② 杭の解体 杭の解体工法 (3.9.2) ◎ 行う ・ 行わない 杭の解体工法 ◎ 引抜き工法 引抜いた杭の処理(※ 図示) ・ 破砕による解体</p> <p>③ 樹木等 樹木の伐採根及び移植 ◎ 行う(※ 図示) (3.11.1) (3.12.1)</p> <p>④ 地下埋設物及び埋設配管 地下埋設物及び埋設配管の解体 ◎ 行う(※ 図示)</p> <p>⑤ 設備機器等 解体事前処理(油類等) ・ 機械設備図による ◎ 下記による ◎ 解体に先立ち、燃料配管、燃料槽、燃料小出槽等に残油がないことを確認する。必要に応じて残油を抜き取り、燃料を土壌に流失させないように注意する。 ・ 燃料槽、燃料小出槽は、洗浄のうえ中和処理を行う。 解体事前処理(冷媒) 冷媒を屋外機にポンプでくみ出した後撤去を行う機器 ・ 機械設備図による 冷媒を回収した後撤去を行う機器 ◎ 機械設備図による</p> <p>⑥ さく、照明設備等の付属物 さくの撤去 ◎ 行う(※ 図示) ・ 行わない (3.10.1) 電柱の撤去 ◎ 行う(※ 図示) ・ 行わない 外灯の撤去 ・ 行う(※ 図示) ・ 行わない</p> <p>⑦ 整地前確認 解体建物、工作物等を撤去した範囲にコンクリート等の残地物がないことをスウェーバット等を用いて確認する。確認する深さについては監督員と協議すること。</p> <p>⑧ 解体後の整地 解体後の埋戻し及び盛土 (3.13.1) ◎ 行う A種 B種 C種 D種 (標仕3.2.3)(標仕表3.2.1) 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。</p> <p>整地高さ ◎ 現状 G L ・ 図示 ・ 行わない 表面の砂利敷き ※ 行わない ・ 行う(・ 砂利敷き B種) (標仕22.9.2)</p> <p>④ 1 特別管理産業廃棄物の処理 (5.4.1) 特別管理産業廃棄物の種類 備 考 ◎ 廃石綿等 ・ PCBを含む機器類 ・ PCB含有シリング材 ◎ 廃油 ・ 廃酸/廃アルカリ ・ ガイタルン類</p> <p>2 PCBを含む機器類 引渡しを要する機器類 ※ 図示 (5.4.1)</p> <p>3 PCB含有シリング材 ・ 除去処理工事 除去範囲 ※ 図示 (5.4.1) 撤去方法 ・ 「標準施工要領書(日本シリング工業会共同組合連合会/日本シリング工業会)による</p> <p>4 ガイタルン類 廃棄物の焼却施設の解体 解体方法 () 処分方法 ()</p> <p>⑤ 1 石綿含有分析調査 (6.1.3) 施工調査 ※ 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形版、建築材料等の使用の有無について調査する。 調査範囲(・ ◎ 図示) 貸与資料(調査報告書)</p> <p>分析対象 アモサイト、クリソタイト、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト 分析方法 ※ JIS A 1481-2 「建材製品中の78ベクト含有率測定方法-第2部：試料採取及び78ベクト含有の有無を判定するための定性分析方法」又は JIS A 1481-3 「建材製品中の78ベクト含有率測定方法-第3部：78ベクト含有率のX線回折定量分析方法」による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示 ・ 分析調査の結果、石綿の含有が確認された場合の対応は監督員との協議による</p> <p>⑥ 1 石綿粉じん濃度測定 (6.1.4) 測定時期、場所及び測定点 (6.1.4) 適用 測定名称 測定時期 測定場所 (各処理作業室ごと) ・ 測定 1 処理作業前 処理作業室内 ・ ()点 ・ 測定 2 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 ・ ()点 ・ 測定 3 処理作業中 処理作業室内 ・ ()点 ・ 測定 4 仕上りゾーン入口 ・ ()点 ◎ 測定 5 集じん・排気装置の排出口 集じん・排気装置各1点 (処理作業室外の場合) ・ ()点 ◎ 測定 6 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 ・ ()点 ◎ 測定 7 処理作業後 処理作業室内 ◎ (各1)点 ・ 測定 8 (隔離シート撤去前) 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 ・ ()点 ◎ 測定 9 処理作業後 シート 処理作業室内 ◎ (各1)点 ・ 測定 10 撤去後1週間以降 調査作業室外部の付近 ・ ()点</p> <p>測定方法 ・ 自動測定器による測定 測定名称 測定方法 ・ 測定 4 粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、 ・ 測定 5 繊維状粒子自動測定器(リタリタリモニター)等の粉じんを試料の吸引時間(min) 迅速に測定できる機器を用いた測定</p> <p>・ JIS K 3850-1に基づいた測定 測定名称 測定方法 ・ 測定 4 25φ 試料の吸引流量(L/min) 試料の吸引時間(min) ◎ 測定 5 25 5 30 ・ 測定 47 10 120 ・ 測定 47 10 240 ・ 測定</p> <p>(6.3.2)(6.3.3) ・ 石綿含有吹き付け材の除去又は石綿含有保温材等の除去で石綿粉じんを飛散させるおそれがある場合(損傷、劣化等) 除去対象範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 6.3.2による 除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止 ※ 密封処理 ※ 湿潤化 ・ セメント固化 除去した石綿含有吹き付け材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>◎ 石綿含有保温材等の除去 (6.4.3)(6.4.4) 除去工法 ※ 6.3.2(1)による(原形のまま、手ばらしが可能な場合) ・ 6.3.1~4による(損傷、劣化等で石綿粉じんを飛散させるおそれがある場合) 除去対象範囲 ※ 図示 除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止 ※ 湿潤化 ・ セメント固化 除去した石綿含有保温材の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場)・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>◎ 石綿含有成形板の除去 (6.5.3)(6.5.4) 除去対象範囲 ※ 図示 作業場の隔離 ◎ 行う ・ 行わない 除去した石綿含有成形板の処分 ・ 石綿含有せつこうボード ※ 埋立処分(管理型最終処分場) ◎ 石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板 ◎ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設)</p> <p>◎ 石綿含有塗装材の除去 (男子/女子/職員便所、内壁) 除去対象範囲 ※ 図示 除去工法 ◎ 石綿則第6条のただし書きにより、粉じん飛散防止に関し隔離措置と同等の措置と判断できる工法 注)工法の詳細は、「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針(平成28年4月28日 国立研究開発法人建築研究所・日本建築士上材工業会)」による。 除去した石綿含有吹き付け材等の処分 ◎ 埋立処分(管理型最終処分場)</p> <p>施工調査 ※ リタリタリモニター含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりリタリタリモニター含有している建築材料の使用の有無について調査する。 調査範囲(・ 図示) 貸与資料() 除去処理対象物 除去対象範囲 ※ 図示 除去方法 ※ 図示 処分 ・ 埋立処分(安定型最終処分場)</p> <p>特殊な建設副産物の調査 (7.1.3) ◎ 調査済(目視できるもの) 備 考 ◎ 特別 ・ 建材用断熱材2種 ・ 断熱 ◎ 化学式感知器 ・ リフォーム ・ 六ふっ化硫黄(SF6)ガス ・ PFOS(ペルフルオロオキソカルボン酸) ・ 特定化学物質() ・ その他の特殊な建設副産物() ・ 未調査 分析による特殊な建設副産物の調査 (7.1.3) ・ 行う(下表による) ・ 行わない 特殊な建設副産物 備 考</p> <p>上記以外に調査が必要と思われる箇所があった場合は、監督員と協議すること。 種類、回収、及び処分は図示による。(7.3.1)</p> <p>2 特殊な建設副産物の回収及び処分</p>	材 料 名	定性分析	定量分析		・ 箇所数()	・ 箇所数()		・ 箇所数()	・ 箇所数()		・ 箇所数()	・ 箇所数()		・ 箇所数()	・ 箇所数()	<p>① 家屋調査 ◎ あり「建築工事における家屋調査仕様書」(新潟市のHPに掲載) トップページ>産業・経済・ビジネス>土木・建築>公共工事>工事関係書類 ※家屋調査範囲 棟数・建物規模は図示 ・ なし</p> <p>② 1)再生資材の利用 下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。 再生資材名 規格 使用箇所 再資源化施設名・所在地 備 考 2)建設発生土の利用 盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。 発注機関 工事名 発生場所 施工会社名・連絡先 備 考 3)建設発生土の搬出 工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。 受入工事名/施設名称 工事場所/施設所在地 連絡先 搬出場所の有無 備考</p> <p>4)建設廃棄物の搬出 (特定建設資材) 工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとして積算している。 搬出する廃棄物名 コンクリートくず 処理施設名称 青木産業㈱ 施設所在地 新潟市北区島見町4463-2 連絡先 025-258-3336 備考</p> <p>搬出する廃棄物名 アスファルトくず 処理施設名称 エイ・エックス㈱ 施設所在地 新潟市東区山木戸下屋敷1500-17 連絡先 025-282-7667 備考</p> <p>搬出する廃棄物名 木くず 処理施設名称 樹林コンコーポレーション 施設所在地 新潟市東区臨港町3丁目4914番地583 連絡先 025-271-8100 備考</p> <p>搬出する廃棄物名 処理施設名称 施設所在地 連絡先 備考</p> <p>搬出する廃棄物名 処理施設名称 施設所在地 連絡先 備考</p> <p>上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。</p> <p>5)最終処分する建設廃棄物及び最終処分場 工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとして積算している。 搬出する廃棄物名 石綿廃棄物 処理施設名称 樹加藤組 施設所在地 五泉市阿弥陀瀬841-3 連絡先 0250-25-7497 備考 管理型</p> <p>搬出する廃棄物名 ガラス・陶磁器・廃プラ 処理施設名称 樹エコ・ユー 施設所在地 柏崎市大字芋川2627-13 連絡先 0257-29-2185 備考</p> <p>搬出する廃棄物名 石綿廃棄物・ガラス・陶磁器・廃ボード 処理施設名称 新潟県環境保全事業団 施設所在地 三島郡出雲崎町大字稲川884 連絡先 0258-41-7800 備考</p> <p>上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。</p>
号	項目	置き換え後の解体共仕の規定																												
1章 一般共通事項																														
(1)	1.1.2 用語の定義	(7) 「監督員」とは、約款第10条の規定により受注者に通知された者をいう。 (8) 「工事検査」とは、約款に規定する次の各事項をいう。 ①約款第32条第2項に規定する検査 ②約款第38条第3項に規定する検査 ③約款第48条第1項に規定する検査 ④その他 新潟市請負工事検査要綱第5条に規定する検査																												
(2)	1.6.1 工事検査	約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとし、当該請求部分に係る工事について、(1)の要件を満たすものとする。																												
材 料 名	定性分析	定量分析																												
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																												
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																												
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																												
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																												
<p>② 仮設工事</p> <p>① 足場その他 ◎ 枠組足場 ◎ ぐさび緊結式足場 ・ その他() 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 内部解体足場 ◎ 脚立足場、足場板等 ◎ 枠組足場 ・ 移動式足場</p> <p>3 監督員用事務所等 ・ 監督員事務所 ・ 10 ・ 20 ・ 35 ・ 65 ・ m²程度を設ける。(2.3.1) ・ 仮設事務所の中に監督員用空間を m²程度確保する。</p> <p>4 監督員が使用できる備品等 監督員が使用できる備品として、下記のを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ・ 保護帽 ケ ・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 安全帯 組</p>	<p>② 特殊な建設副産物の回収及び処分</p>	<p>工事名 小針野球場解体工事 名 解体特記仕様書 年月日 2020.10 縮尺 図面番号 特記-01</p>																												



■工事概要

敷地概要

工事場所：新潟市西区小針1丁目地内
 敷地面積：25,575m²
 地域・地区：第2種中高層住居専用地域 市街化地域
 防火指定等：建築基準法第22条地域
 建ぺい率：60%
 容積率：200%

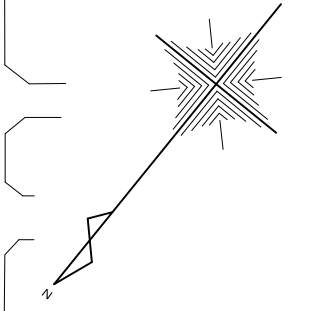
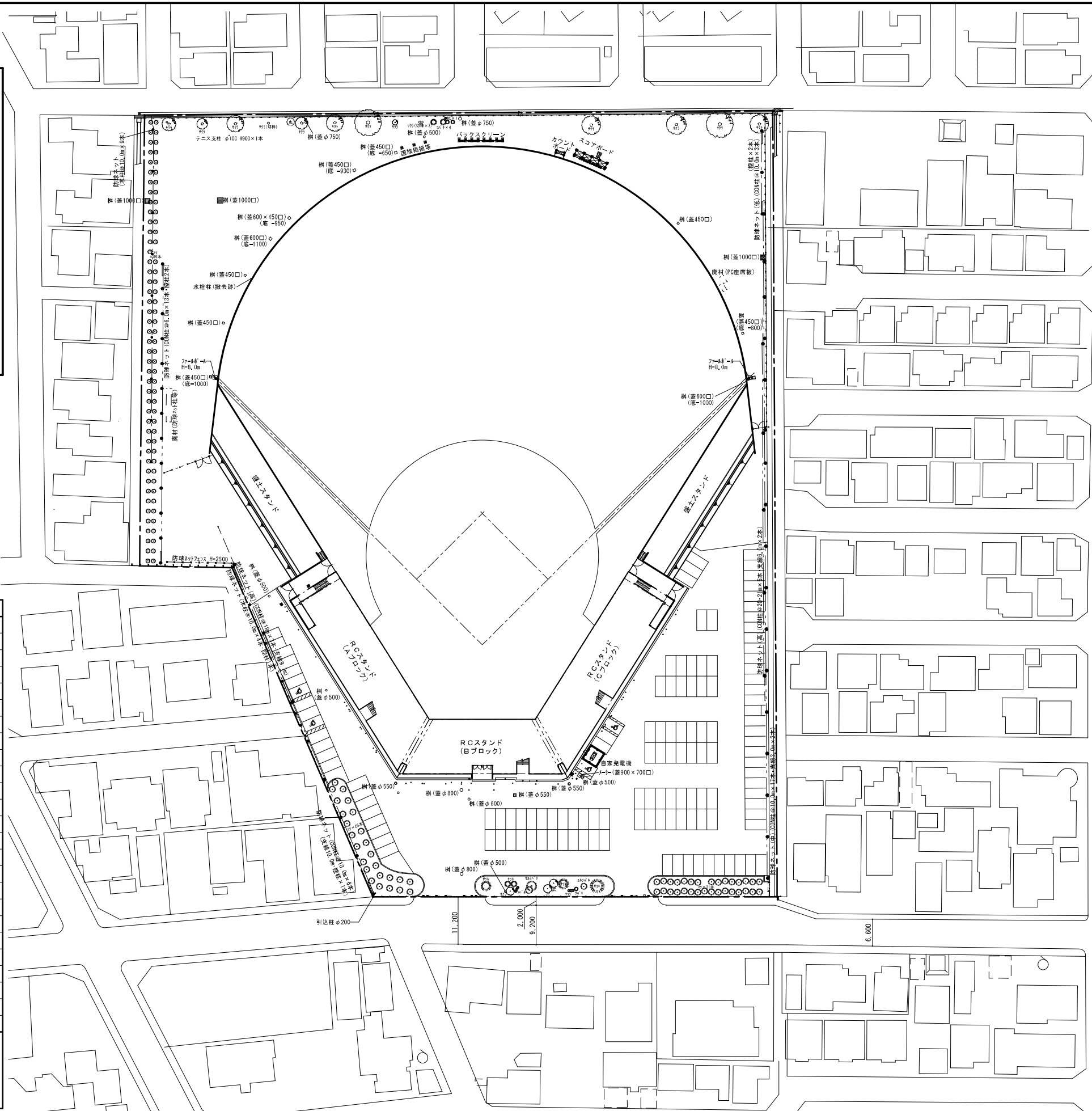
建物概要

RCスタンド：1階 1,590.36m²、2階 1,614.6m²、延べ面積 3,204.96m²
 盛土スタンド：429m²×2か所 計858m²

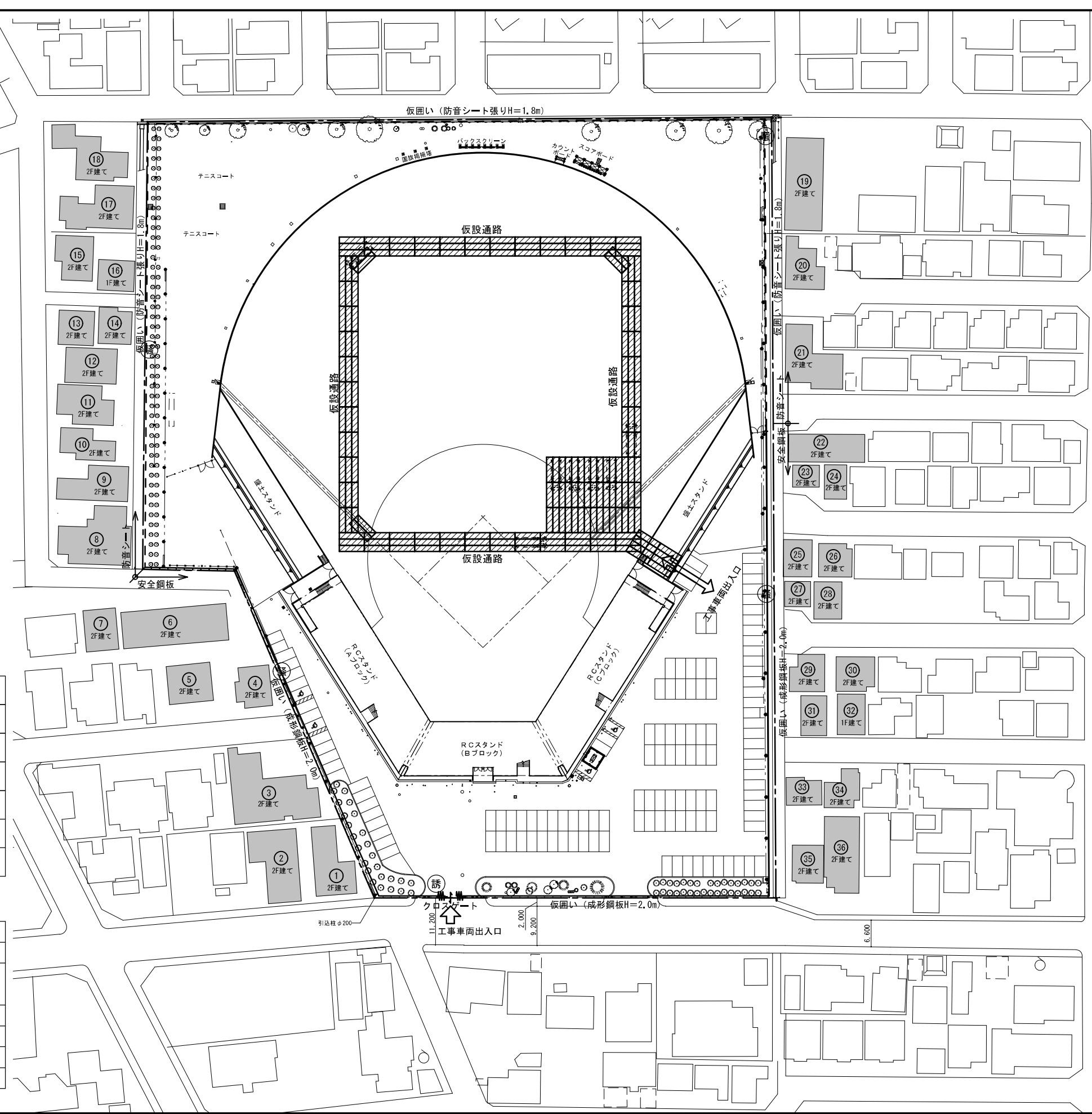
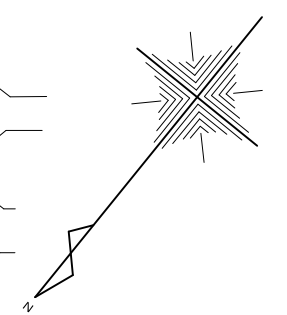
解体範囲は以下の通りとする

部位	解体範囲
RCスタンド	RC造建物本体一式(杭、基礎、割栗、捨てコン、家具等) 電気設備一式、機械設備一式 バックネット、防球フェンス、防球ネット
盛土スタンド	建物本体一式(杭、基礎、割栗、捨てコン) 防球フェンス、防球ネット、間知ブロック積、 平板ブロック舗装
内野外野フェンス	RC造、セーフティフェンス(クッション材)
外構	側溝、各種樹、緑石、平板ブロック、土留め、 アスファルト舗装(表層、下層路盤) 内野グラウンド路面(表層土、中層土、下層土) 外野グラウンド表層(高麗芝) 盛土スタンド表層(高麗芝) 境界フェンス、防球ネットフェンス、車止めポール スコアボード、カウントボード、バックスクリーン 国旗掲揚塔、ファウルポール 自家発電機(基礎及び防音フェンス) 残置廃材、テニスネット支柱 防草シート、樹木伐採伐根、切株伐根
その他	電気引込柱(コンクリート) 給水引込み管(メーター共) 公設樹

備考
 ・敷地内の特記無きものは撤去とする。
 ・埋め戻しは、埋設物撤去分(基礎や杭などのGLより下)としている。
 ・敷地造成は、敷地全体H200漕き取り(場外処分)を行い、新規山砂H200にて敷地均し・転圧を行うこと。



配置図 S=1/500



凡例

	仮囲い(成形鋼板) H2.0m
	仮囲い(防音シート張り) H1.8m
	仮設鉄板敷き t22mm
	クロスゲート W6m H1.8m
	騒音振動計(作業期間中)
	交通誘導員(作業期間中)
	家屋調査対象

家屋調査(事前)

木造建物	70㎡未満	1	③②
木造建物	70㎡以上~130㎡未満	22	④⑤⑦⑩⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝
木造建物	130㎡以上~200㎡未満	7	②⑧⑪⑬⑮⑲㉓
木造建物	200㎡以上~300㎡未満	3	①⑧⑱
木造建物	300㎡以上~450㎡未満	3	③⑥⑱
計		36	

※建物の構造及び面積については、外観からの想定

RCスタンド 外部仕上表

スタンド及び陸屋根	モルタル(一部) 防水モルタルt30 金鍍仕上 パラペット立上り 150mmまで 防水モルタル金鍍仕上
外 壁	コンクリート打放し仕上 球場側:モルタル塗り 特殊塗料刷毛引きの上、セーフティフェンス(クッション材共)t40仕上 一部 モルタル塗り 特殊塗料刷毛引き仕上
柱型及び梁型	コンクリート打放し仕上
外 部 建 具	スチールサッシ OP塗り 一部アルミサッシ 一部木製建具 OP塗り

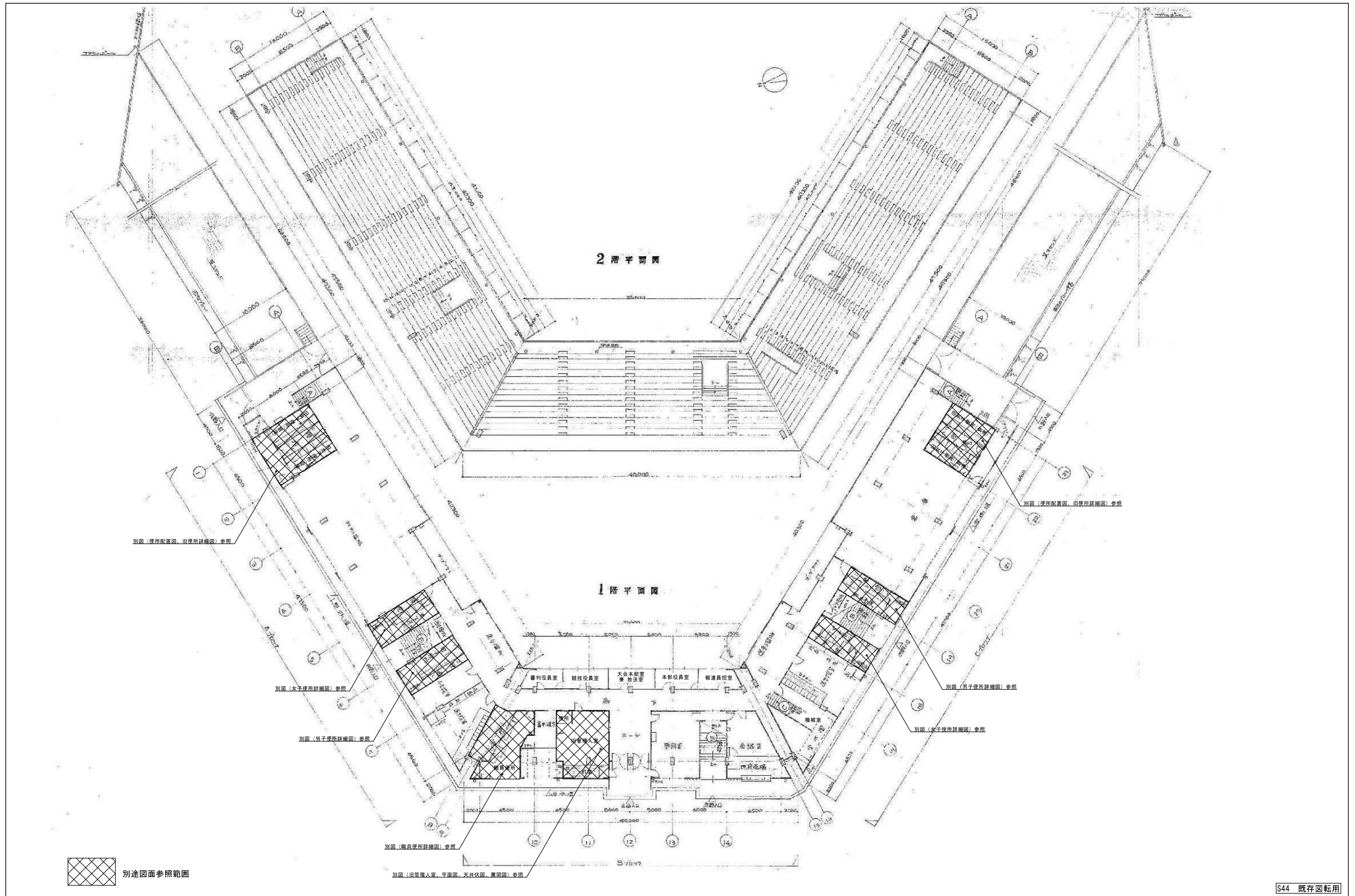
盛土スタンド 外部仕上表

ス タ ン ド	高麗芝張り 一部コンクリート平板ブロック敷き
外 壁	間知ブロック積 球場側:モルタル塗り 特殊塗料刷毛引きの上、セーフティフェンス(クッション材共)t40仕上 一部 モルタル塗り 特殊塗料刷毛引き仕上

RCスタンド:内部仕上表

室 名	床	巾 木	腰	壁	天 井	天井高	備 考
玄関ホール	モルタル塗り金鍍下地 表面硬化材仕上 目地切	モルタル塗り金鍍仕上	コンクリートブロック化粧目地積	コンクリートブロック化粧目地積	吹 抜 (スタンド下端現わし)	—	
事 務 室	アスファルト系ビニル床タイル仕上(※3)	モルタル塗り金鍍仕上	コンクリートブロック化粧目地積 一部 モルタル塗り下地、白セメント吹付(※0)	コンクリートブロック化粧目地積 一部 モルタル塗り下地、白セメント吹付(※0)	有孔石膏ボード下地、V-Emp吹付(※0)	3.100	天井換気孔4か所 耐蝕合金厚板製 既製品流し台 1100*550*800 受付カウンター
会議室(切符売場)	モルタル塗り金鍍下地 表面硬化材仕上 目地切 一部 木製上げ床(床下換気孔)	モルタル塗り金鍍仕上	コンクリートブロック化粧目地積 一部 モルタル塗り下地、白セメント吹付(※0)	コンクリートブロック化粧目地積 一部 モルタル塗り下地、白セメント吹付(※0)	有孔石膏ボード下地、V-Emp吹付(※0)	3.100 2.900	ドア付簡易間仕切壁 天井換気孔4か所
旧管理人室(前室含む)	木製フローリング張り仕上 一部 入口 モルタル塗り金鍍仕上	木製巾木 H100 OS塗	パーライトプラスター下地(※0) ビニルクロス張り	パーライトプラスター下地(※0) ビニルクロス張り	杉絨ベニヤ 敷目板張り 一部 ビニルクロス張り	2.800	押入:コンクリート打部分は木毛板打込 既製品流し台1500*550*800 下足柵1870*320*960 天井内:排気ダクト
同上 便所	ビニル床シート仕上	ビニル巾木	ビニルクロス張り	ビニルクロス張り	ビニルクロス張り	2.440	木製カウンター
審判控室	モルタル塗り金鍍下地 表面硬化材仕上 目地切 一部 タタミ敷き	モルタル塗り金鍍仕上 一部 雑巾摺	コンクリートブロック化粧目地積 一部 コンクリート打放し下地、塗装仕上	コンクリートブロック化粧目地積 押入:パーライトプラスター仕上(※0)	有孔石膏ボード下地、V-Emp吹付(※0)	3.100 2.800	シャワールーム モルタル塗り金鍍 天井換気孔2か所 陶器製手洗器
選手控室	ゴムシート敷き 一部 モルタル塗り金鍍下地 表面硬化材仕上 目地切	モルタル塗り金鍍仕上	モルタル塗り下地、白セメント吹付(※0) 一部 コンクリートブロック化粧目地積	モルタル塗り下地、白セメント吹付 一部 コンクリートブロック化粧目地積	吹 抜 (スタンド下端現わし) 一部 コンクリート打放し部 塗装仕上	—	木製ロッカー 人研製洗面所及び足洗所 シャワールーム 防水モルタル金鍍
小会議室	モルタル塗り金鍍下地 表面硬化材仕上 目地切	モルタル塗り金鍍仕上	コンクリートブロック化粧目地積 一部 モルタル塗り下地、白セメント吹付(※0)	コンクリートブロック化粧目地積 一部 モルタル塗り下地、白セメント吹付(※0)	有孔石膏ボード下地、V-Emp吹付(※0)	3.100	天井換気孔2か所
機械室(受水槽室)	モルタル塗り金鍍仕上	コンクリート打放し	コンクリート打放し	コンクリート打放し	コンクリート打放し	—	天井換気孔2か所
大会本部室兼放送室 本部役員室・報道員控室 競技役員室・審判役員室	モルタル塗り金鍍下地 表面硬化材仕上 目地切	モルタル塗り金鍍仕上	コンクリートブロック化粧目地積 一部 モルタル塗り仕上	コンクリートブロック化粧目地積 一部 モルタル塗り仕上	木毛板t18打込み下地、白セメント吹付(※0)	≒2.000	木製カウンター
ダッグアウト	ゴムシート敷き	モルタル塗り金鍍仕上	モルタル塗り下地、コンクリート用特殊塗料吹付	モルタル塗り下地、コンクリート用特殊塗料吹付	木毛板t18打込み下地、白セメント吹付(※0)	≒2.100	人研製水飲み流し
材 料 置 場 倉 庫	コンクリート金鍍仕上 目地切(水勾配1/200)	一部 モルタル塗り金鍍仕上 (コンクリート部分)	コンクリート打放し 一部 コンクリートブロック化粧目地積	コンクリート打放し 一部 コンクリートブロック化粧目地積	吹 抜 (スタンド下端現わし)	—	シャッター取付部分の壁:モルタル塗り金鍍
廊 下	モルタル塗り金鍍下地 表面硬化材仕上 目地切 一部 ゴムシート敷き(選手控室前)	モルタル塗り金鍍仕上	コンクリートブロック化粧目地積 一部 モルタル塗り下地、白セメント吹付(※0)	コンクリートブロック化粧目地積 一部 モルタル塗り下地、白セメント吹付(※0)	スタンド下端現わし:コンクリート打放し 一部 木毛板t18打込み下地、白セメント吹付(階段室部分)(※0)	— 2.700	
階段室A・B	モルタル塗り金鍍仕上		コンクリート打放し	コンクリート打放し	コンクリート打放し	—	鑄鉄製ノンスリップ
階 段 室 C	モルタル塗り金鍍仕上		モルタル塗り下地、白セメント吹付(※0)	モルタル塗り下地、白セメント吹付(※0)	コンクリート打放し	—	タラップ(3段)
男子/女子/職員便所 (1998年改修)	硬質着色床仕上		コンクリートブロック化粧目地積下地、複層塗材E(ロー)仕上(※1) 一部 モルタル塗り白セメント吹付下地、複層塗材E(ロー)仕上(※1)	コンクリートブロック化粧目地積下地、複層塗材E(ロー)仕上(※1) 一部 モルタル塗り白セメント吹付下地、複層塗材E(ロー)仕上(※1)	吹 抜 (スタンド下端現わし)	—	トイレブース
選手便所(階段B下)	モルタル塗り金鍍仕上		モルタル塗り下地、白セメント吹付(※0)	モルタル塗り下地、白セメント吹付(※0)	木毛板t18打込み下地、白セメント吹付(※0)	—	人研製手洗い 木製柵
旧男子/旧女子便所 (1998年改修時倉庫に転用)	モルタル塗り金鍍仕上		コンクリートブロック化粧目地積 一部 モルタル塗り下地、白セメント吹付(※0)	コンクリートブロック化粧目地積 一部 モルタル塗り下地、白セメント吹付(※0)	吹 抜 (スタンド下端現わし)	—	人研製手洗い トイレブース 木製柵(旧男子便所)
便 槽 室	コンクリート金鍍仕上	コンクリート打放し	コンクリート打放し(普通型枠)	コンクリートブロック化粧目地積 一部 コンクリート打放し(普通型枠)	吹 抜 (スタンド下端現わし)	—	
選 手 溜 所	ゴムシート敷き		モルタル塗り下地、白セメント吹付(※0)	モルタル塗り下地、白セメント吹付(※0)	木毛板t18打込み下地、白セメント吹付(※0)	≒2.000	
AブロックとBブロックの間の空間 BブロックとCブロックの間の空間	コンクリート金鍍仕上	コンクリート打放し	コンクリート打放し(普通型枠)	コンクリート打放し(普通型枠)	コンクリート打放し(普通型枠)	—	
物入(階段B下)	コンクリート金鍍仕上	コンクリート打放し	コンクリート打放し(普通型枠)	コンクリート打放し(普通型枠)	コンクリート打放し(普通型枠) 一部 木毛板t18打込み下地、白セメント吹付(※0)	—	

<p>特 記</p> <p>■アスベスト含有建材について</p> <p>※印:分析によるアスベスト調査済み建材を示す。 既存図に記載のない建材、隠蔽部で目視調査できない部位においては未調査である。 新たに調査が必要となった場合、施工に先立ち調査を行い、適切に処理すること。</p>	<p>※0:含有なし ※1:レベル1 ※2:レベル2 ※3:レベル3</p> <p>男子/女子/職員便所・壁 複層塗材E(下地処理材含む) 材料置場/倉庫・屋内消火栓廻り 配管保温材(エルボ廻り) 機械室・消火栓ポンプ廻り 配管保温材(エルボ廻り) 事務室 床 アスファルト系ビニル床タイル</p> <p>・下記の建材については、見なし含有としている。 レベル3相当:機械室 散水栓ポンプ廻り各所パッキン レベル3相当:旧管理人室 天井裏 排気ダクト接続部パッキン</p>	<p>■アスベスト含有塗装材の除去の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> 内壁面複層塗材Eにはアスベストが含有されているため、関係法令を遵守し適切な作業及び処分を行うこと。 除去工法は、石綿則第6条のただし書きにより、粉塵飛散防止に関して隔離措置と同等の措置と判断できる工法とし、粉塵を飛散させないよう行うこと。 その他特記以外の改修工事の詳細は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書 平成31年版」による。 	<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 外構工作物等は、外構図を参照。 <p>■塗装略記号</p> <ul style="list-style-type: none"> OP:油性調合ペイント V-Emp:合成樹脂エマルジョンペイント塗
--	--	---	--



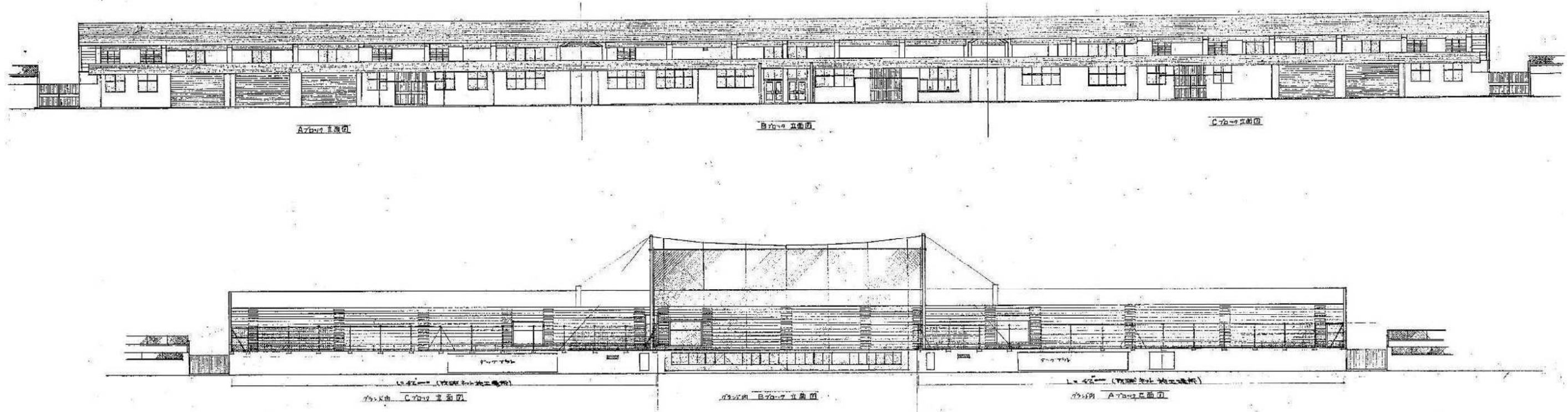
2階平面図

1階平面図


 別途図面参照範囲

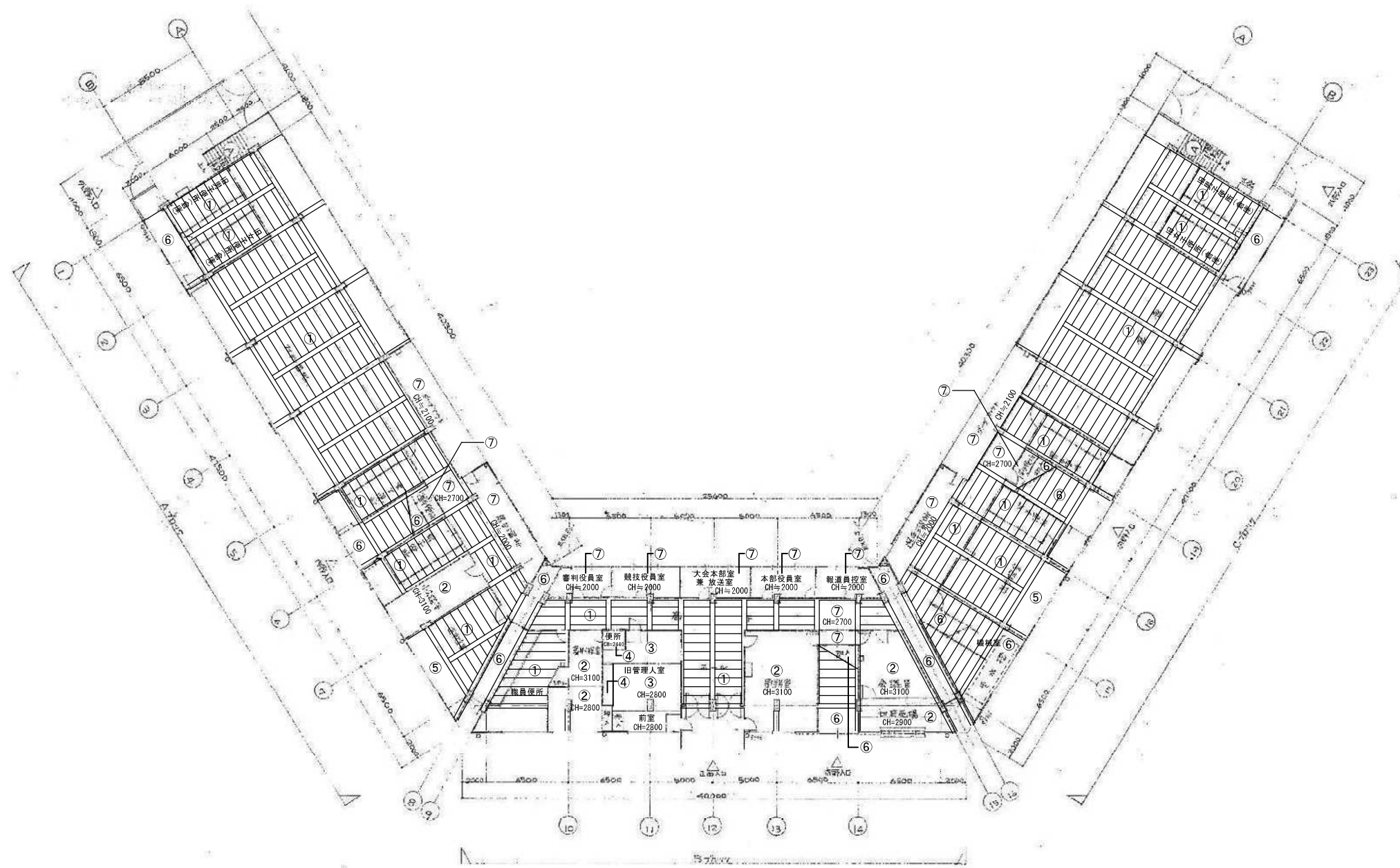
S44 既存図転用

図名 小針野球場解体工事		図名 平面図	
年月日 2020.10	縮尺 A3 1/400 A1 1/200	図面番号	A-04



S44 既存図転用

		工程名 小針野球場解体工事		図名 立面图	
		年月日 2020.10	縮尺 A3 1/200 A1 1/100	図番 A-05	図番 A-05



天井仕上材 凡例

①	吹抜 (スタンド下端現わし)
②	有孔石膏ボード下地、V-Emp吹付
③	杉証ベニヤ 敷目板張り
④	ビニルクロス張り
⑤	コンクリート打放し部 塗装仕上
⑥	コンクリート打放し
⑦	木毛板t18打込み下地、白セメント吹付(※0)

工事名

小針野球場解体工事

図名

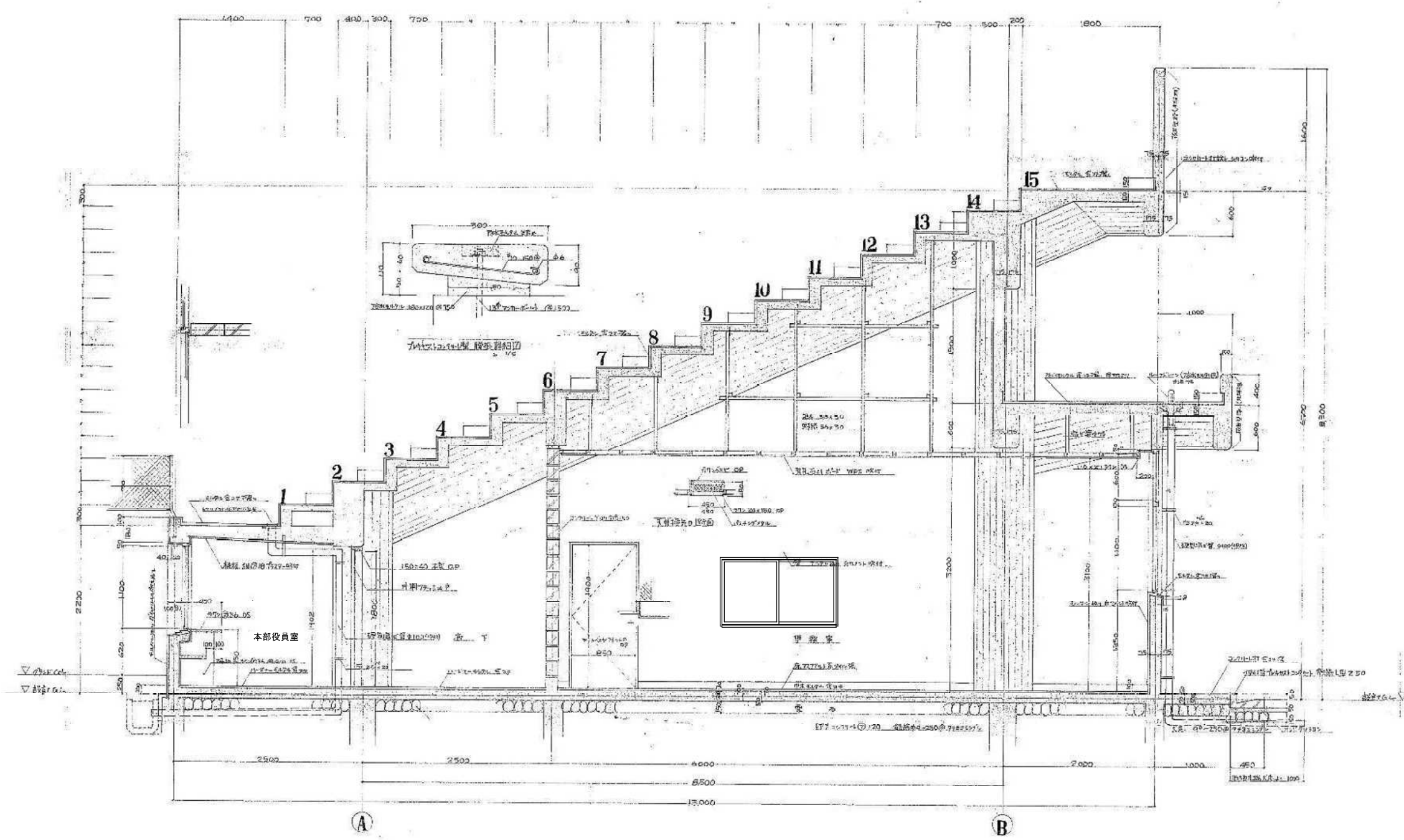
天井伏図

年月日
2020.10

縮尺
A3 1/400
A1 1/200

図面番号

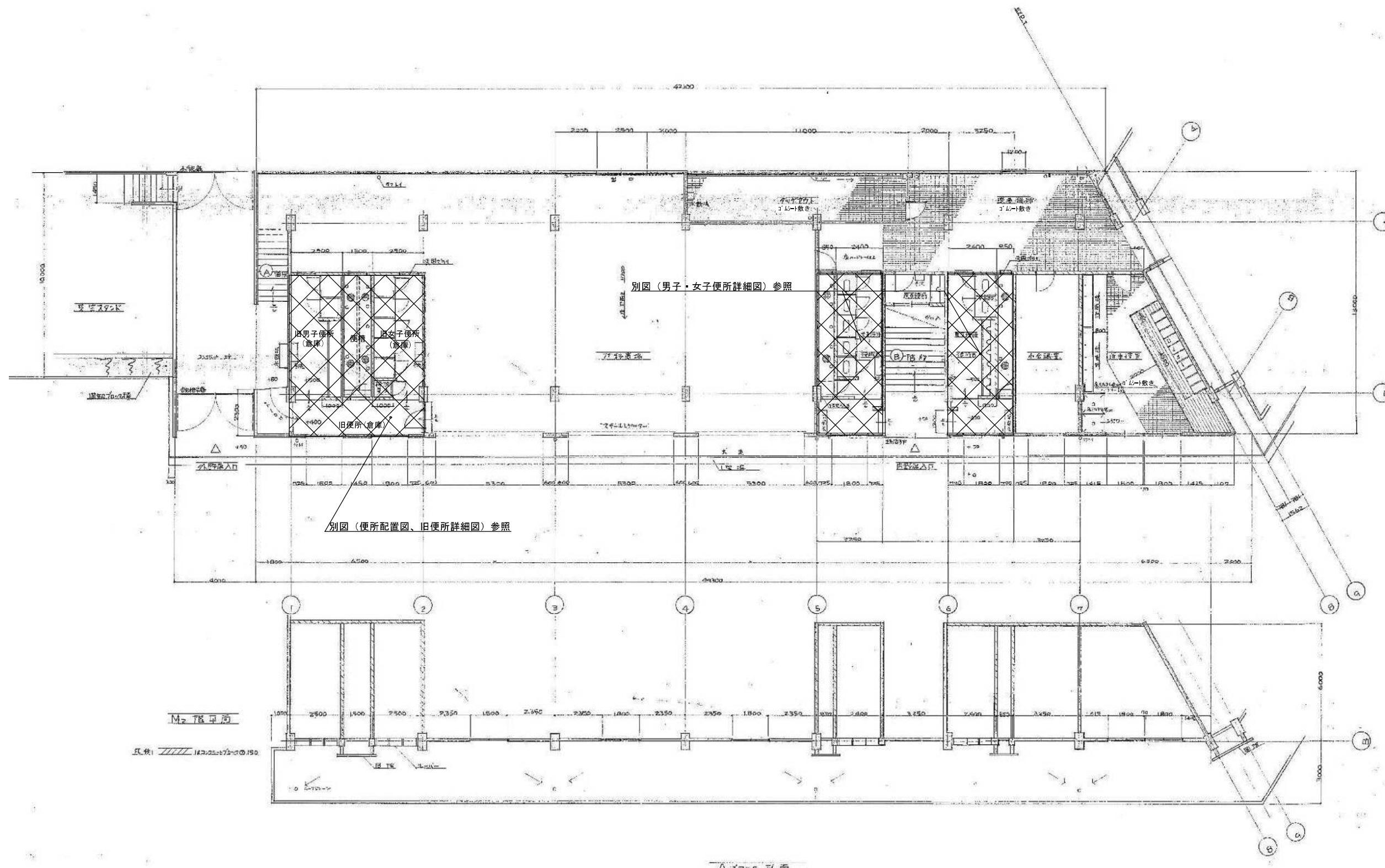
A-06



特記事項
 1. 本図は、既存の建物に、階段を10ヶ所増設する。
 2. 観音座 (増設) は、1~15号表示部分にて、7ヶ所増設する。階高は、既存の階高と同一とする。
 3. 増設する階段は、幅員1500mm、深さ1500mm、傾斜1/15とする。
 4. 増設部分の構造は、既存の構造と同一とする。増設部分の構造は、既存の構造と同一とする。
 5. 増設部分の構造は、既存の構造と同一とする。増設部分の構造は、既存の構造と同一とする。
 6. 増設部分の構造は、既存の構造と同一とする。増設部分の構造は、既存の構造と同一とする。

S44 既存図転用

小針野球場解体工事		図名 矩計図
年月日 2020.10	縮尺 A3 1/60 A1 1/30	図面番号 A-07



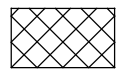
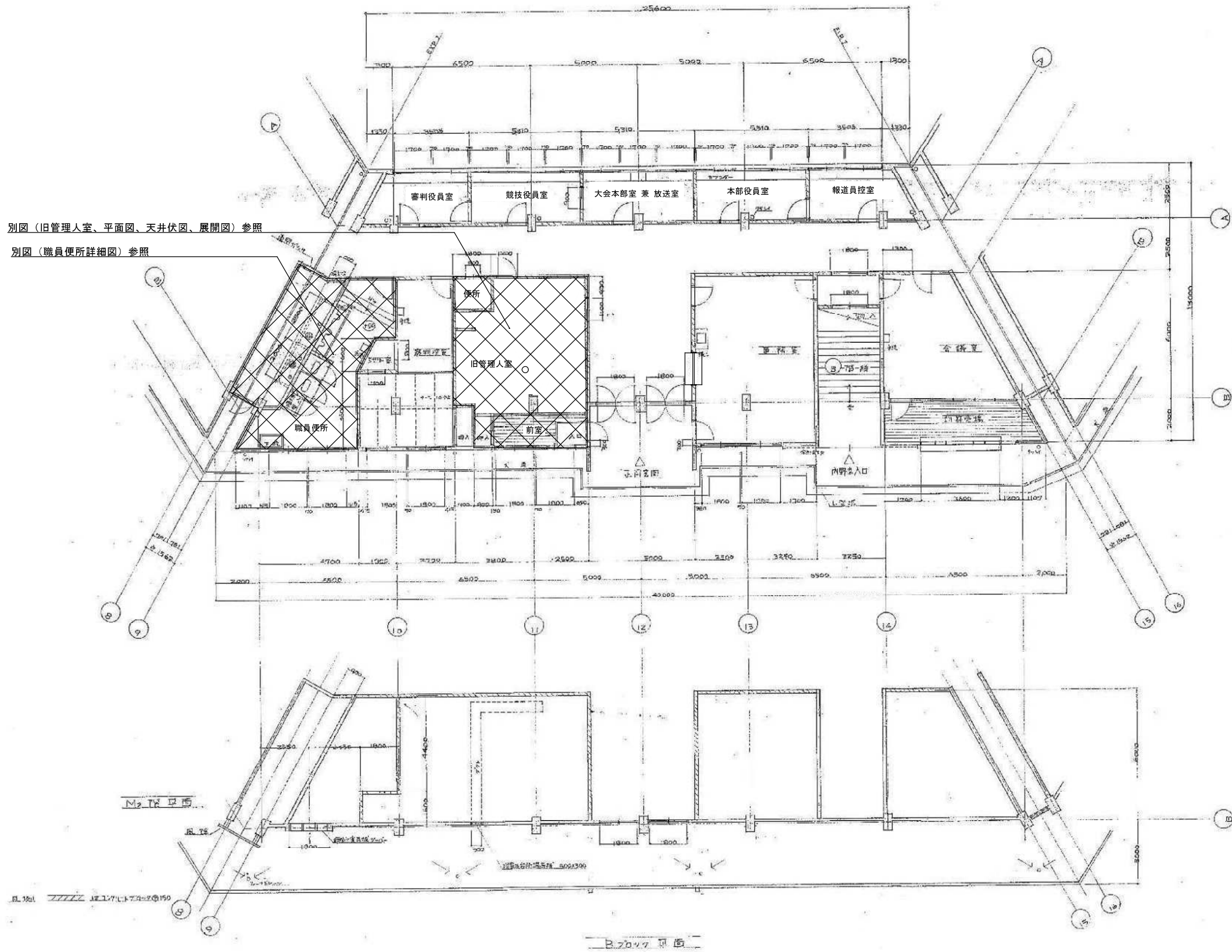
別途図面参照範囲

S44 既存図転用

工事名		Aブロック 平面図	
小針野球場解体工事			
年月日	縮尺	図面番号	
2020.10	A3 1/200 A1 1/100		A-08

別図（旧管理人室、平面図、天井伏図、展開図）参照

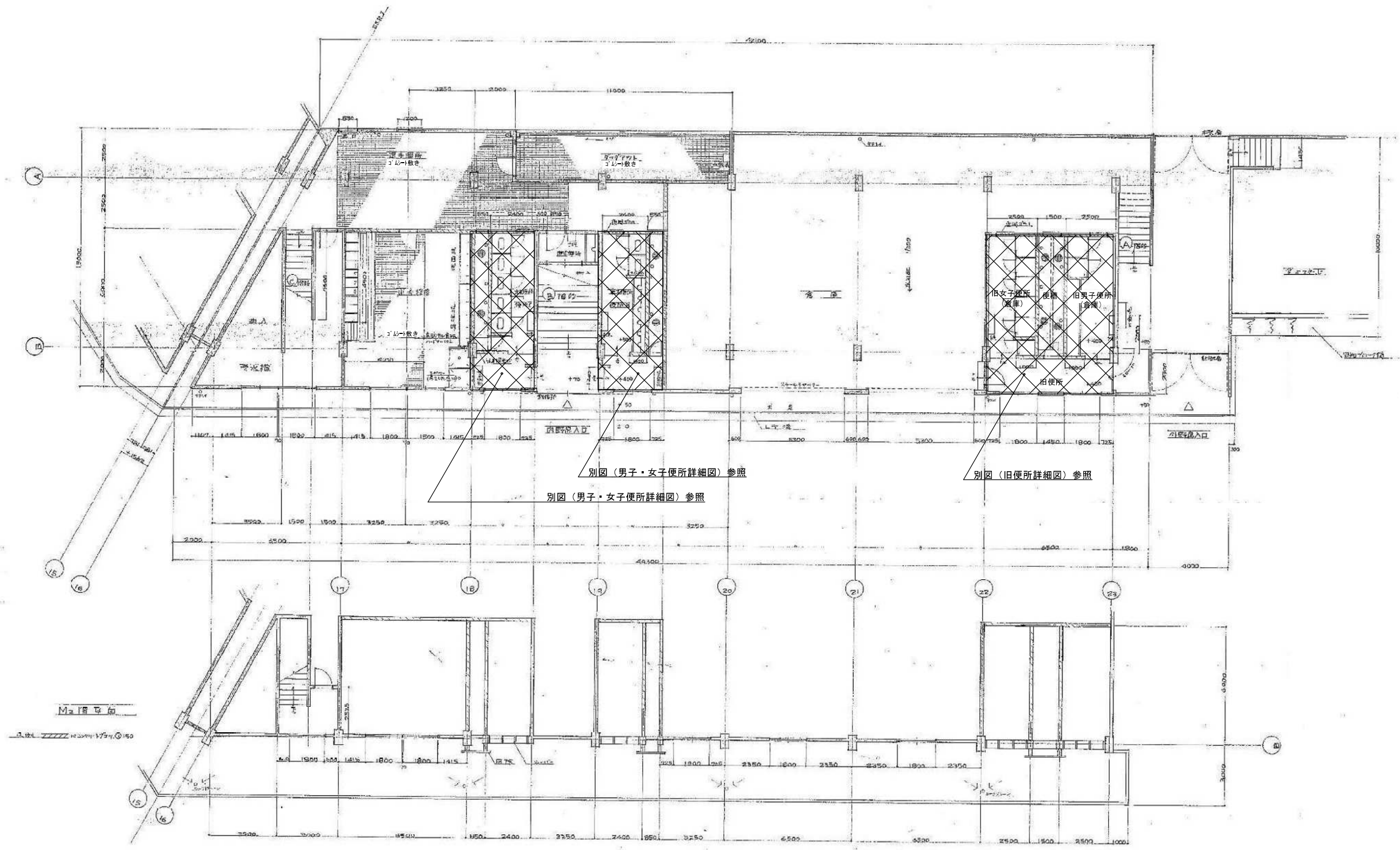
別図（職員便所詳細図）参照



別途図面参照範囲

S44 既存図転用

工事名	小針野球場解体工事		
図名	Bブロック 平面図		
年月日	2020.10	縮尺	A3 1/200 A1 1/100
図番		図番	A-09



別図 (男子・女子便所詳細図) 参照
 別図 (男子・女子便所詳細図) 参照

別図 (旧便所詳細図) 参照

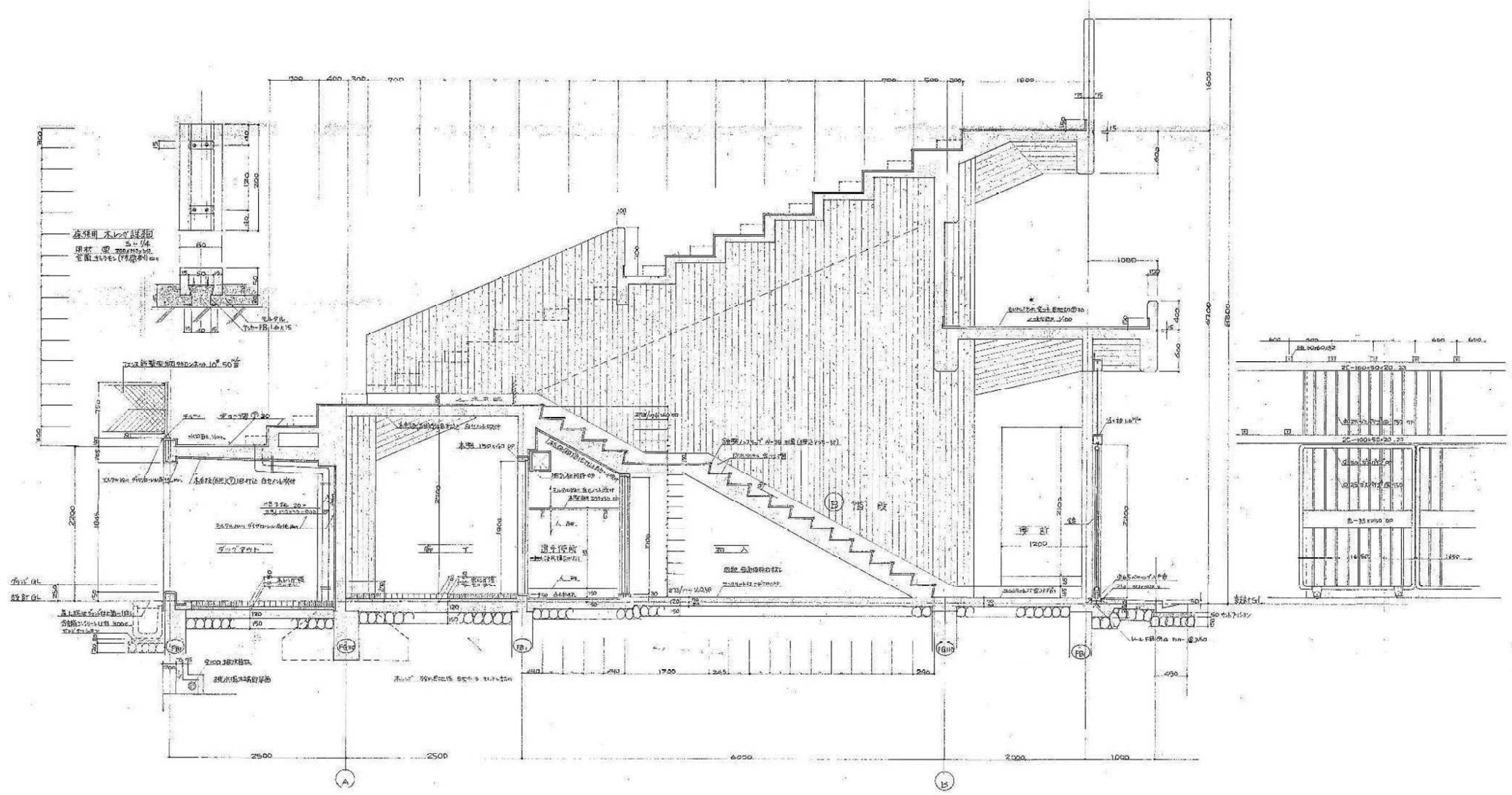
北
 1:100

Cブロック平面

 別途図面参照範囲

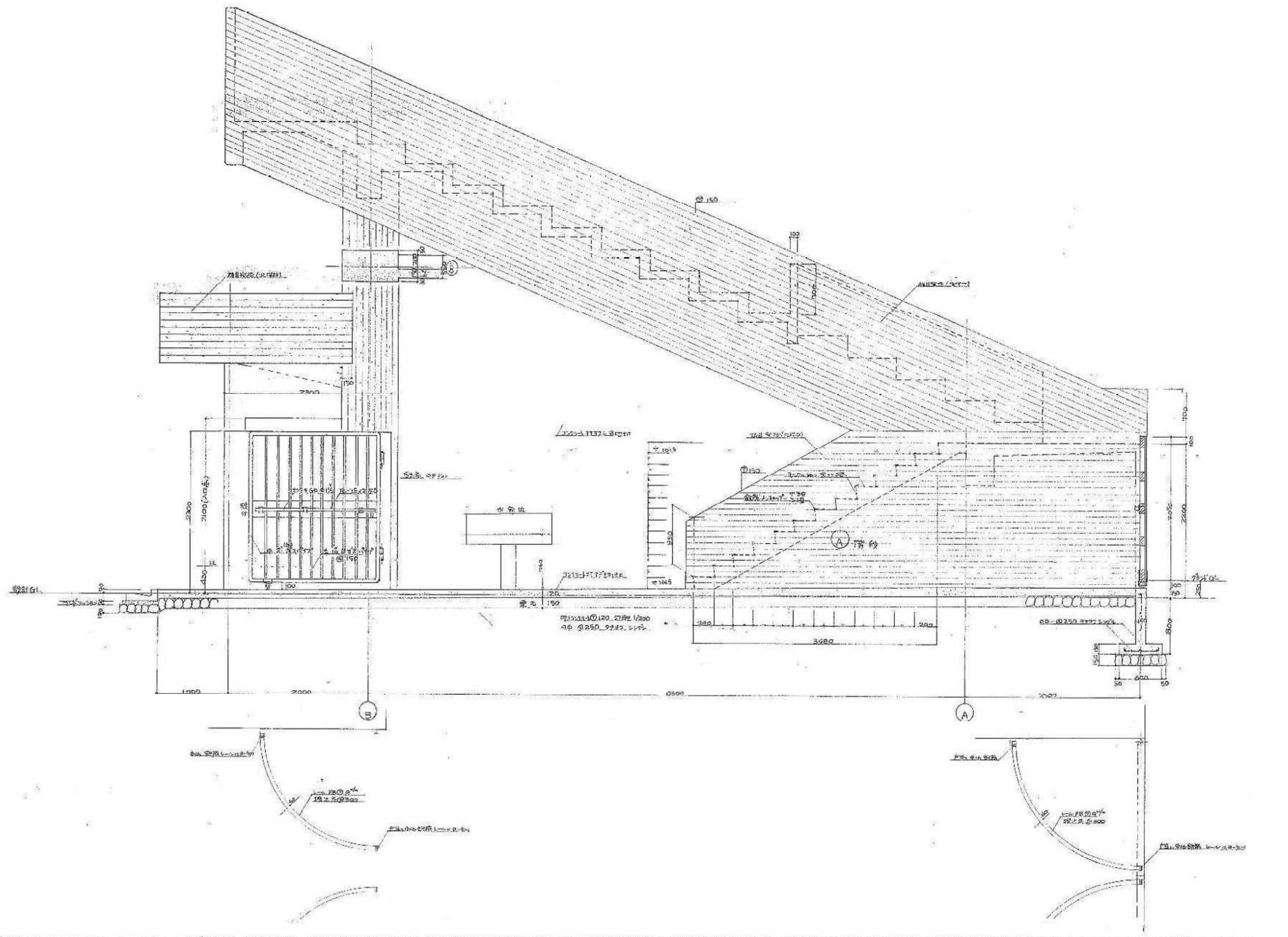
S44 既存図転用

工事名		図名	
小針野球場解体工事		Cブロック 平面図	
年月日	縮尺	図面番号	
2020.10	A3 1/200 A1 1/100		A-10



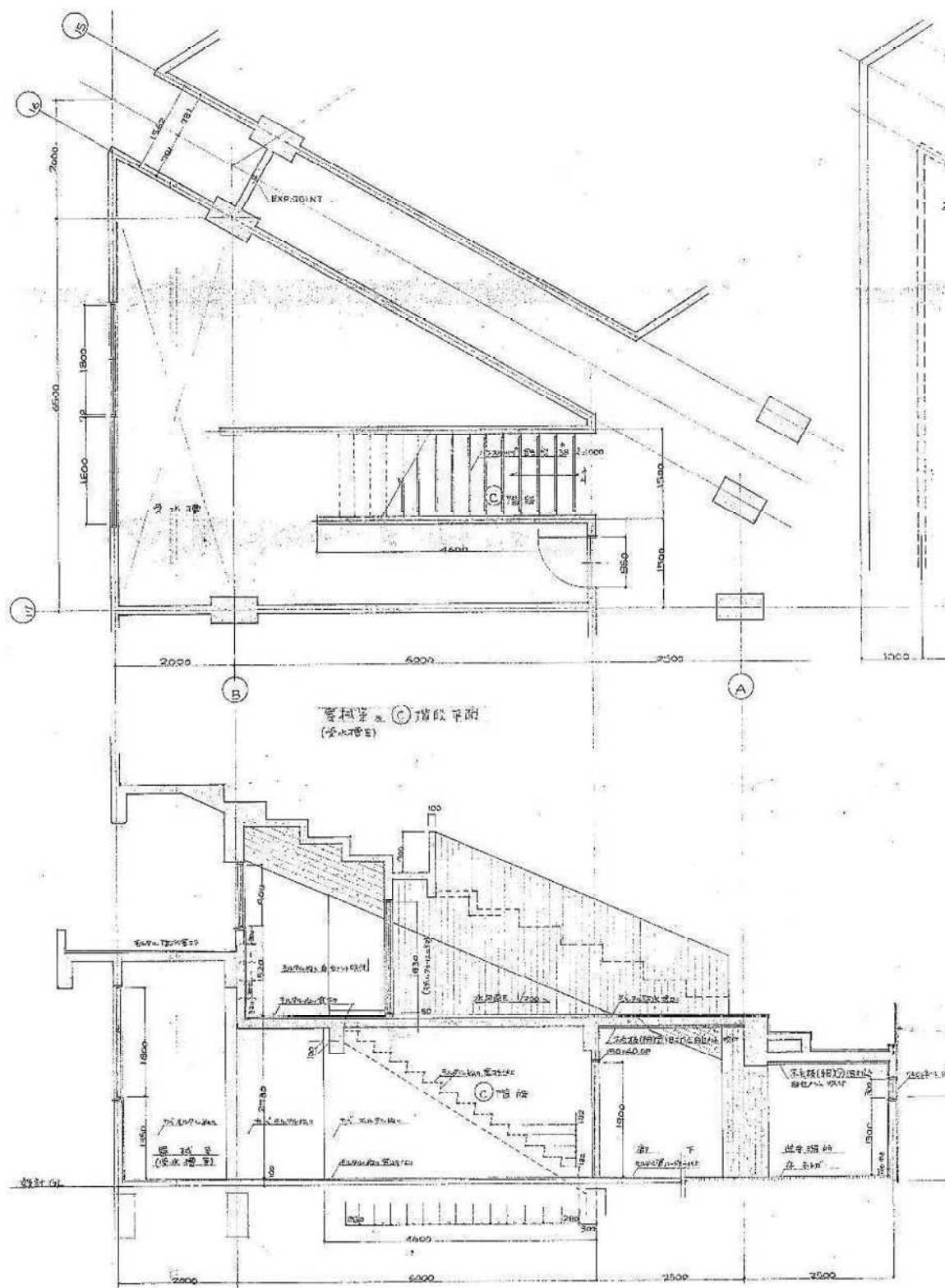
S44 既存図転用

工事名 小針野球場解体工事		図名 ダッグアウト、B階段 詳細図	
年月日 2020.10	縮尺 A3 1/60 A1 1/30	図面番号 A-11	



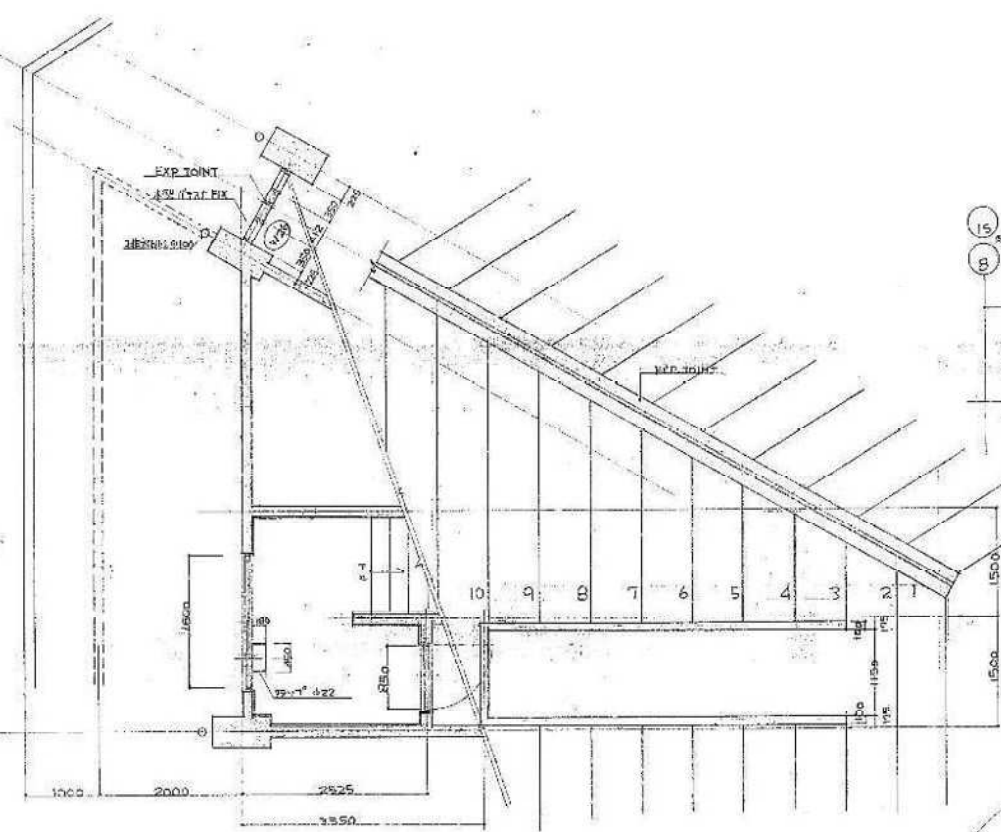
S44 既存図転用

工事名		小針野球場解体工事		図名		RCスラブ 妻側詳細図	
年月日	2020.10	縮尺	A3 1/60 A1 1/30	図面番号	A-12		

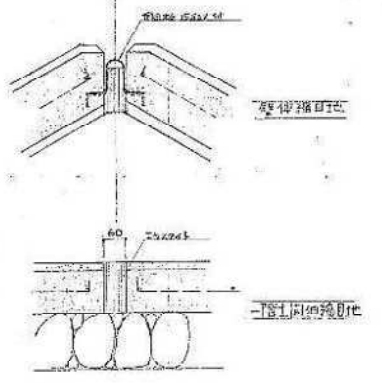
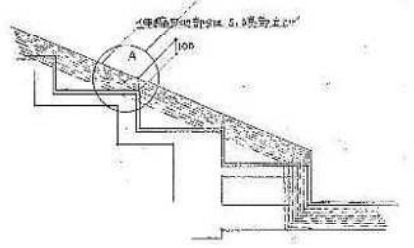
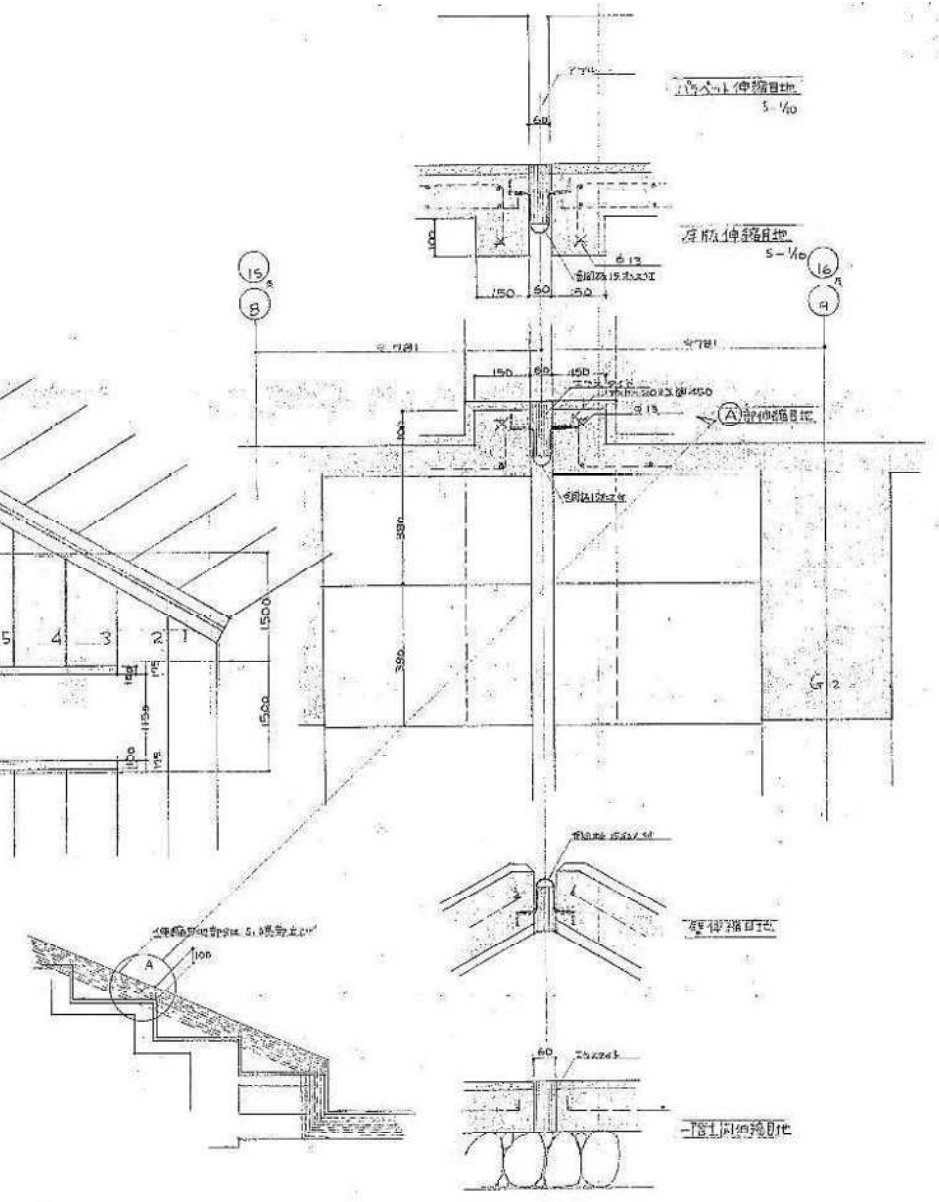


圖樣 a. (C) 階段平面圖
(含水櫃室)

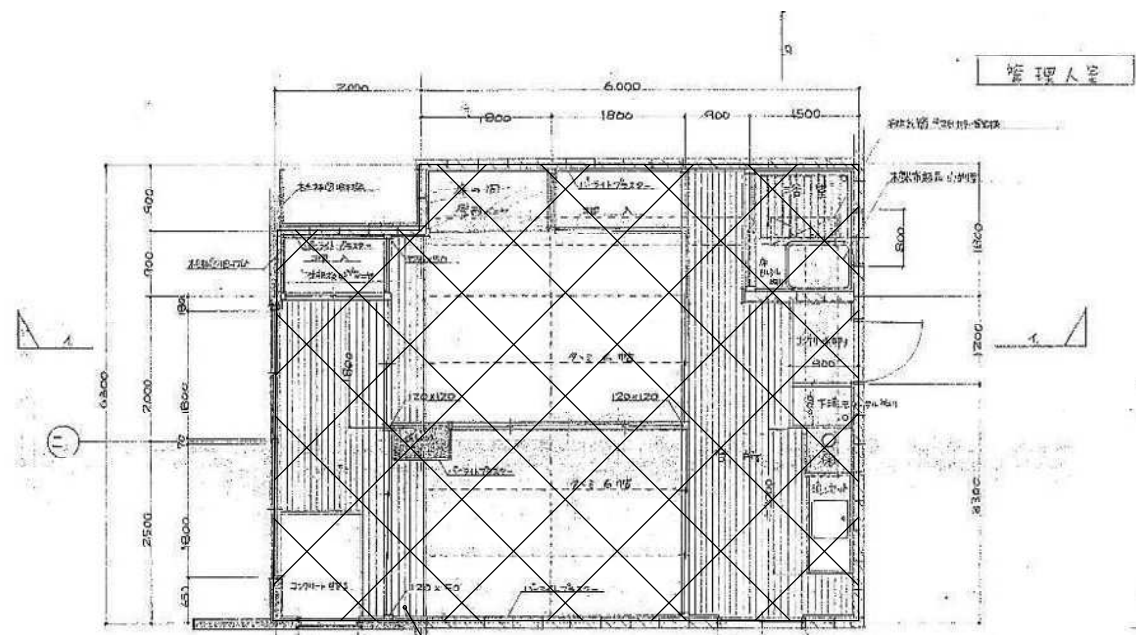
圖樣 a. (C) 階段剖面圖



(C) 階段 M+2 樓平面

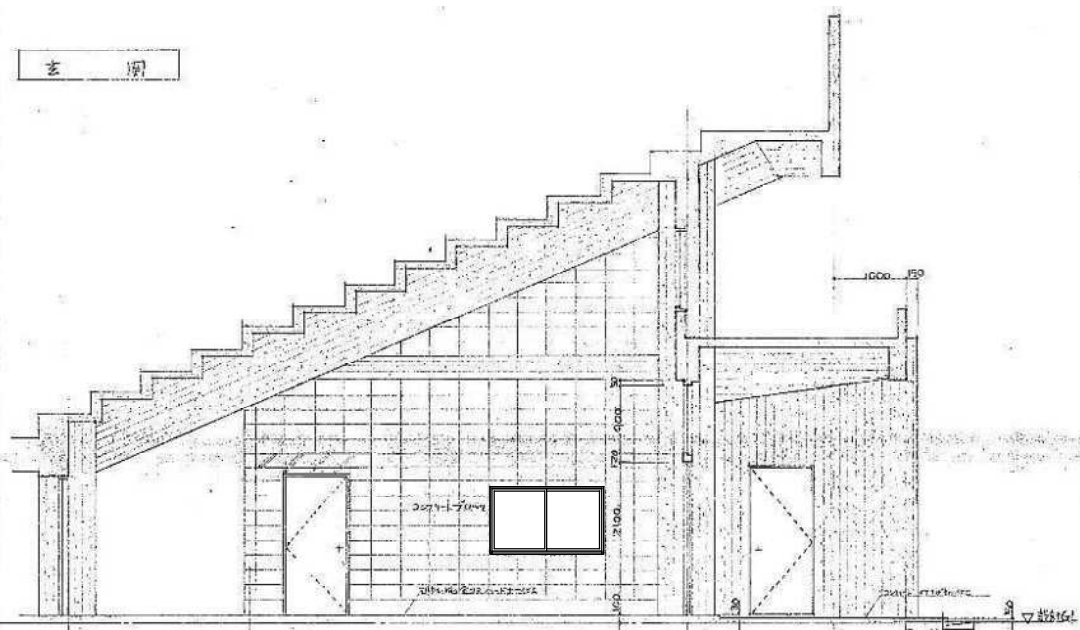


圖樣 a. (C) 階段剖面圖



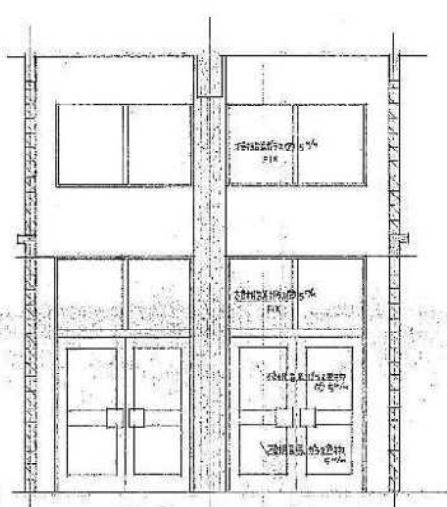
管理人室

管理人室平面図
別図(旧管理人室 平面図、天井伏図、展開図)参照

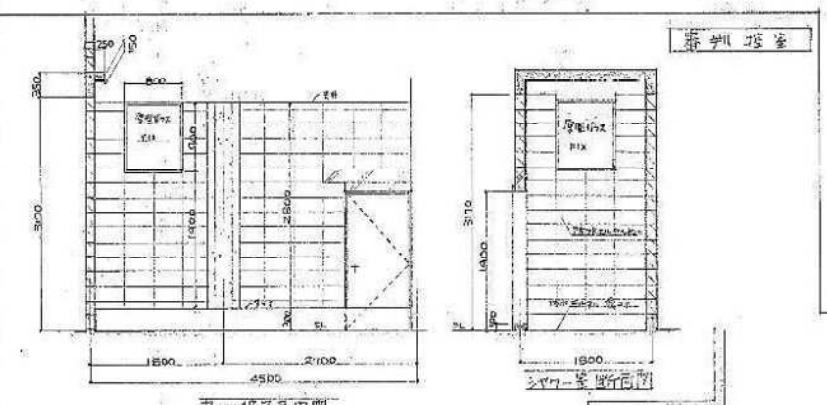


玄関

玄関断面図



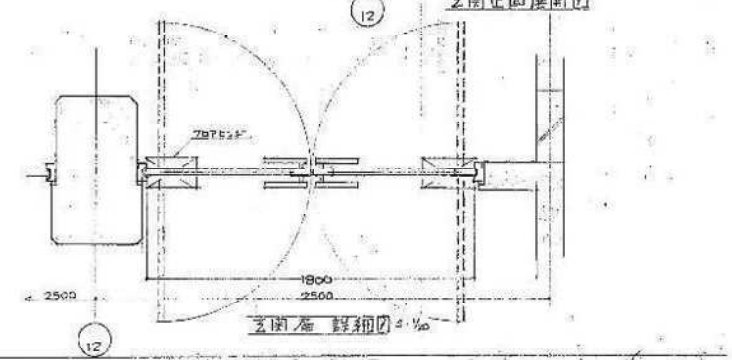
玄関正面展開図



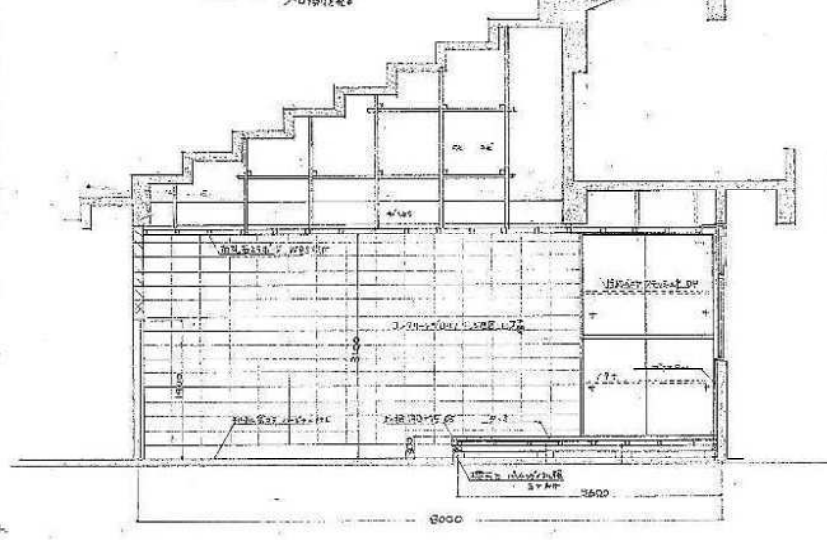
審判控室

審判控室平面図

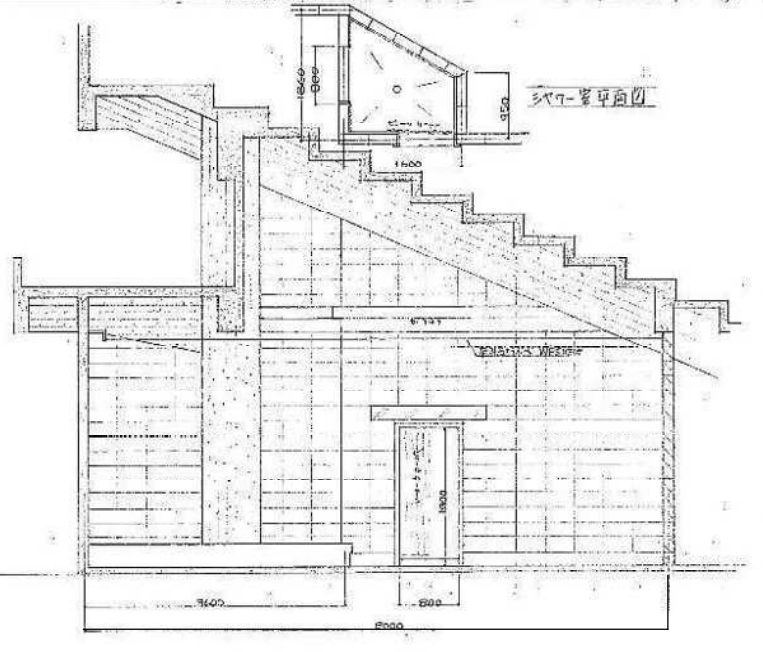
審判控室断面図



審判控室断面図

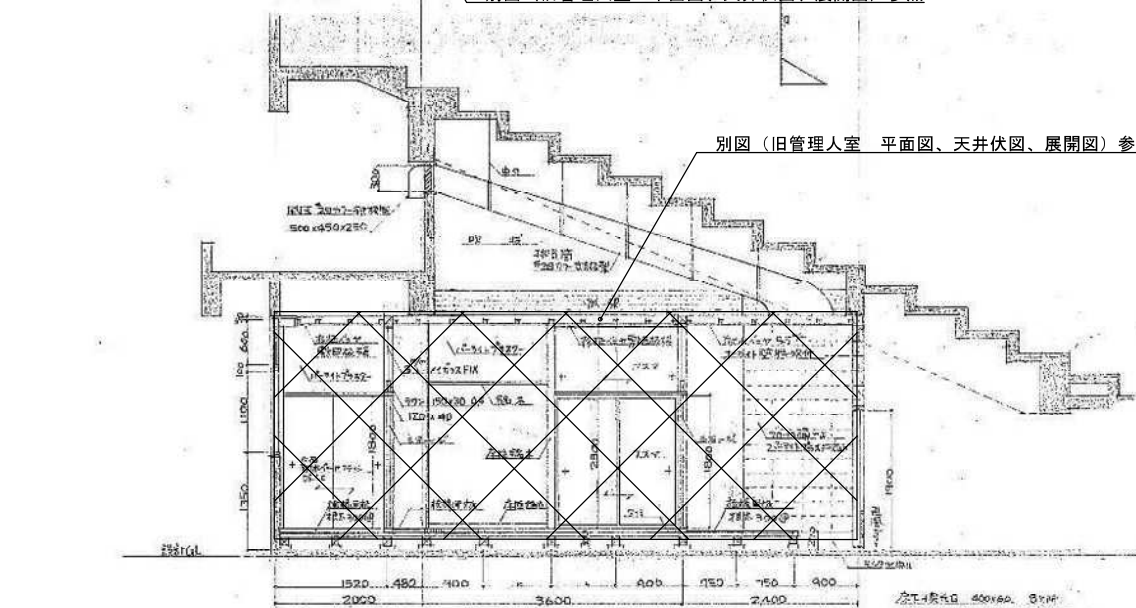


審判控室断面図

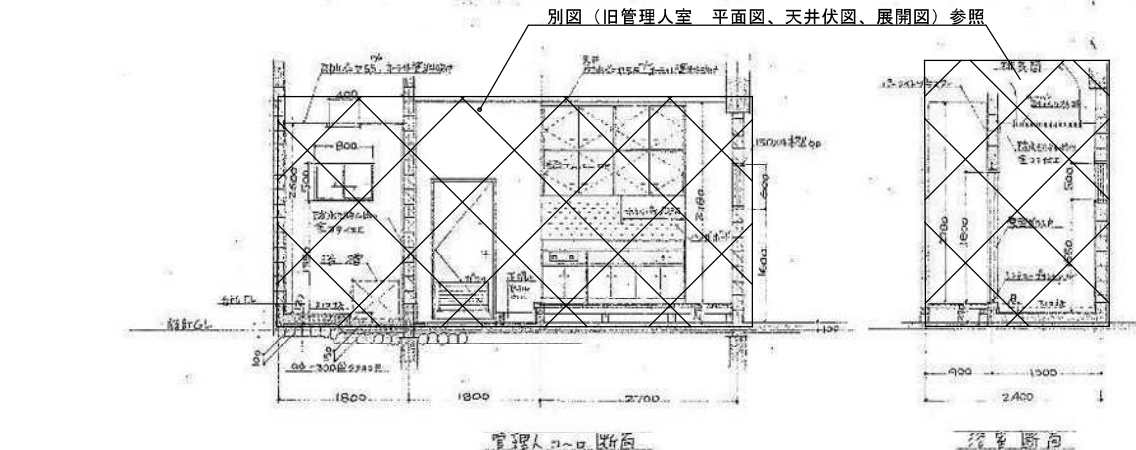


審判控室断面図

審判控室断面図



管理人室断面図



管理人室断面図

管理人室断面図

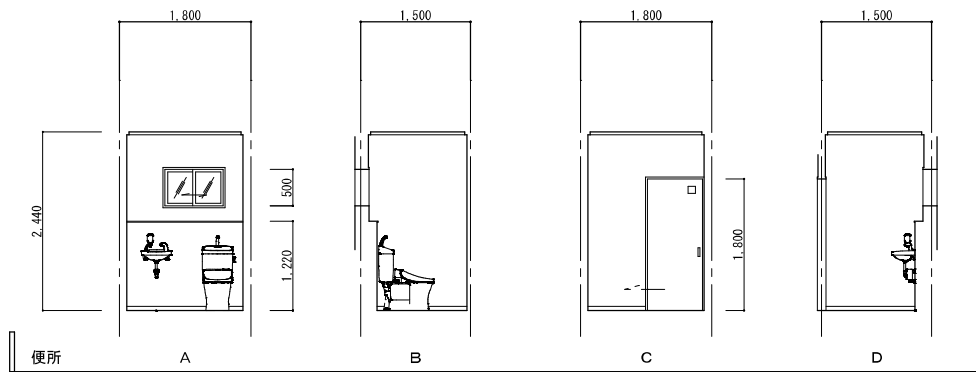
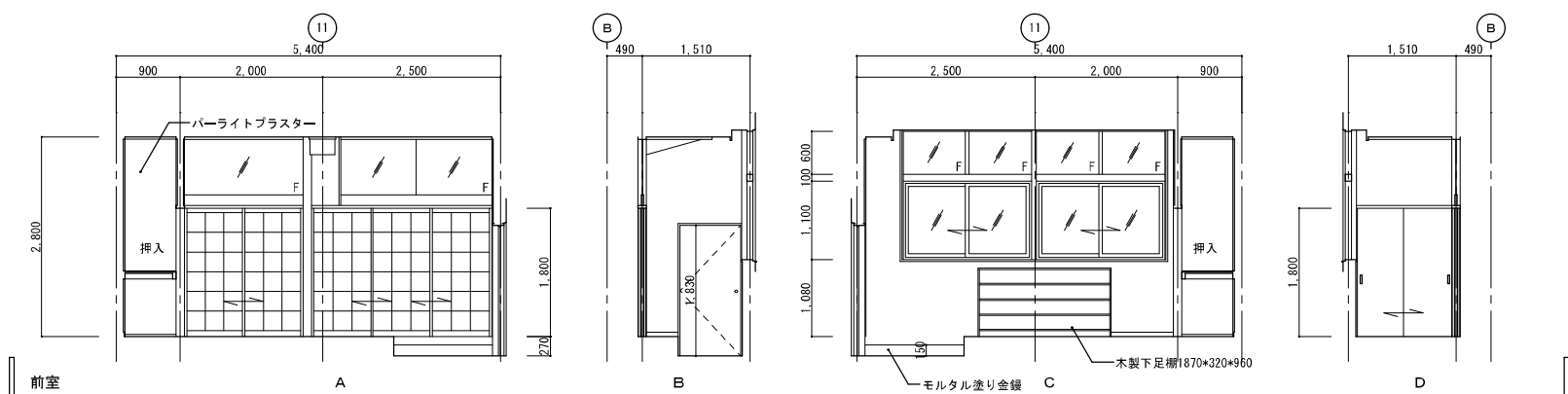
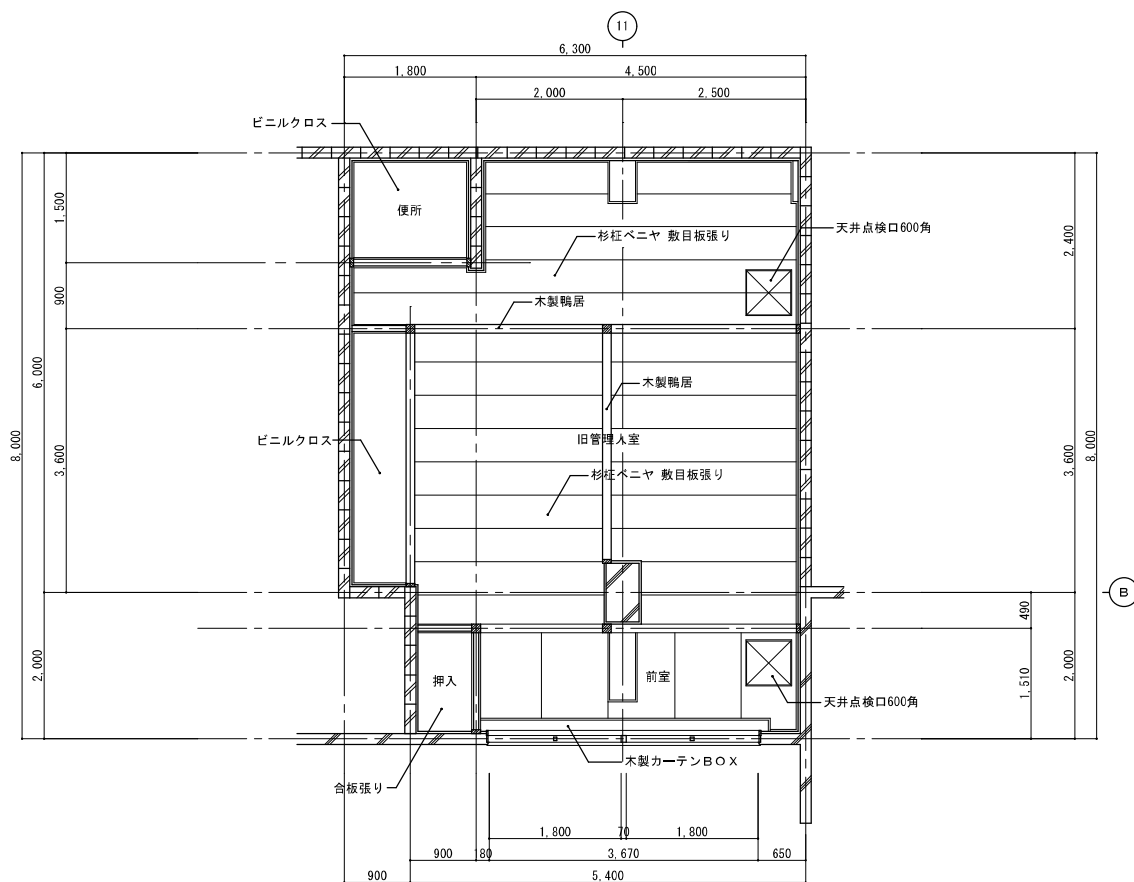
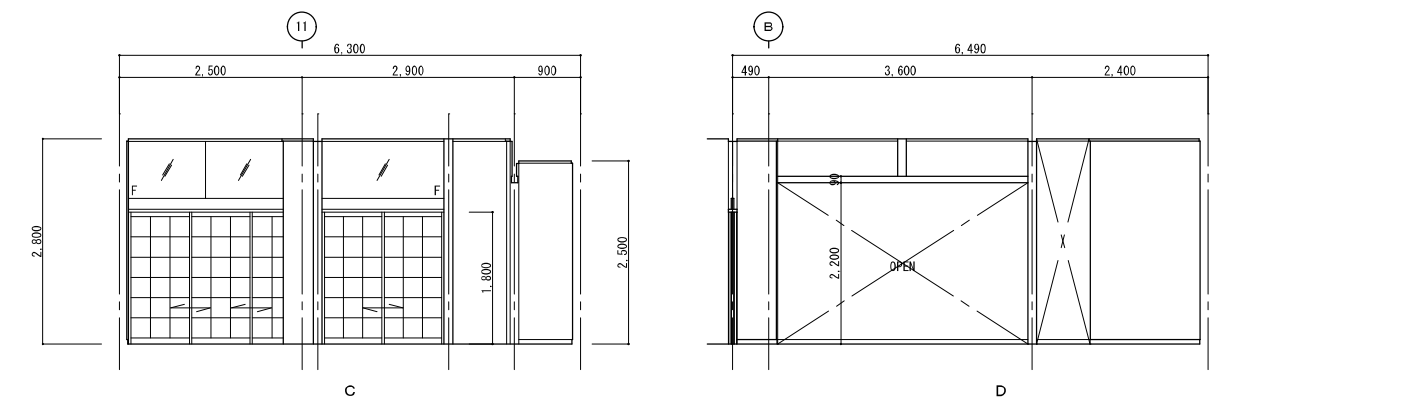
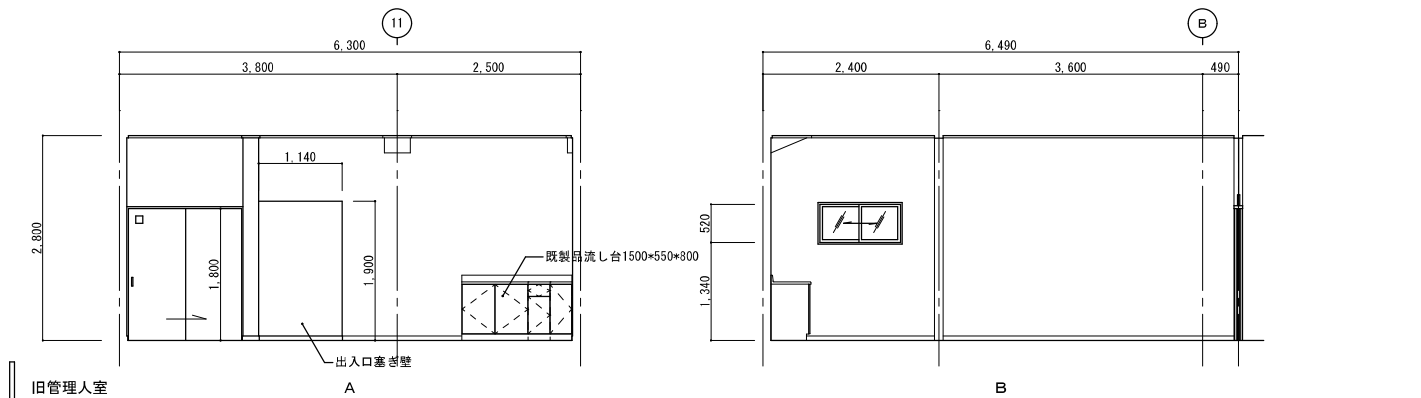
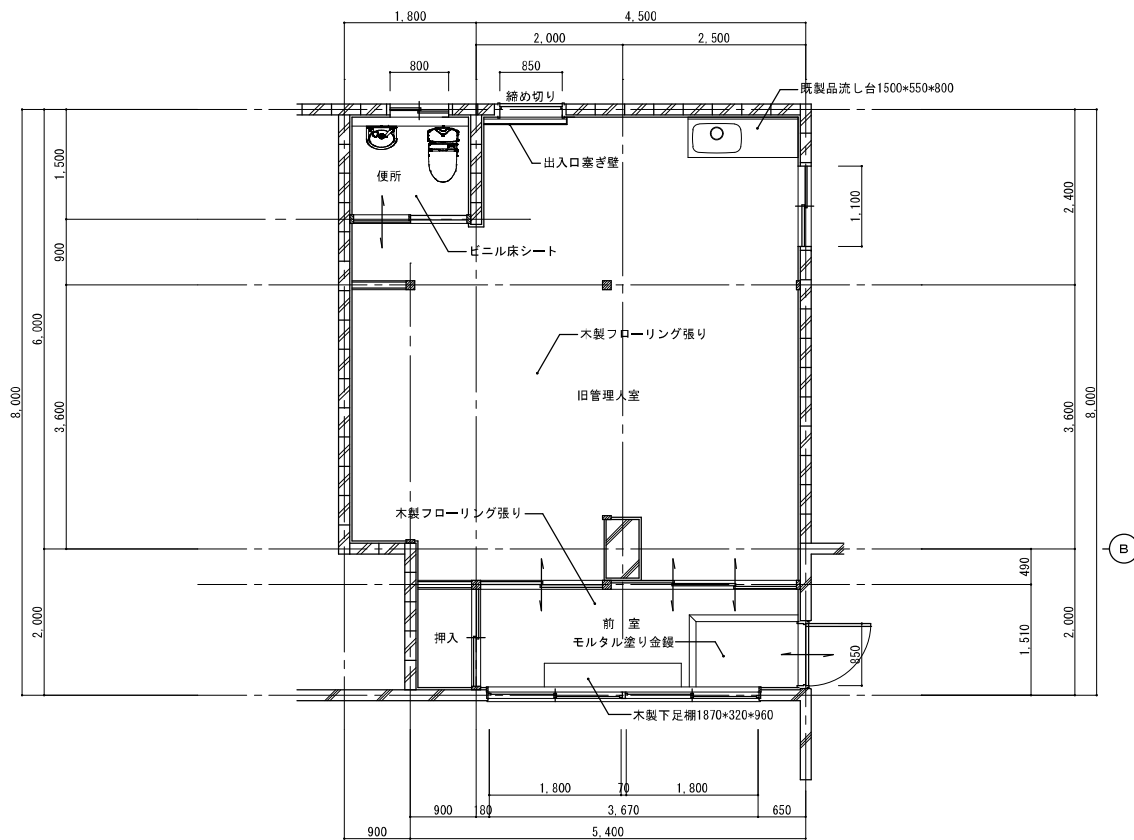


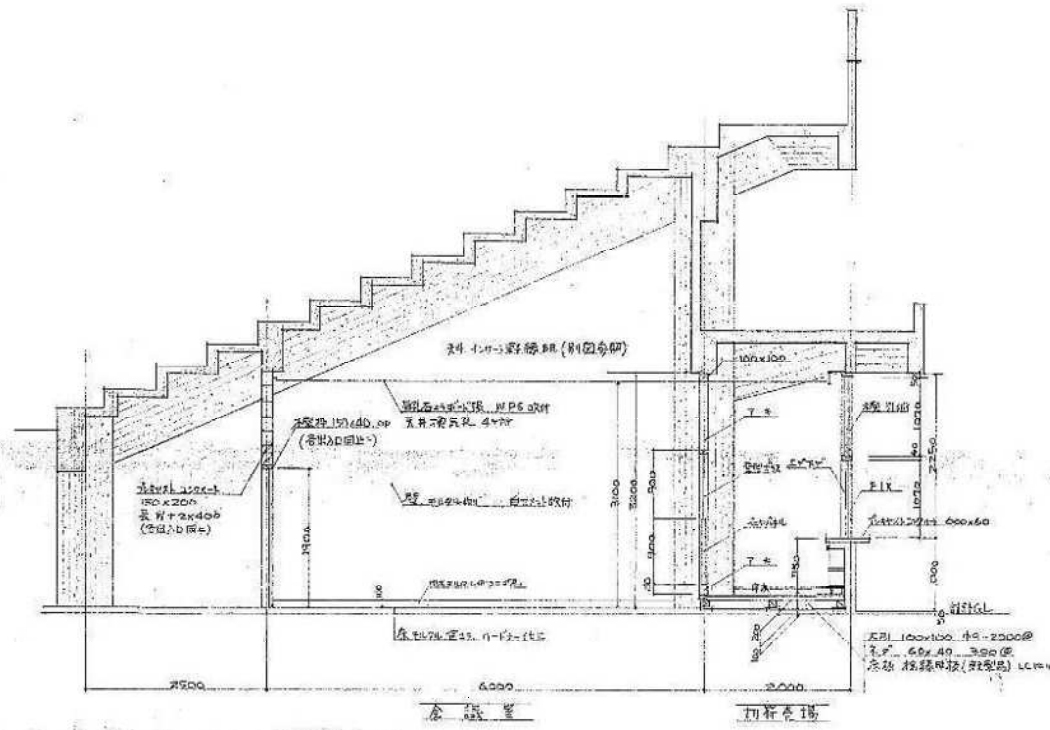
別途図面参照範囲

S44 既存図転用

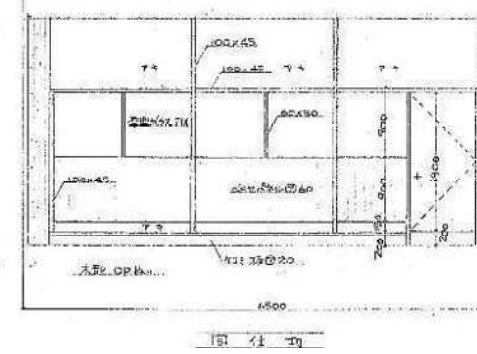
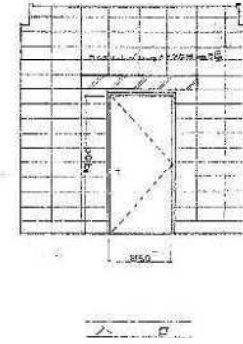
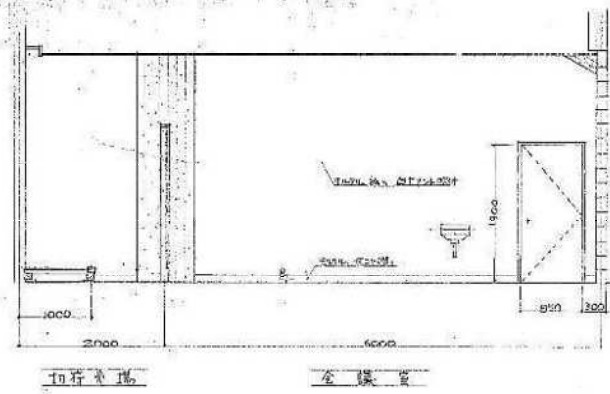
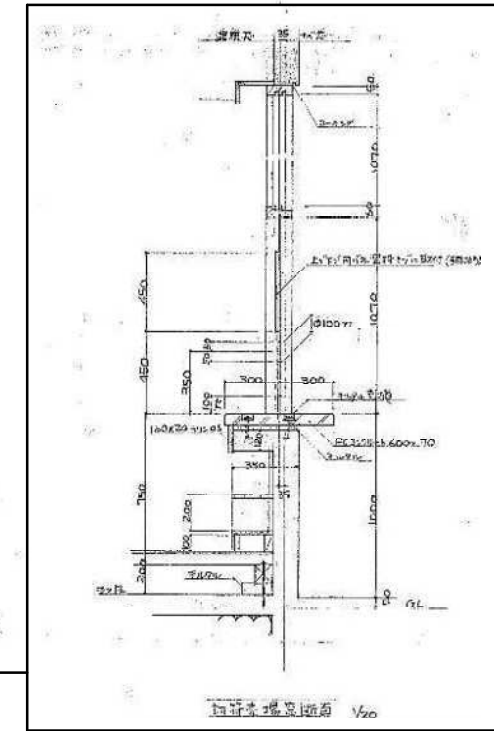
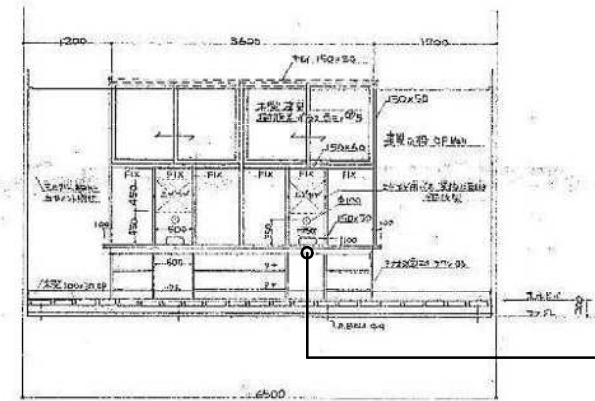
小針野球場解体工事		図名 玄関、管理人室、審判控室 断面・展開図
年月日 2020.10	縮尺 A3 1/100.40 A1 1/50.20	図面番号 A-14

旧管理人室 (前室含む)	木製フローリング張り仕上 一部 入口 モルタル塗り金縁仕上	木製巾木 H100 OS塗	パーライトプaster下地 ビニルクロス張り	パーライトプaster下地 ビニルクロス張り	杉柱ベニヤ 敷目板張り 一部 ビニルクロス張り	2,800	押入: コンクリート打部分は木毛板打込 既製品流し台1500*550*800 天井内: 排気ダクト
同上 便所	ビニル床シート仕上	ビニル巾木	ビニルクロス張り	ビニルクロス張り	ビニルクロス張り	2,440	木製カウンター

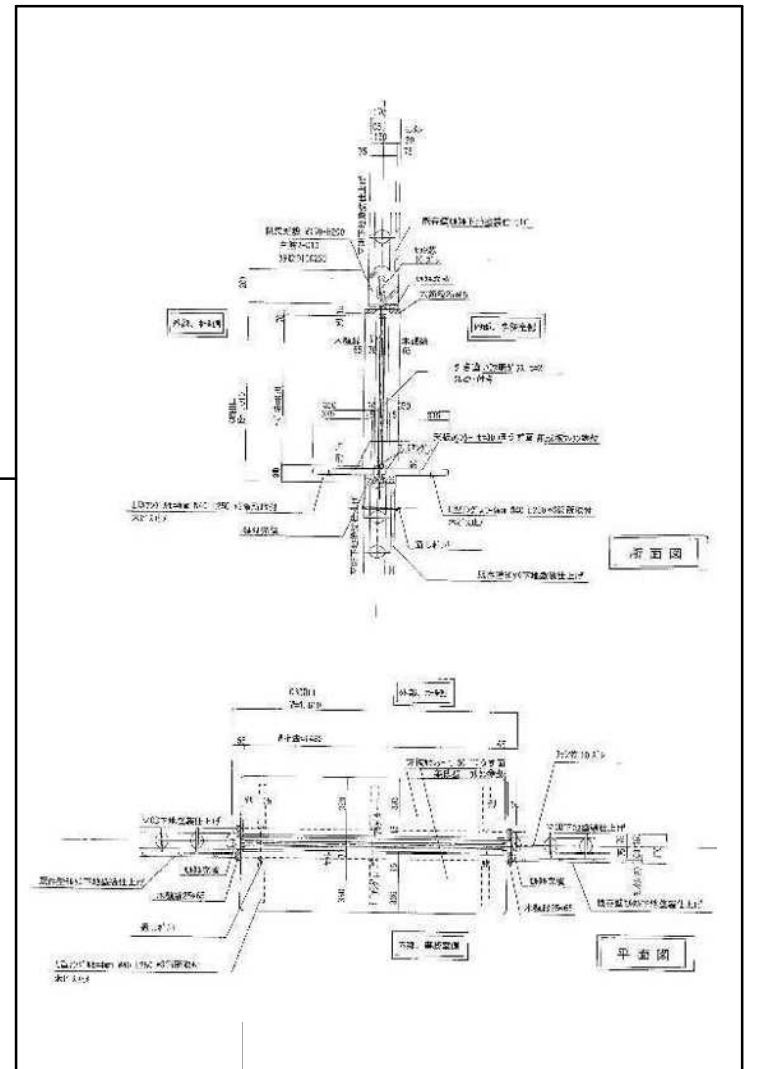
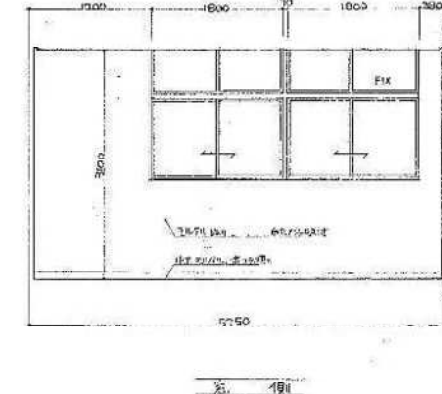
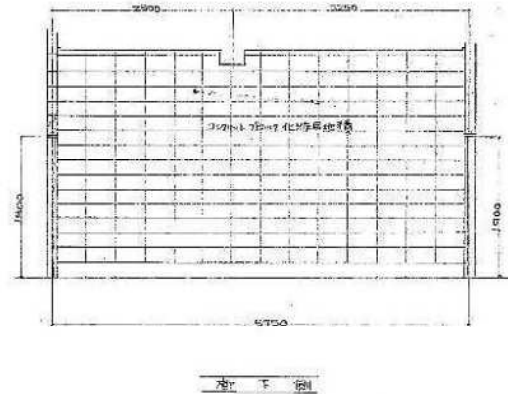
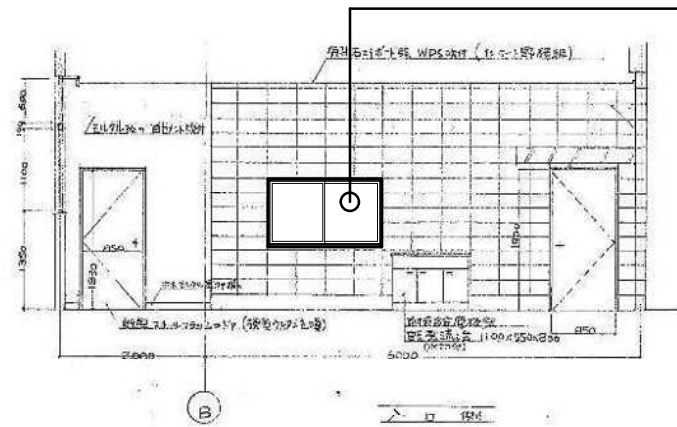




17 切符売場 断面

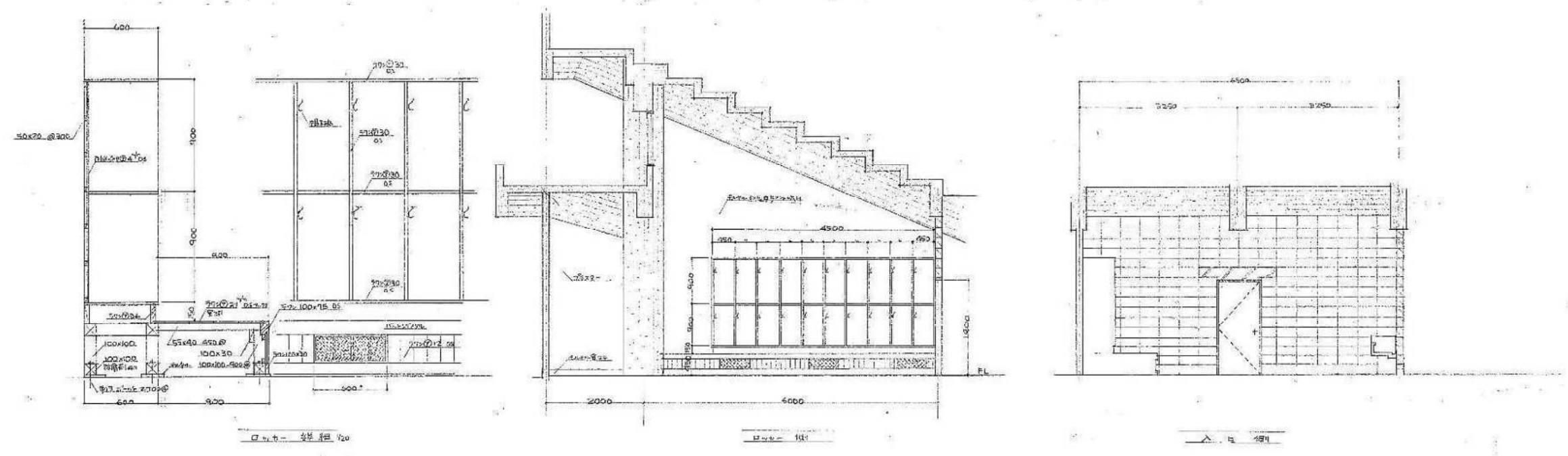
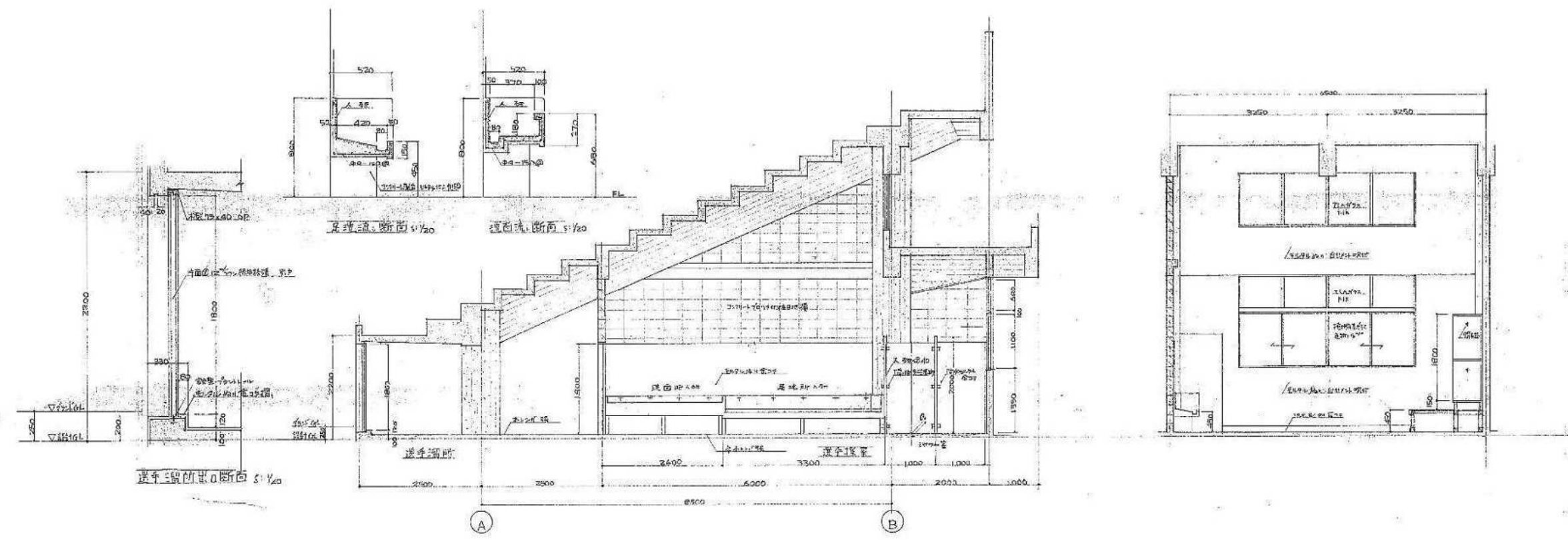


事務所

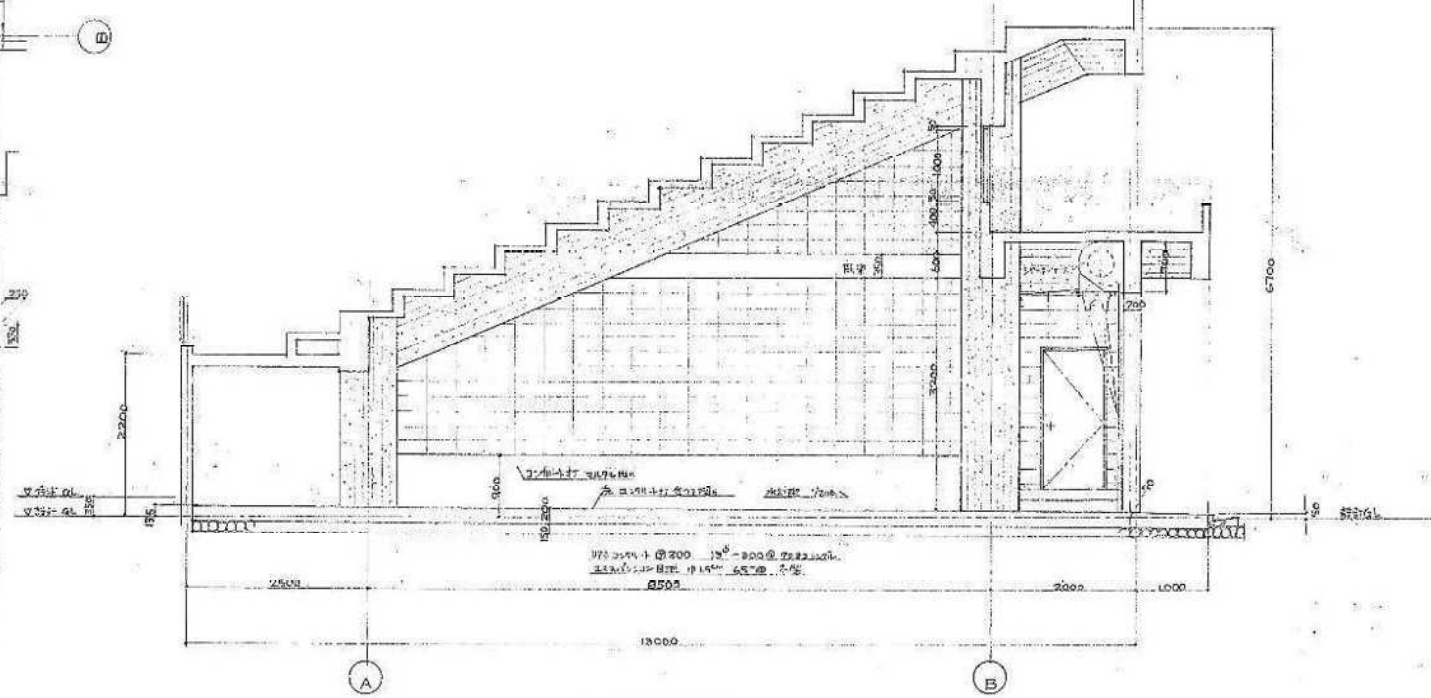
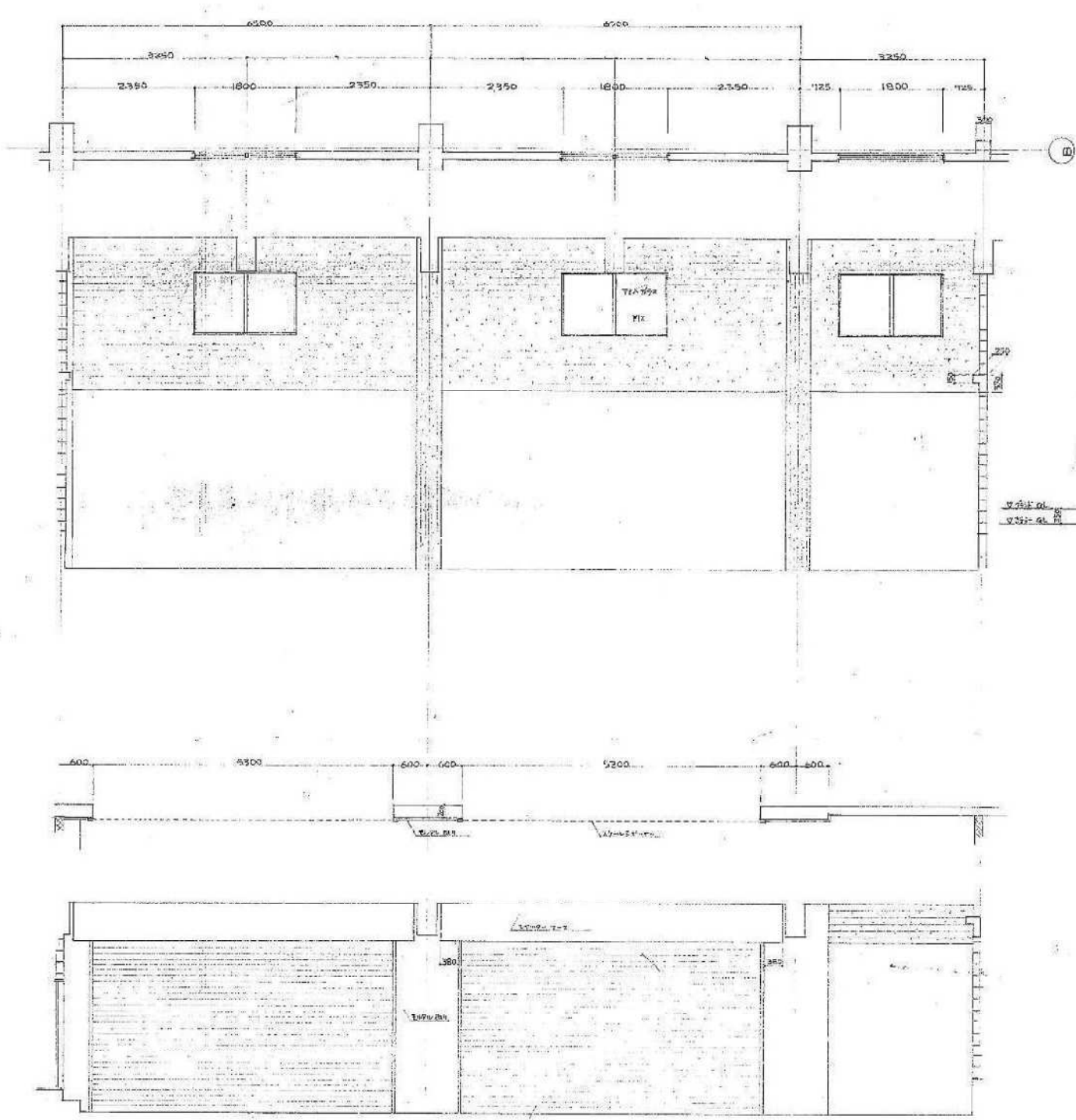


S44 既存図転用

工事名	小針野球場解体工事		
図名	切符売場、会議室 断面図・展開図、事務室展開図		
年月日	2020.10	縮尺	A3 1/100.40 A1 1/50.20
図面番号	A-16		



工事名	小針野球場解体工事
図名	選手控室、選手控室 断面図・展開図、その他詳細図
年月日	2020.10
縮尺	A3 1/100.40 A1 1/50.20
図面番号	A-17

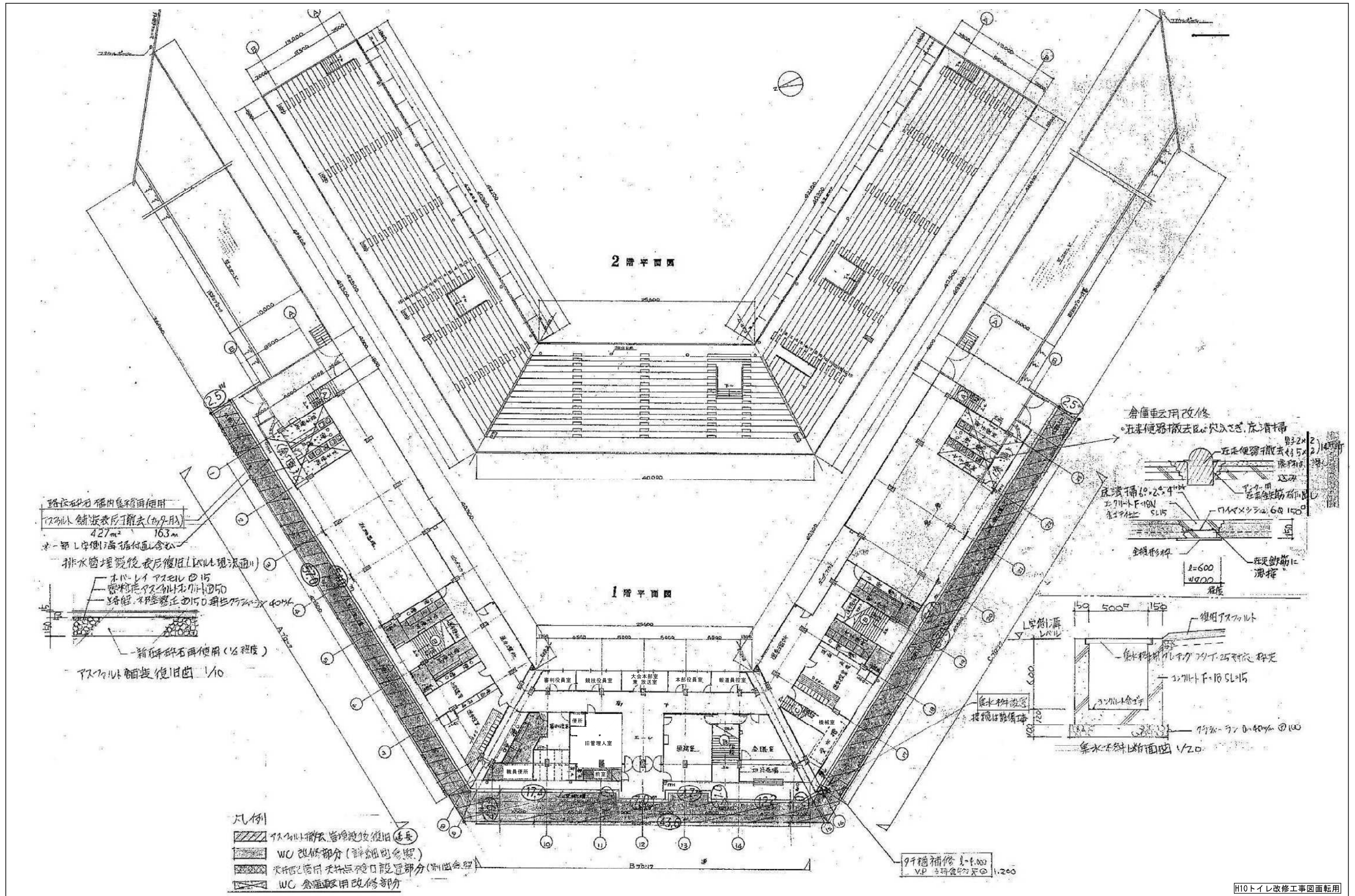


倉庫断面図

材料置場断面図 (倉庫+改)

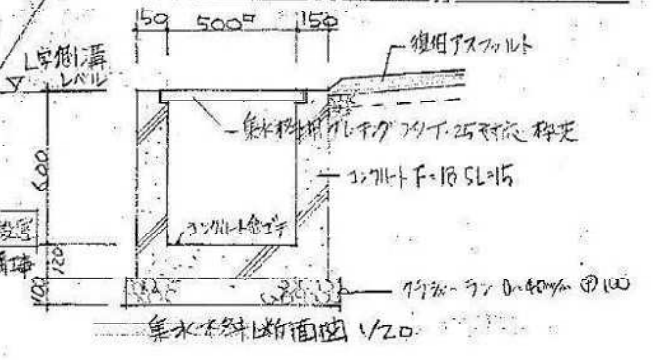
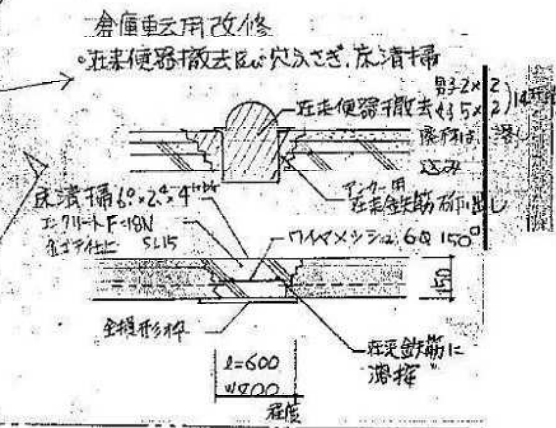
倉庫断面図

		工事名 小針野球場解体工事		図名 倉庫断面詳細図 (材料置場断面図)	
年月日 2020.10	縮尺 A3 1/100 A1 1/50	図面番号	A-18		



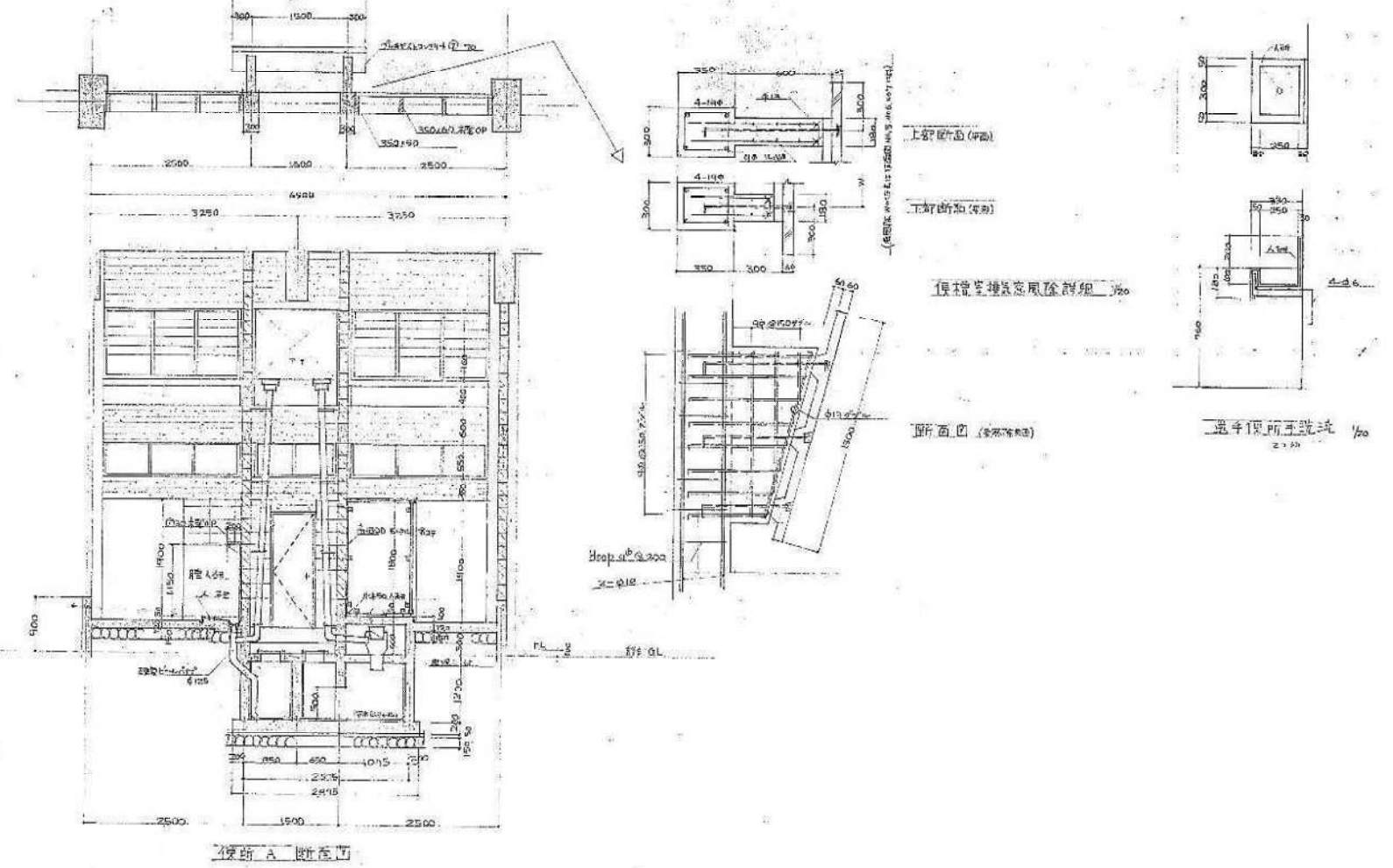
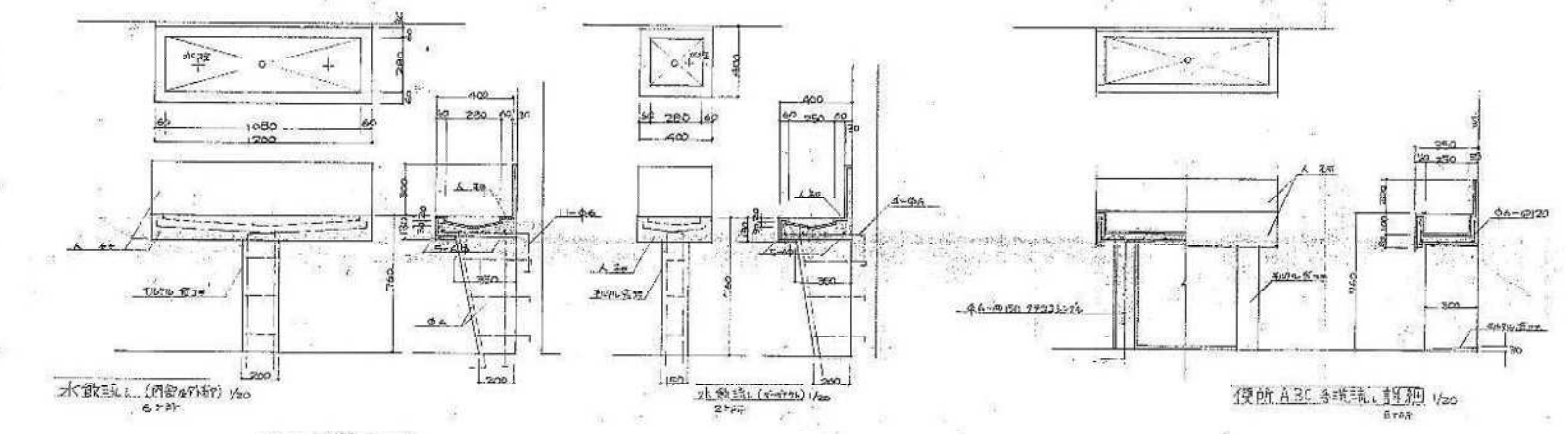
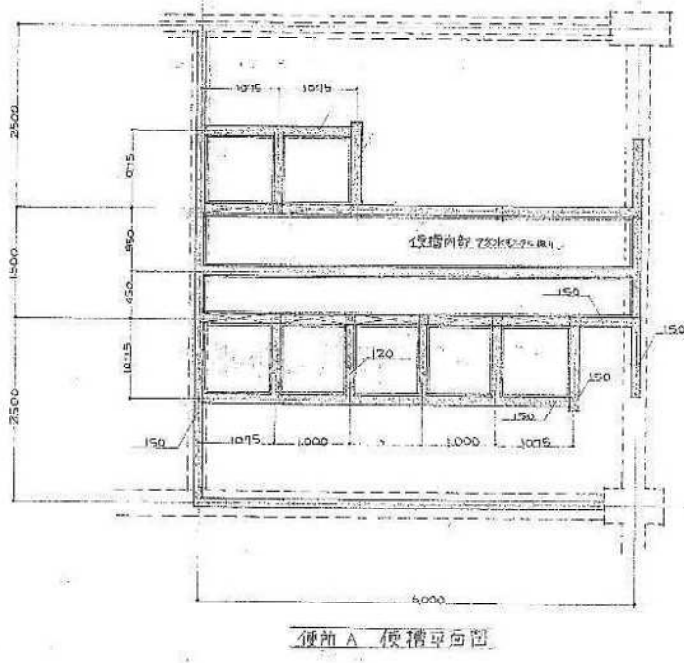
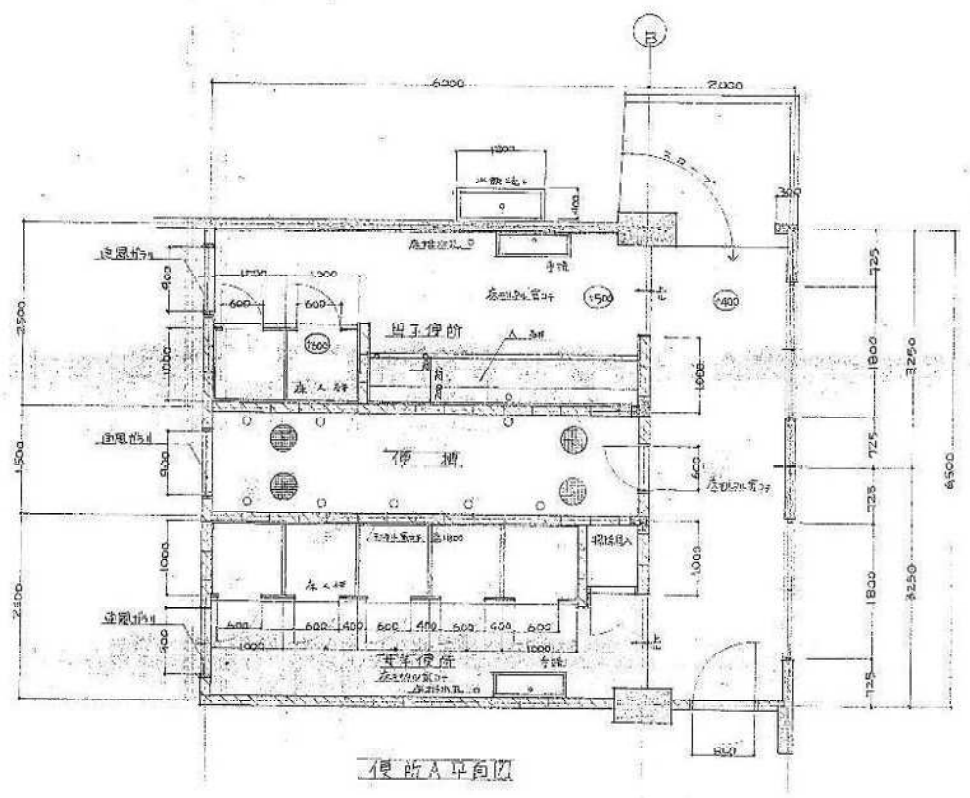
路石砕石 橋内車道用
 アスルト舗装表層除去(約9-A)
 427㎡ 163m
 ※一部L字側溝掘付面含む
 排水管埋設後表層復旧(L字以現況通り)
 木パレイアスルトφ15
 密砕石φ50
 各層、4層階にφ150埋込管×40M
 新砕石再使用(1/2程度)
 アスルト舗装復旧 1/10

- 凡例
- アスルト舗装表層復旧(延長)
 - WC改修部分(詳細図参照)
 - 天井等天井天井口設置部分(別図参照)
 - WC倉庫取用改修部分

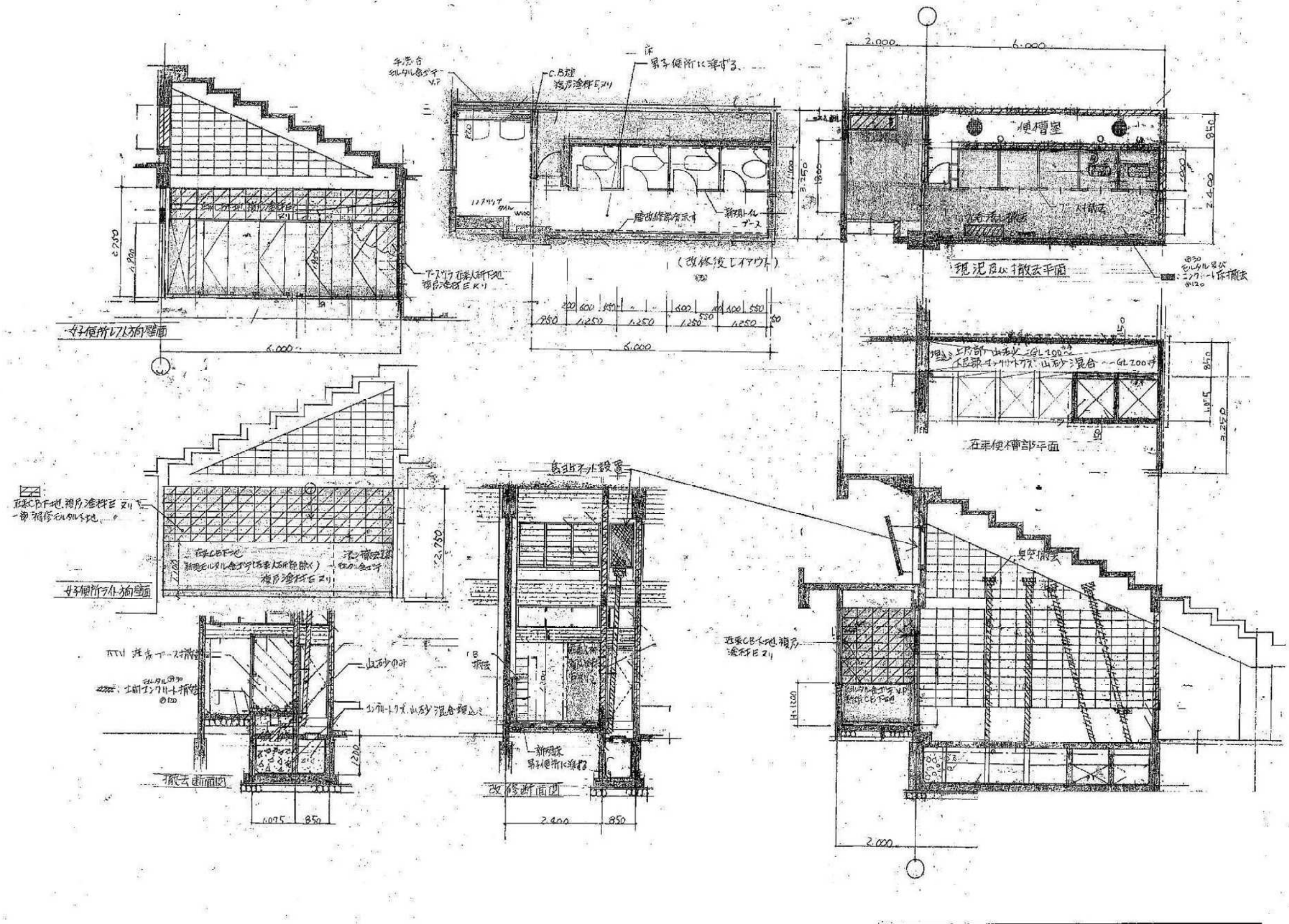


9ヶ所補修 1=1,000
 V.P. 3ヶ所 埋込管φ100 1,200

H10トイレ改修工事図面転用

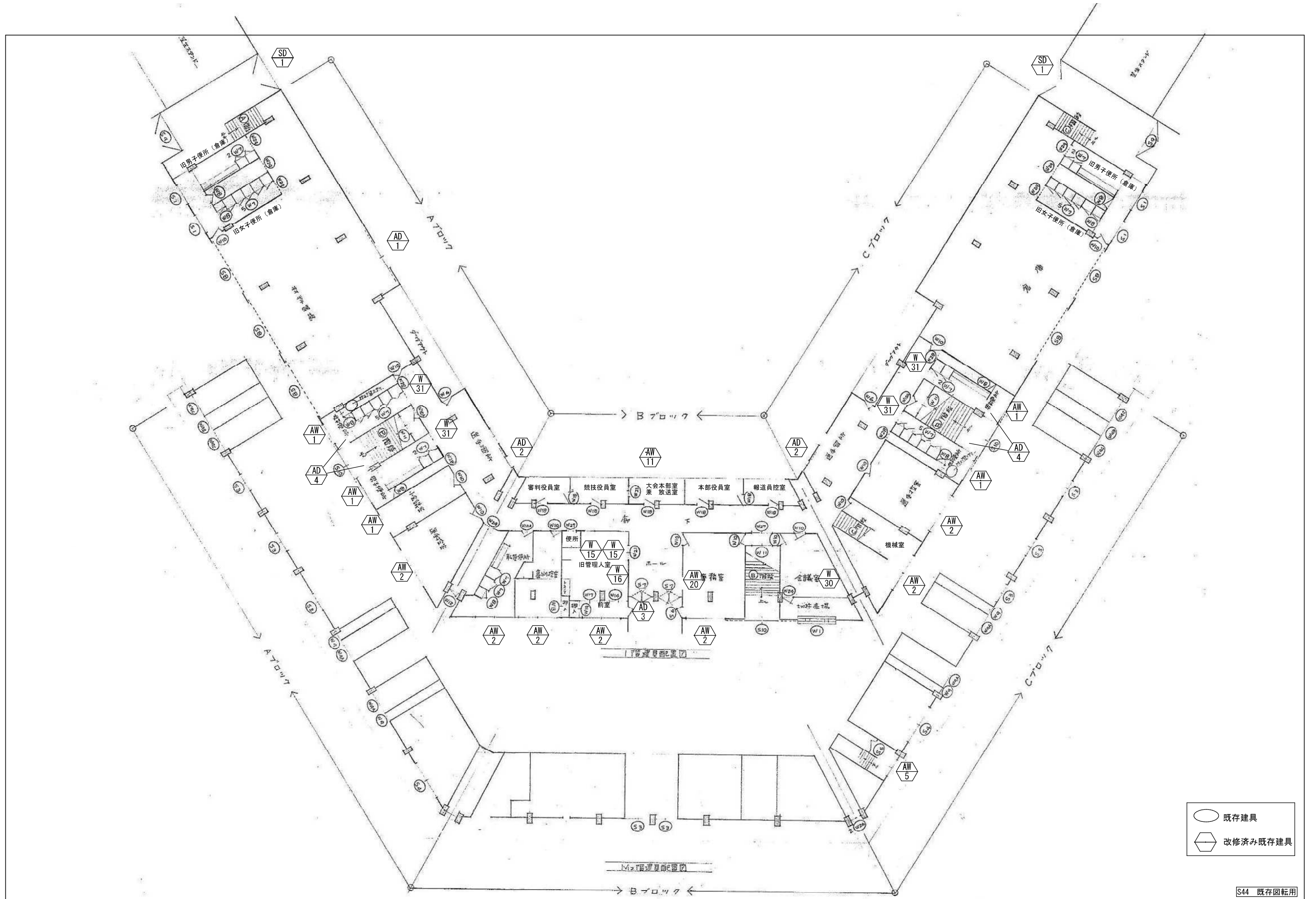


工事名 小針野球場解体工事		図名 旧便所詳細図	
年月日 2020.10	縮尺 A3 1/100, 1/40 A1 1/50, 1/20	図面番号 A-20	



H10トイレ改修工事図面転用

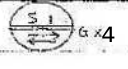


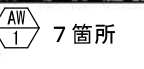
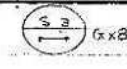

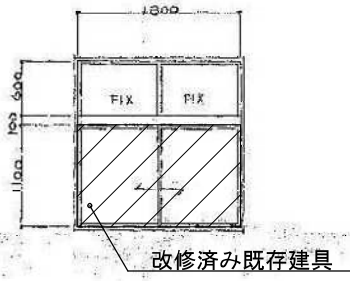
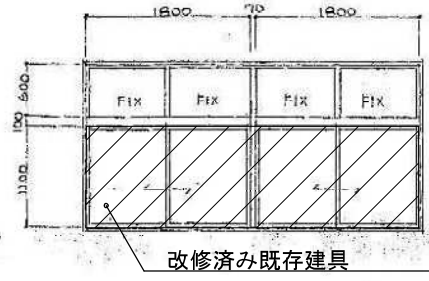
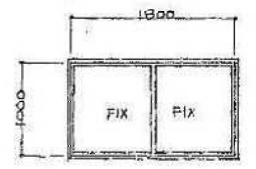
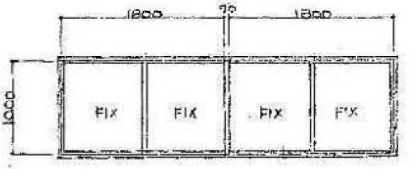
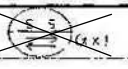

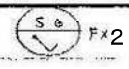
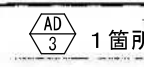
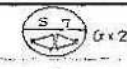

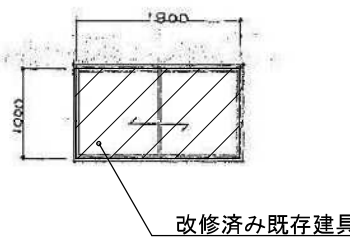

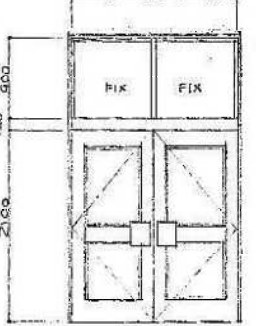

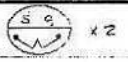


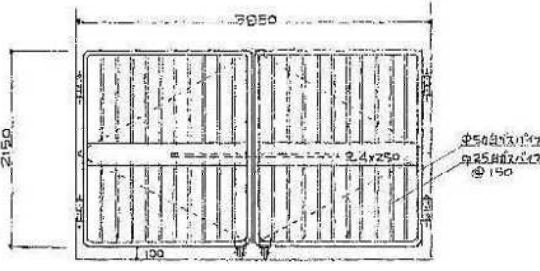
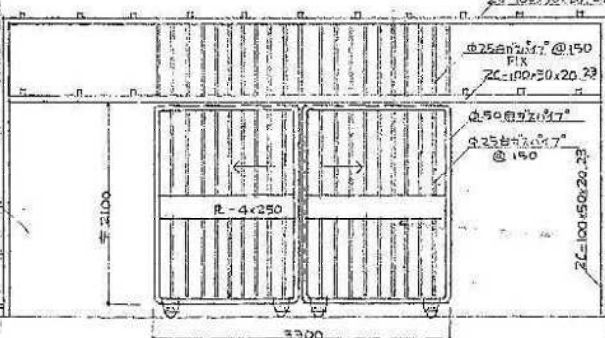
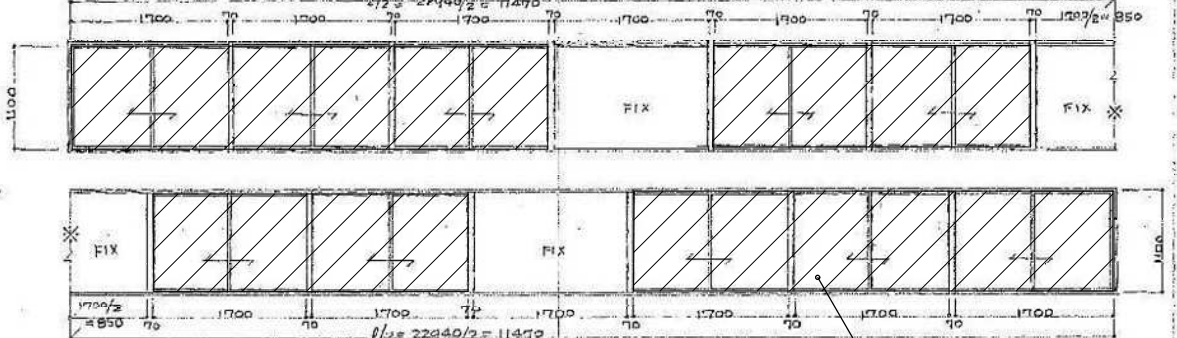
工事名 小針野球場解体工事		図名 女子便所 詳細図	
年月日 2020.10	縮尺 A3 1/100 A1 1/50	図面番号 A-22	



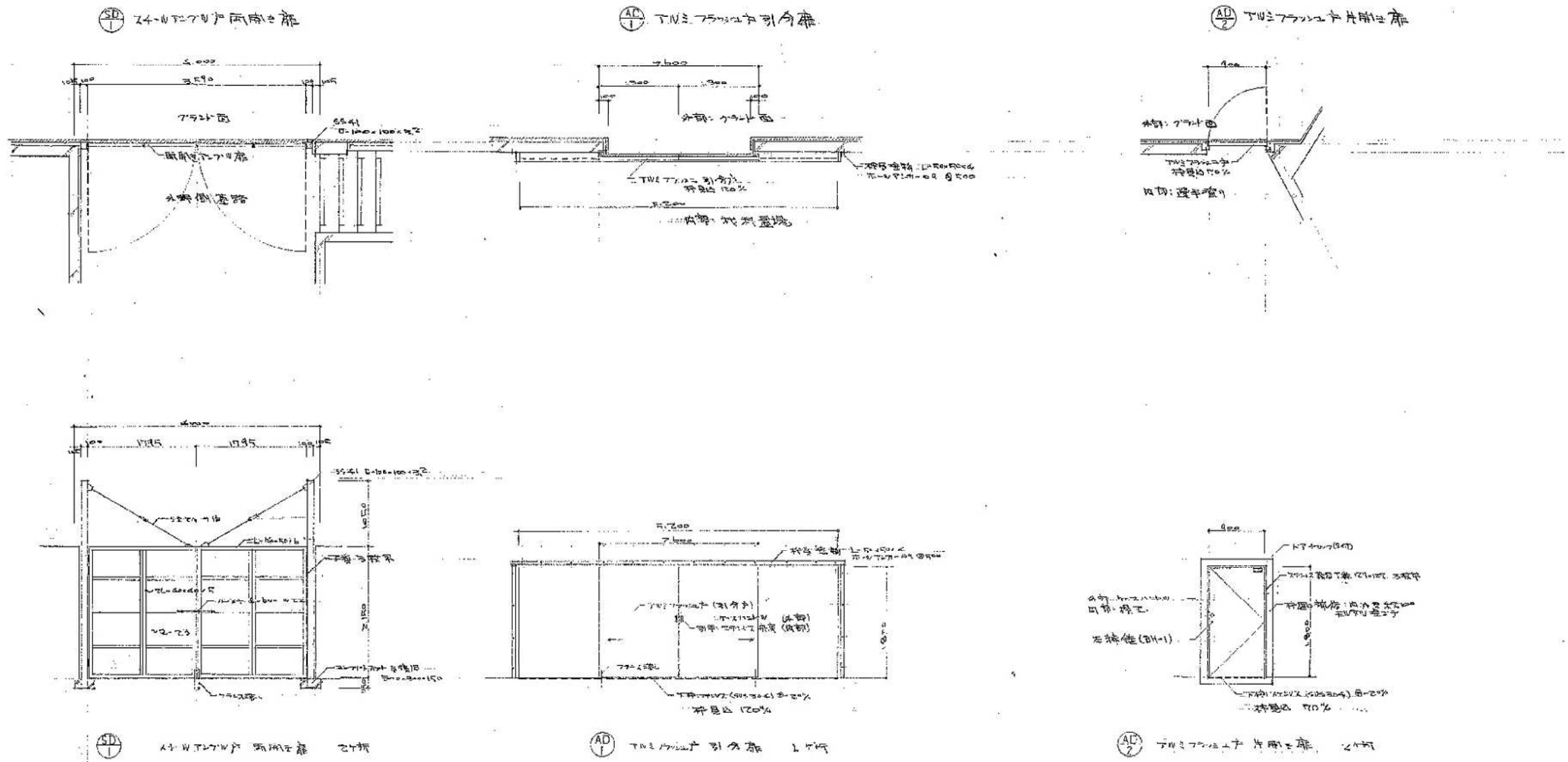
- 既存建具
- ◻ 改修済み既存建具

S44 既存図転用

	小針野球場解体工事 建具配置図	年月日 2020.10
	縮尺 A3 1/300 A1 1/150	図面番号 A-24

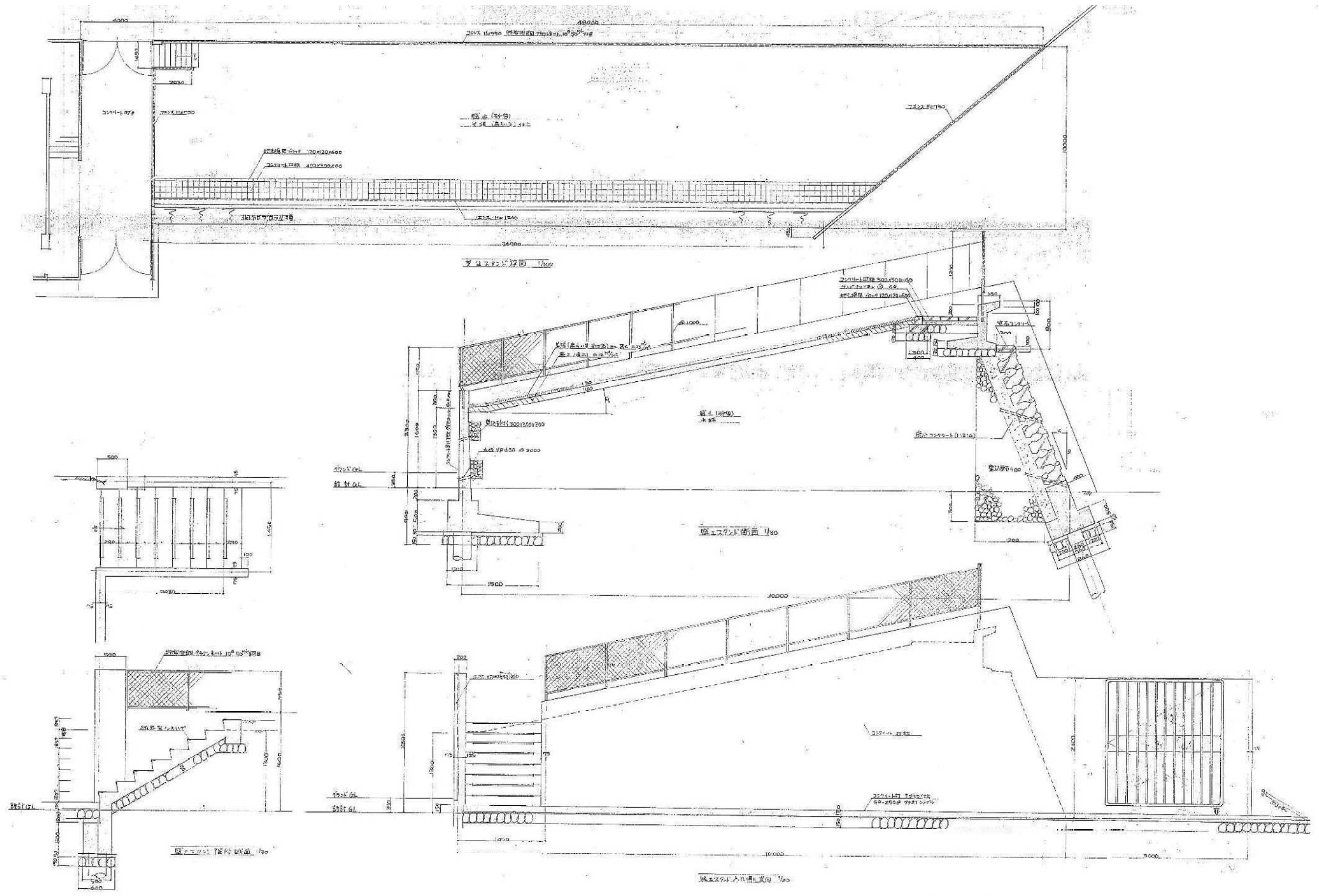
記号 数量  6x4  5箇所	記号 数量  6x7  7箇所	記号 数量  6x8 M2 7箇所	記号 数量  6x2 M2 7箇所
形状 	形状 	形状 	形状 
形式 引違 厚さ 85 材料 スチール 硝子 上段アルミガラス 下段樹脂系ガラス 両面 5mm 仕上 OP 金物等 附属金具一式	形式 引違 厚さ 85 材料 スチール 硝子 上段アルミガラス 下段樹脂系ガラス 両面 5mm 仕上 OP 金物等 附属金具一式	形式 引違 厚さ 85 材料 スチール 硝子 上段アルミガラス 下段樹脂系ガラス 両面 5mm 仕上 OP 金物等 附属金具一式	形式 引違 厚さ 85 材料 スチール 硝子 上段アルミガラス 下段樹脂系ガラス 両面 5mm 仕上 OP 金物等 附属金具一式
記号 数量  6x1  1箇所 M2 7箇所	記号 数量  6x2  1箇所 玄関用開口 及び 内野側開口 1箇所アルミドアに改修済	記号 数量  6x2 正面玄関	記号 数量  5x5 倉庫及材料置場
形状 	形状 	形状 	形状 
形式 引違 厚さ 85 材料 スチール 硝子 アルミガラス 仕上 OP 金物等 附属金具一式	形式 引違 厚さ 36 材料 スチール 硝子 ポリuret処理後 塗装高透明樹脂 仕上 5mm樹脂系ガラス 両面 5mm 左開き 左右開き	形式 引違 厚さ 40 材料 スチール 硝子 5mm樹脂系ガラス 両面 5mm 硝子仕上処理後OP 金物等 24mm鉄 70mm鉄 (2) 押取 2組	形式 引違 厚さ 40 材料 スチール 硝子 複式中空ガラス 両面 5mm 硝子仕上処理後OP 金物等 附属金具一式
記号 数量  4x2 内野側入口	記号 数量  4x3 内野側入口	記号 数量  6x1 1箇所 拡張部 屋根設置 基礎 100mm厚コンクリート	
形状 	形状 	形状 	
形式 引違 厚さ 85 材料 スチール 硝子 上段アルミガラス 下段樹脂系ガラス 両面 5mm 仕上 OP 金物等 附属金具一式	形式 引違 厚さ 85 材料 スチール 硝子 上段アルミガラス 下段樹脂系ガラス 両面 5mm 仕上 OP 金物等 附属金具一式	形式 引違 厚さ 85 材料 スチール 硝子 上段アルミガラス 下段樹脂系ガラス 両面 5mm 仕上 OP 金物等 附属金具一式	

記号	数量	① G×1	② E×2	③ E×1	④ G×2	⑤ E×2	⑥ F×2	⑦ F×30	
形式									
形式									
記号	数量	⑧ シ×1	⑨ 2箇所	⑩ 2箇所	⑪ シ×1	⑫ F×7	⑬ F×1	⑭ G×1	
形式									
記号	数量	⑮ G×1	⑯ G×1	⑰ F×1	⑱ G×1	⑲ G×2	㉑ G×1	㉒ 4箇所	㉓ 7箇所
形式									
記号	数量	⑳ 4箇所	㉔ 4箇所	㉕ 4箇所	㉖ 4箇所				
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									
形式									



S62_小針野球場セーフィンス取付工事図面転用

工事名		図名	
小針野球場解体工事		建具表-3	
年月日	縮尺	図面番号	
2020.10	A3 1/80 A1 1/40		A-27

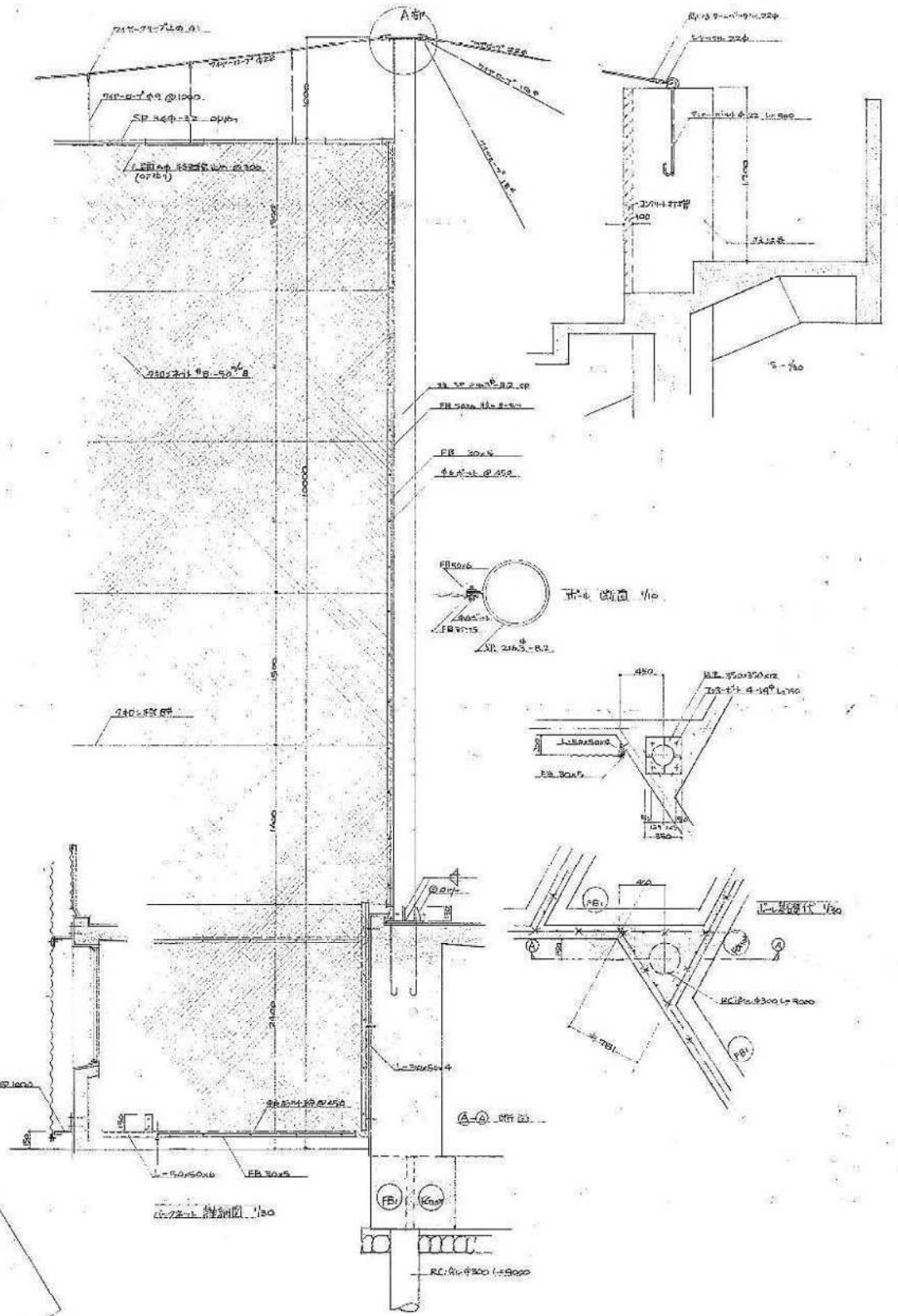
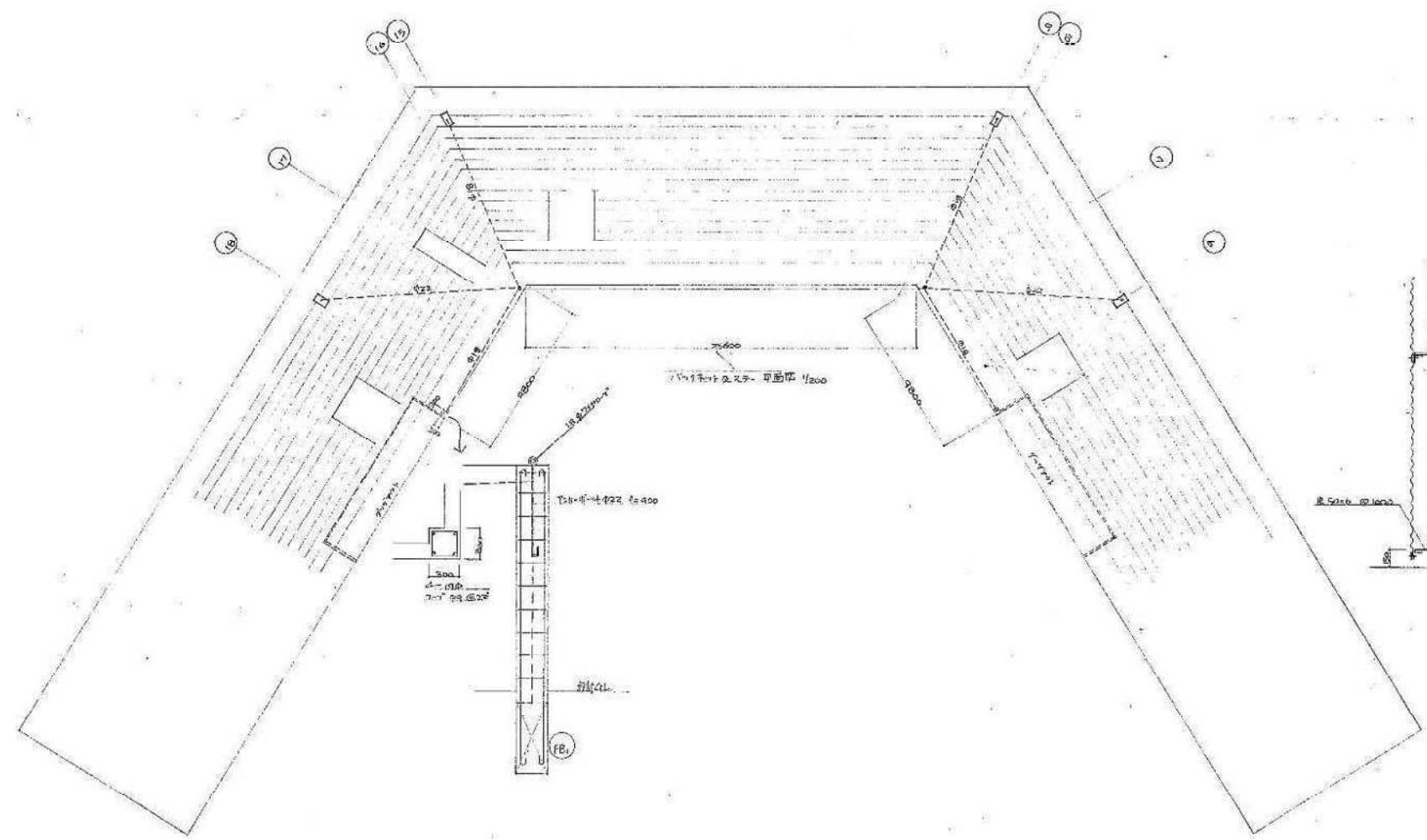
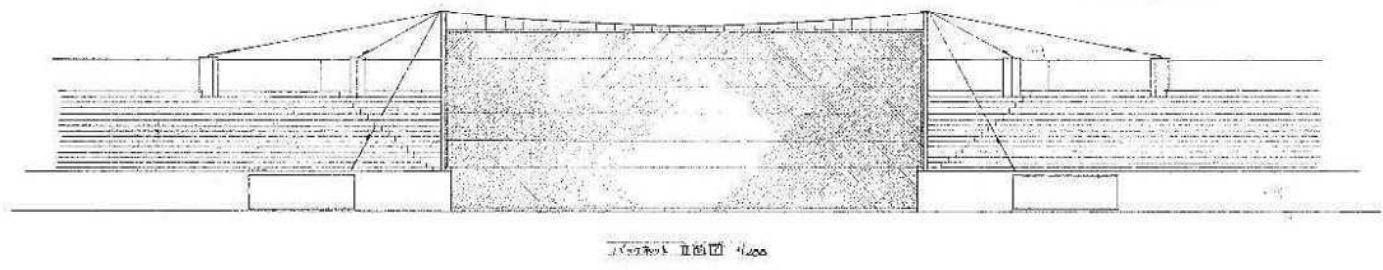
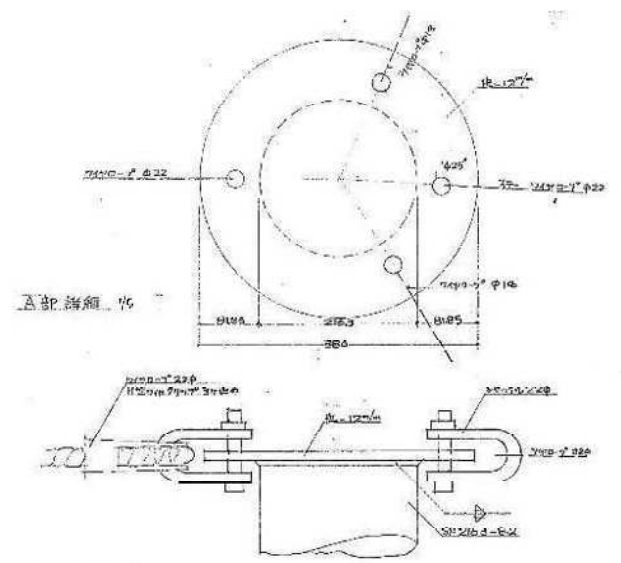


S44 既存図転用

図名	盛土対峙 平面図・立面図・断面図		
年月日	2020.10	縮尺	A3 1/200.60 A1 1/100.30
図番	A-28		

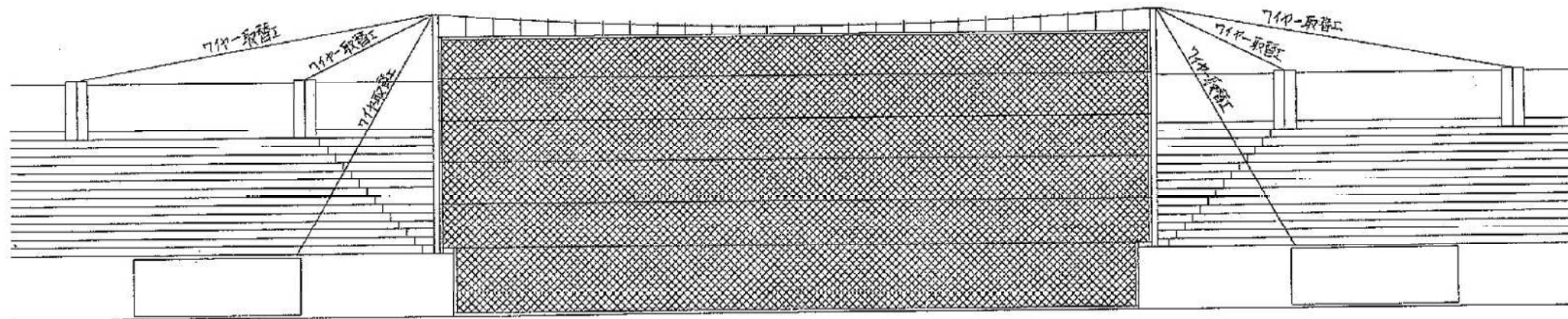
小針野球場解体工事

工事名

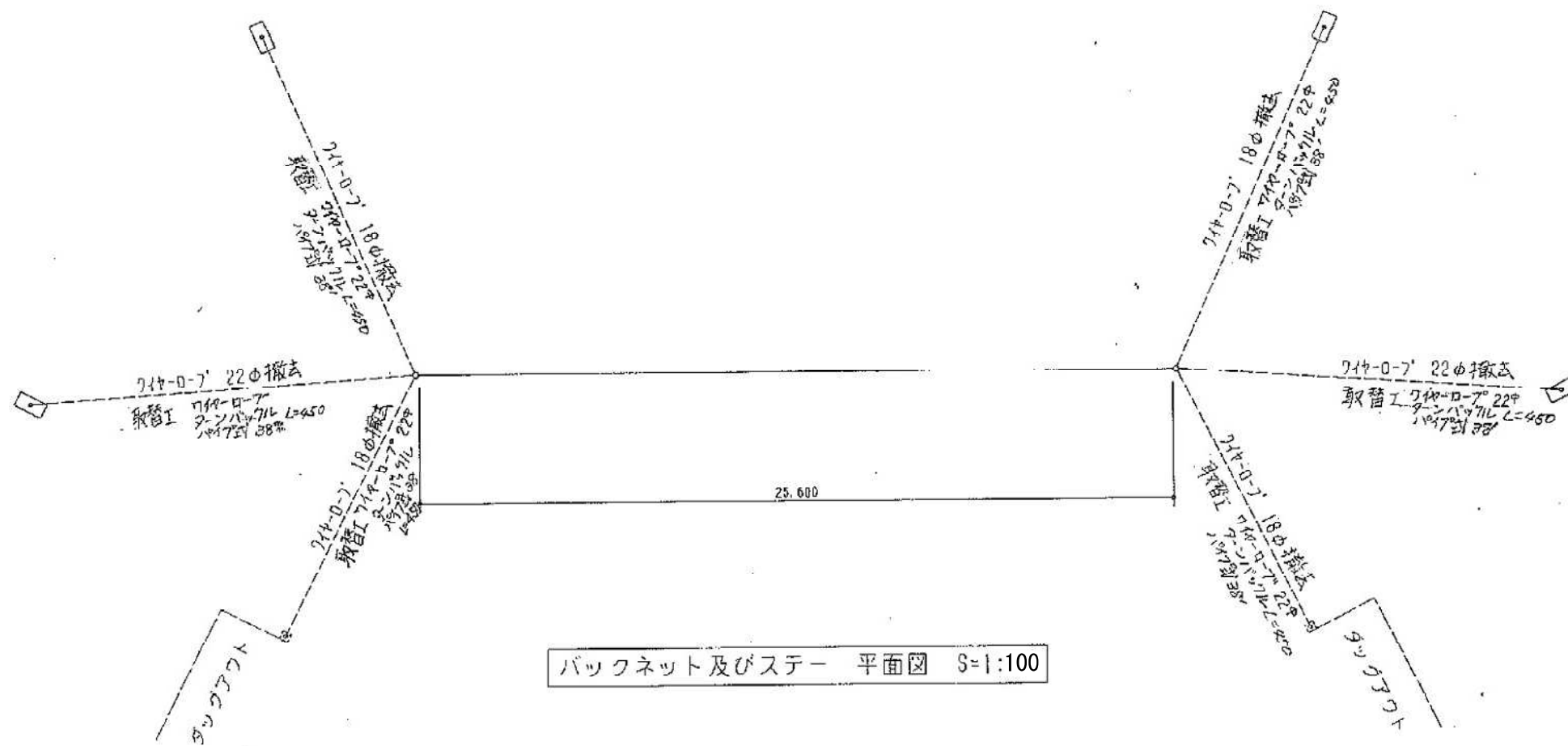


S44 既存図転用

工事名	小針野球場解体工事
図名	小針野球場解体工事・立面図・詳細図
年月日	2020.10
縮尺	A3 1/400.60.20.10 A1 1/200.30.10.5
図番	A-29



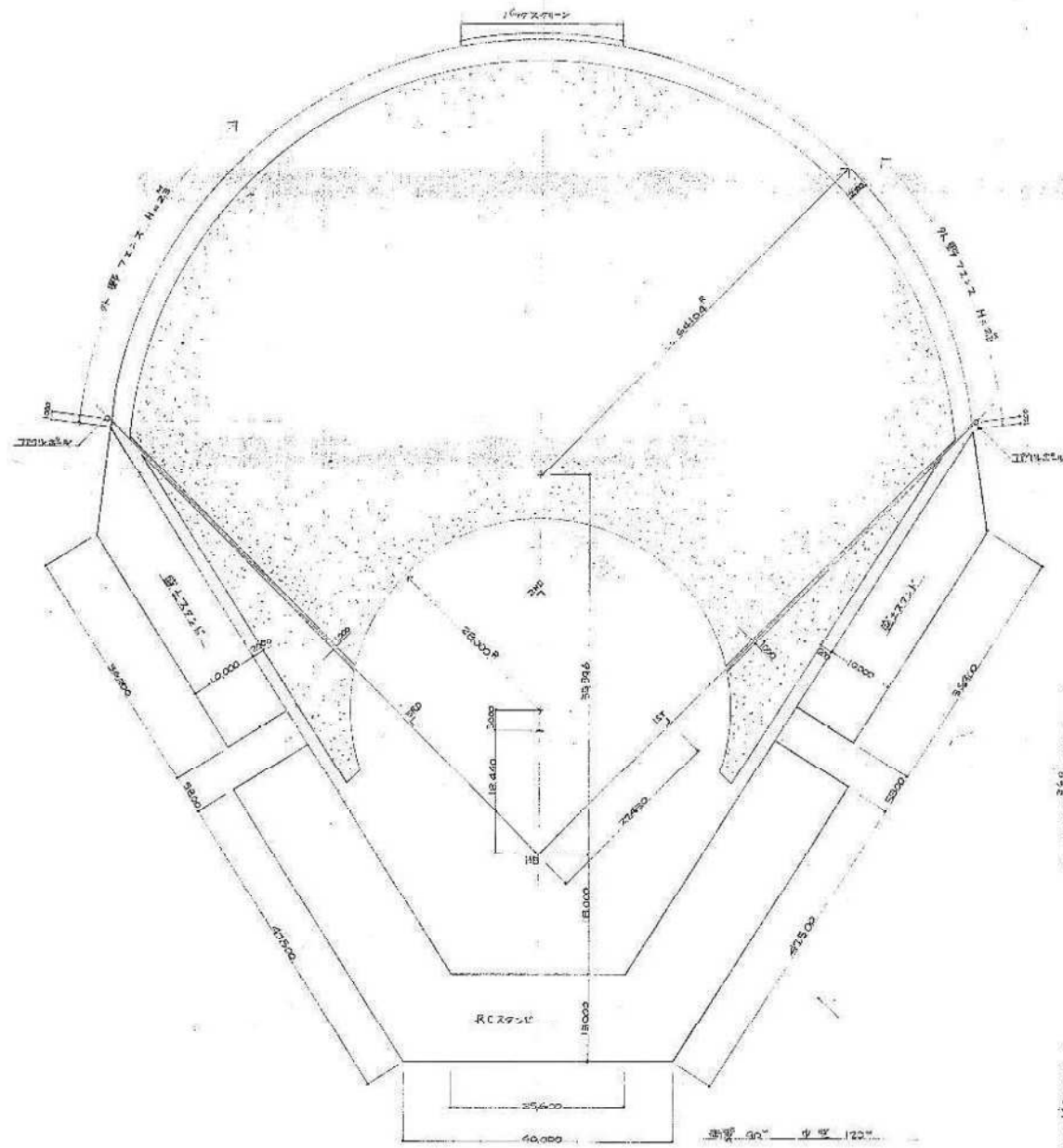
バックネット 立面図 S=1:100



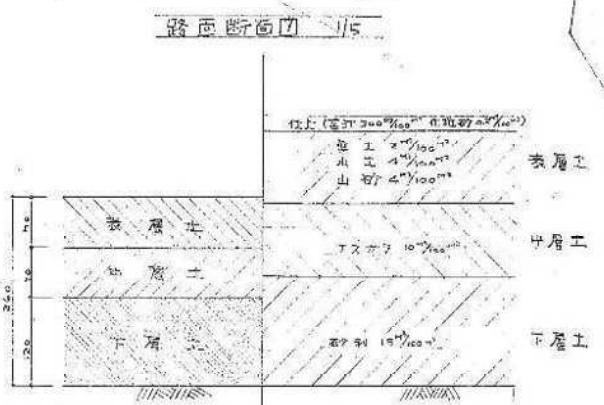
バックネット及びステー 平面図 S=1:100

H09 ネット改修工事図面転用

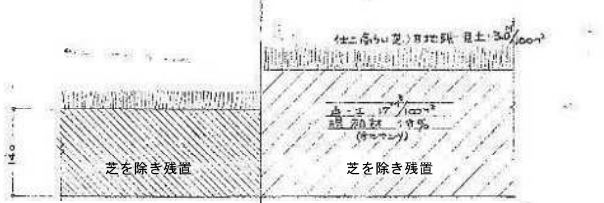
図名		小針野球場解体工事	
図面内容		バックネット立面図・バックネット及びステー平面図	
年月日	縮尺	図面番号	A-30
2020.10	A3 1/200 A1 1/100		



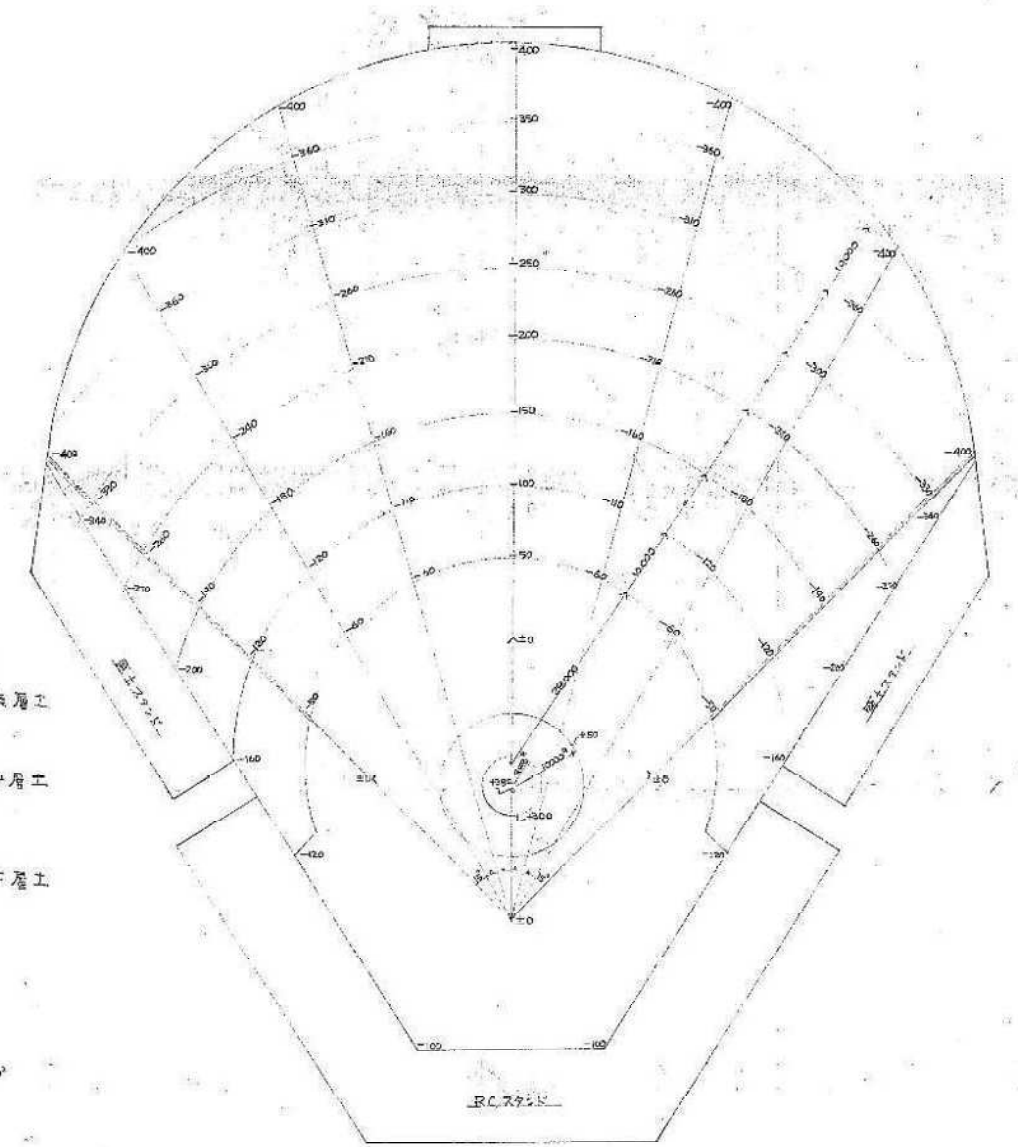
座席面図 1/500



路側断面図 1/5



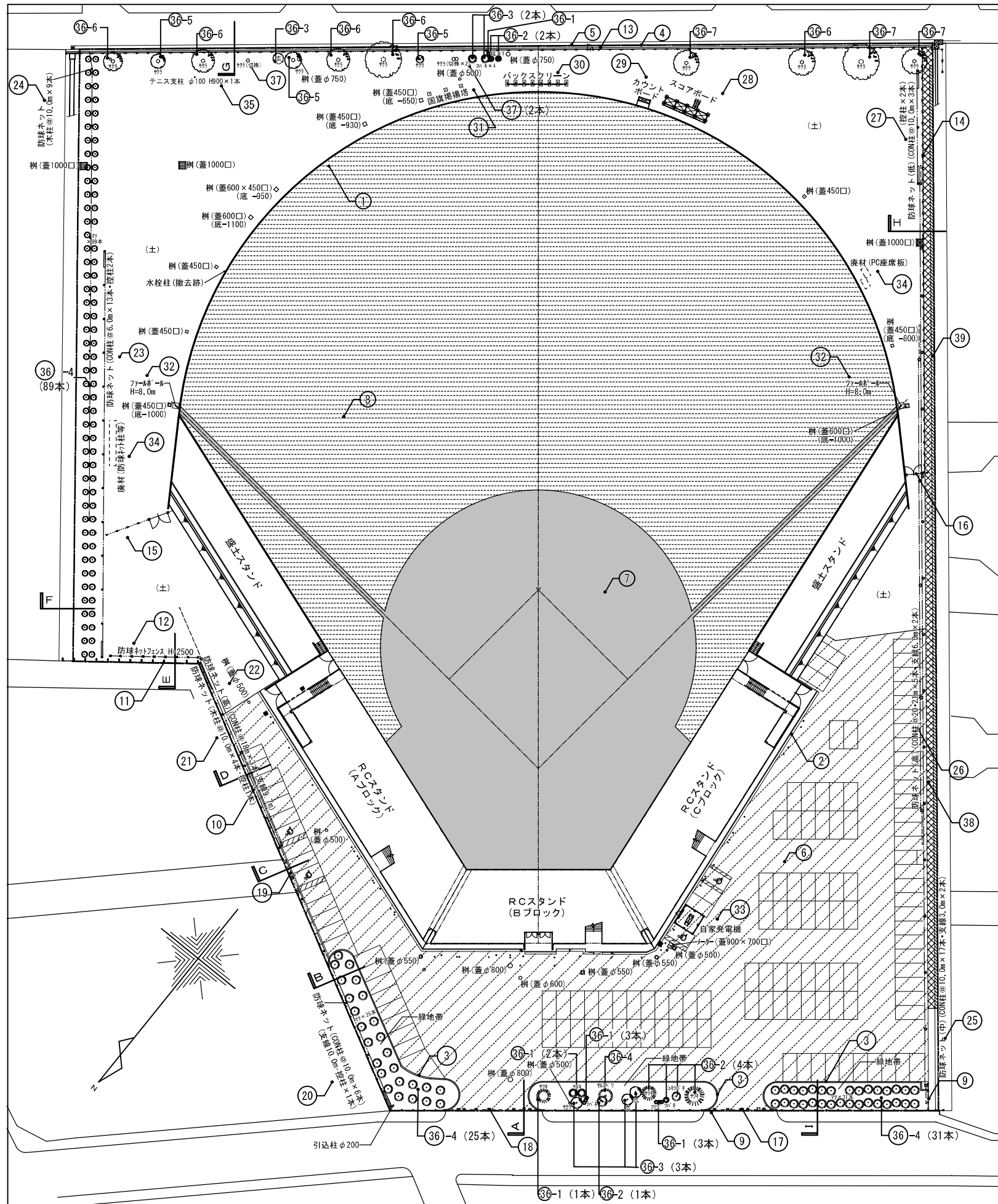
外野断面図



座上高低図 1/500

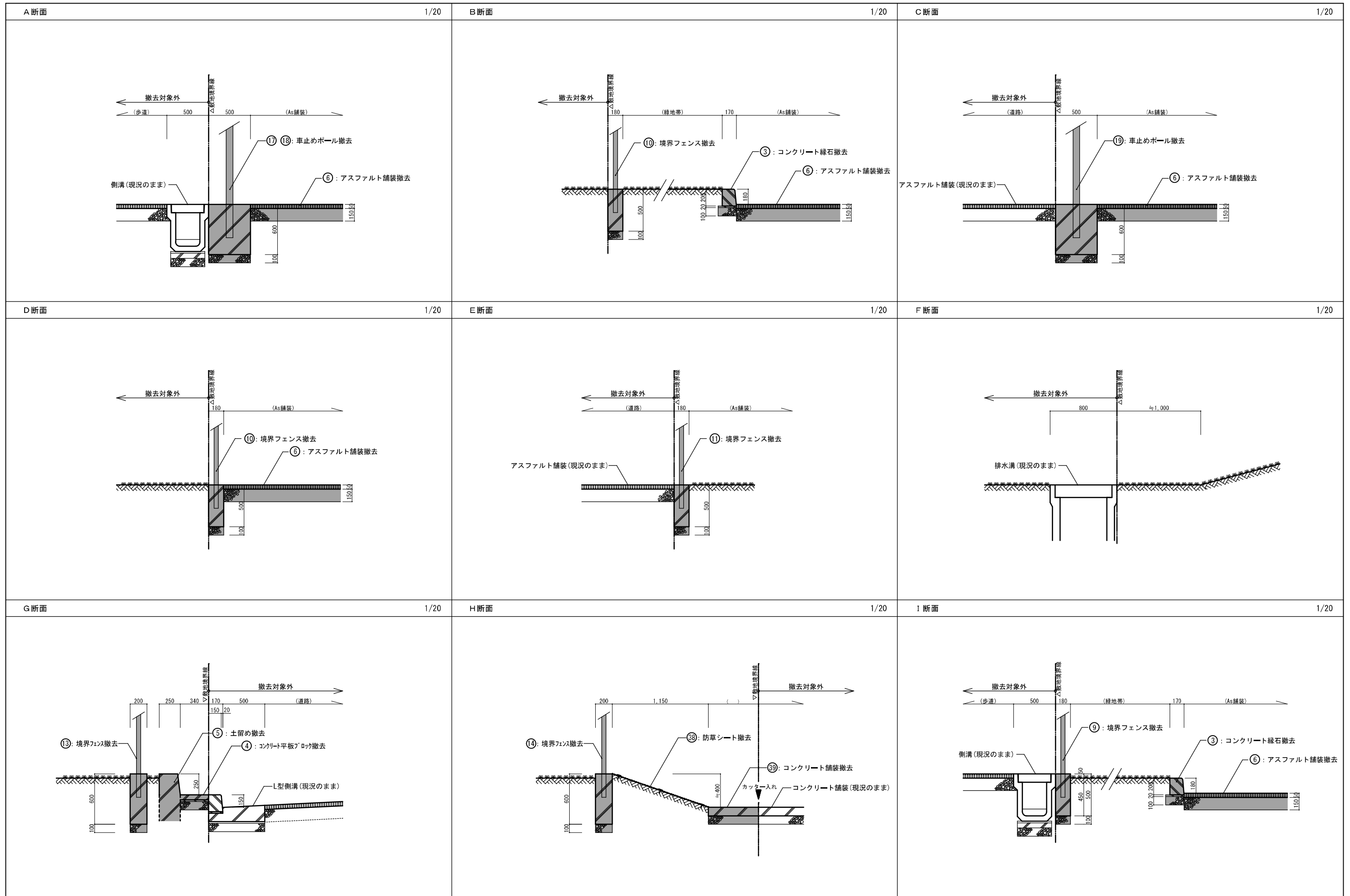
材料	場所	工種	単位	割合
砕石	基礎	基礎工	m ³	5%以下
山工	基礎	基礎工	m ³	0.02以下
山砂	基礎	基礎工	m ³	0.02以下
山砂	基礎	基礎工	m ³	0.02以下
山砂	基礎	基礎工	m ³	0.02以下

上記の材料は、上記の工種に使用される。



番号	項目 (凡例)	撤去内容	数量
①	U形側溝撤去	グランド内 W300×H360、集水樹450×450×12か所共 コンクリート蓋、t120砕石	404.0 m
②	L形側溝撤去	250B 450×H100 砕石t100 均しt100	142.2 m
③	コンクリート縁石撤去	歩車道境界ブロックA 150/170×200×600砕石t100、均しt100	127.0 m
④	南側道路境界 コンクリート平板ブロック撤去	340×600×60 砕石t100、均しt100	151.0 m
⑤	南側道路境界 土留め撤去	現場打RC W250×H250(地上のみの想定寸法) 砕石t100、捨てコンクリート60	151.0 m
⑥	アスファルト舗装撤去	構内駐車場 表層t50 路盤砕石t150	4,665.0 m ²
⑦	内野グランド路面撤去	表層土t70(真土・山土・山砂) 中層土t70(アスファルトガラ)/下層土t120(砂利)	3,133.0 m ²
⑧	外野グランド表層撤去 盛土スタンド部含む	高麗芝目地張	9,267.0 m ²
⑨	北西側道路境界	ネットフェンス H1200 支柱@2000 基礎180×180×500、砕石t100	83.7 m
⑩	北側境界	ネットフェンス H1200 支柱@2000 基礎180×180×500、砕石t100	79.1 m
⑪	北東側境界	ネットフェンス H1200 支柱@2000 控付 基礎180×180×500、砕石t100	22.0 m
⑫	北東側境界	H2500 支柱@2000	15.5 m
⑬	南側道路境界/境界フェンス撤去 (扉1箇所950×1800共)	ネットフェンスH1800支柱@2000、 基礎200×200×600、砕石t100	151.0 m
⑭	南西側境界	ネットフェンス H1800 支柱@2000 基礎200×200×600、砕石t100	73.7 m
⑮	東側外野裏/扉付フェンス撤去 (扉W3450×H1800共)	ネットフェンス H1800 支柱@2000 基礎200×200×600、砕石t100	8.9 m
⑯	西側外野裏/扉付フェンス撤去 (扉W2950×H1800共)	ネットフェンス H1800 支柱*1本 基礎200×200×600、砕石t100	0.9 m
⑰	北西側道路乗入部	φ80×H1200	4.0 本
⑱	北側道路乗入部	φ80×H1200	7.0 本
⑲	北東側道路境界部	φ80×H1200	3.0 本
⑳	北側境界	φ350 H9.5m(地上)+3.0m(地下)、L50.0m×H9.3m、柱@10.0m、支線控え柱1本	50.0 m
㉑	北側境界	φ350 H9.5m(地上)+3.0m(地下)、L40.0m×H6.0m、柱@10.0m、控え柱1本	40.0 m
㉒	北側境界	φ350 H13.0m(地上)+4.0m(地下)、L36.0m×H6.5m(ネットは上半分)、柱@18.0m	36.0 m
㉓	北東側境界	φ350 H13.0m(地上)+4.0m(地下)、L72.0m×H13.0m、柱@6.0m、控え柱2本	72.0 m
㉔	北東側境界	φ350 H13.0m(地上)+4.0m(地下)、L80.0m×H6.0m、柱@10.0m	80.0 m
㉕	西側境界	φ350 H9.5m(地上)+3.0m(地下)、L160.0m×H9.3m、柱@10.0m、支線2本	160.0 m
㉖	西側境界	φ350 H13.0m(地上)+4.0m(地下)、L80.0m×H5.0m(ネットは上半分のみ)、柱@20.0m、支線2本	80.0 m
㉗	西側境界	φ300 H7.5m(地上)+2.5m(地下)、L20.0m×H7.3m、柱@10.0m、控え柱2本	20.0 m
㉘	スコアボード撤去(基礎のみ)	RC基礎、砕石t150、捨てコンクリートt50	1.0 か所
㉙	カウンボード撤去	2.0m×0.6m×H2.5m 木製柱100×100×4本、支持アングル 10.5m×0.3m×H5.2m、鋼管φ60.5・φ48.6加工	1.0 か所
㉚	バックスクリーン撤去	目隠ネット、RC基礎、砕石t100、捨てコンクリートt50	1.0 か所
㉛	国旗掲揚塔撤去	H7.0m×1本、H6.0m×2本 フラッグポールφ85、RC基礎、砕石t100、捨てコンクリートt50	1.0 か所
㉜	フェンス撤去	H8.0m フェンスφ120 フェンスバンド付 RC基礎、砕石t100、捨てコンクリートt50	2.0 か所
㉝	自家発電機置場撤去 (発電機本体はE-01図に記載)	スチール製防音フェンス3.8m×3.8m×H1.8m 扉付 発電機基礎1.5m×0.9m×H0.5m 砕石t100、フェンス基礎300×300×H500 廃材ネット柱 φ300×L8.0×6本、廃材PC腰掛W300×t90/60×L1.62×40台、 廃材平板ブロック300×300×60×18枚	1.0 か所
㉞	残置廃材撤去	コンクリートt50	1.0 式
㉟	テニスネット支柱撤去	φ100 H1.2m	1.0 本
㊱	樹木伐採抜根	-1 樹木 H=1.0m C=0.1 ツバキ3本、サツキ3本、ツツジ3本、広葉樹1本	10.0 本
		-2 樹木 H=1.5m C=0.3 サツキ2本、ツバキ5本	7.0 本
		-3 樹木 H=2.5m C=0.4 ツバキ2本、サクラ1本、広葉樹3本	6.0 本
		-4 樹木 H=3.0m C=0.5 マツ145本、サルスベリ1本	146.0 本
		-5 樹木 H=4.0m C=1.2 サクラ3本	3.0 本
		-6 樹木 H=5.0m C=2.0 サクラ5本	5.0 本
		-7 樹木 H=8.0m C=2.5 サクラ3本	3.0 本
㊲	樹木抜根	切株 C=2,5	3.0 本
㊳	防草シート		174.0 m ²
㊴	コンクリート舗装撤去	カッター入れ共	60.6 m ²

特記
 ・上記リストに記載あるものは、特記無きかぎり全て撤去とする。
 ・既存図に記載のない工作物、目視調査できない地中埋設物においては未記載。
 ・樹撤去リスト(撤去)はM-02に記載。



特記
 既存図に記載が無く目視調査のできない地中埋設部分においては想定寸法で記載
 [影線] : 撤去部分を示す

工事名
 小針野球場解体工事

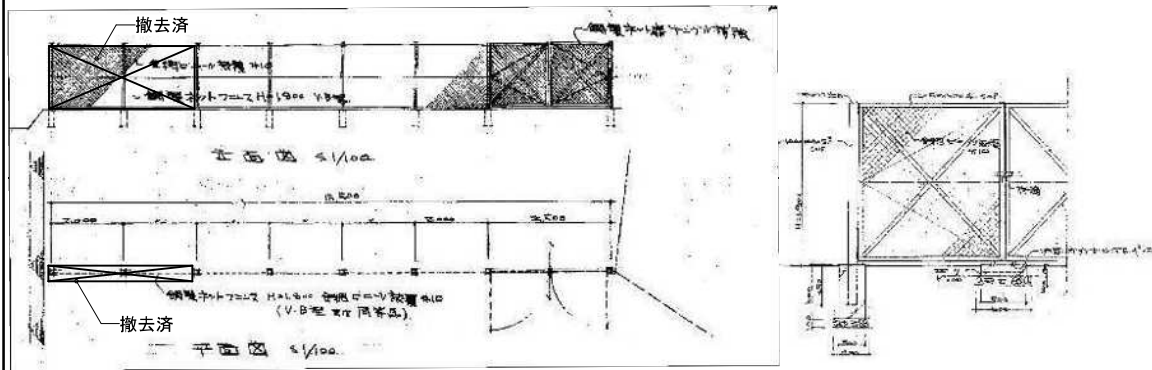
図名
 外構詳細図

年月日
 2020.10

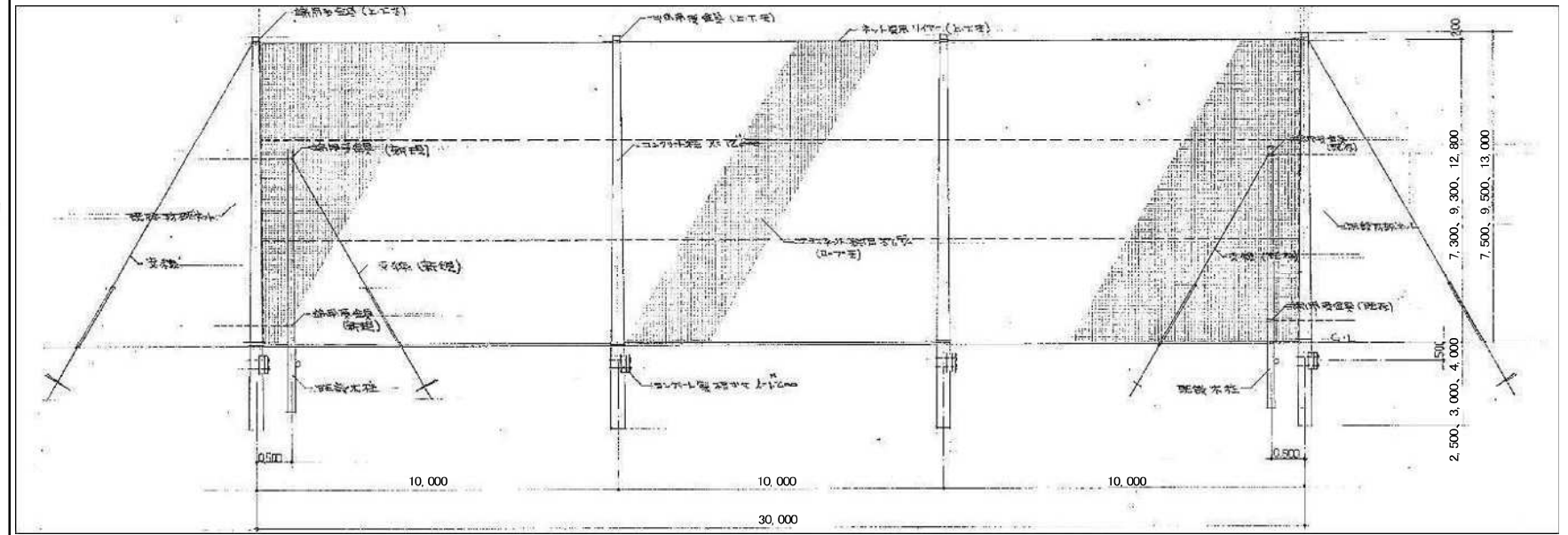
縮尺
 A3 1/40
 A1 1/20

図番
 A-34

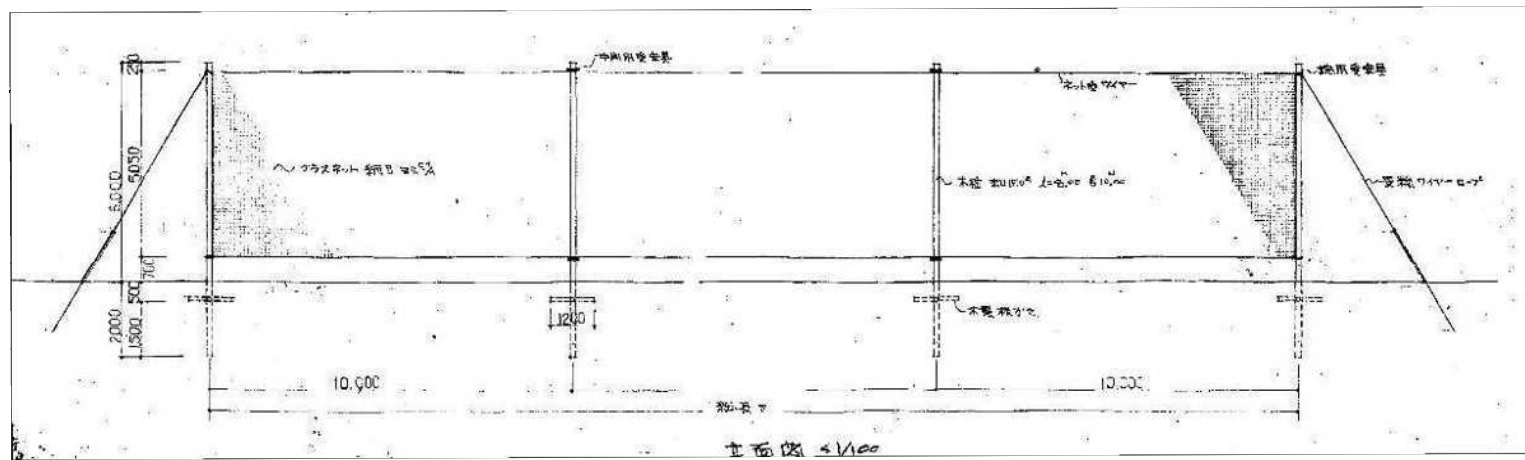
⑮ フェンス参考図



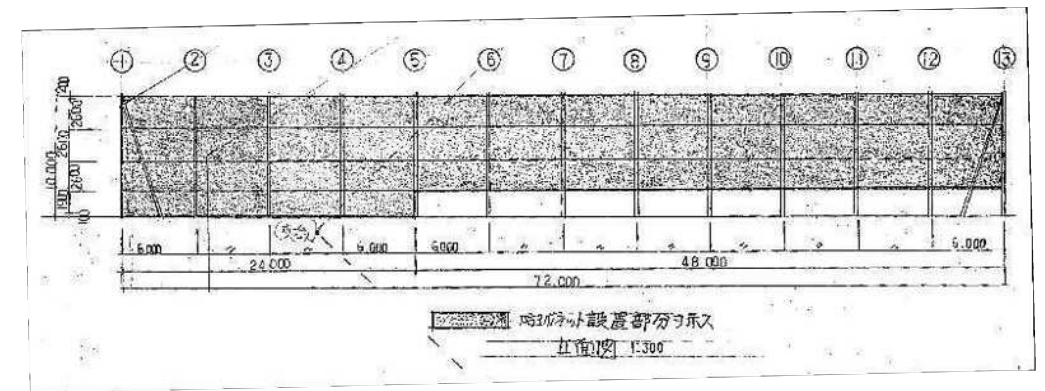
⑳ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ コンクリート支柱防球ネット 参考図



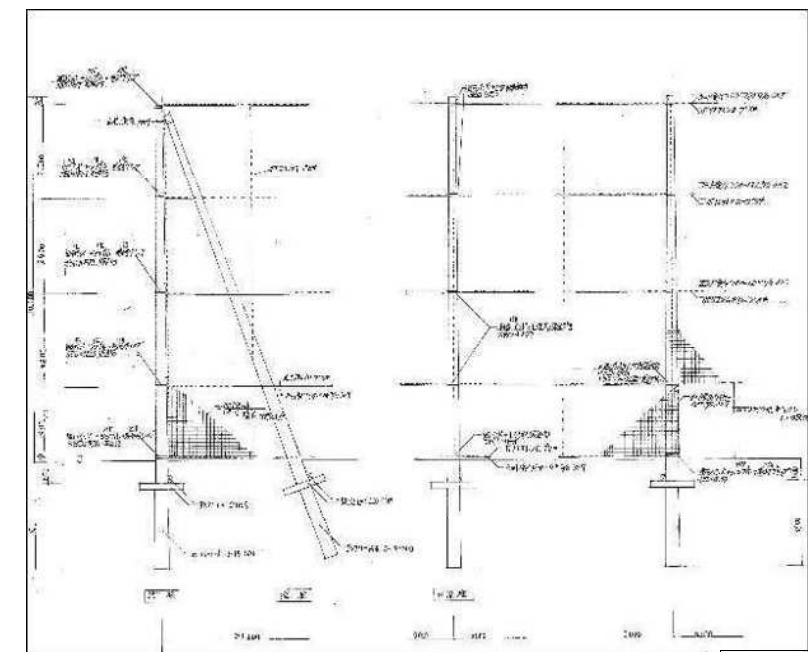
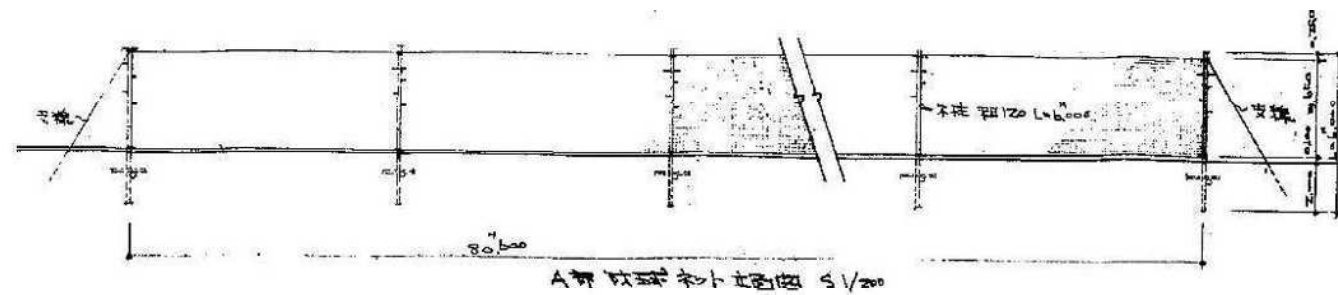
㉑ 木製支柱防球ネット 参考図



㉓ コンクリート製支柱防球ネット 参考図

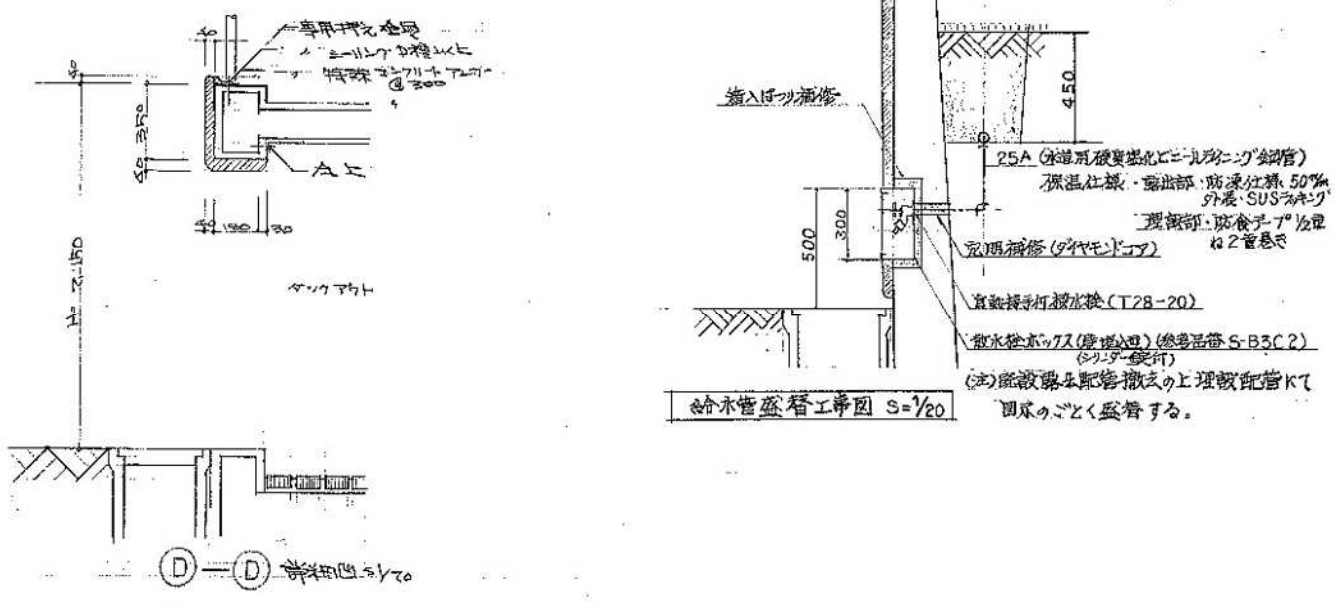
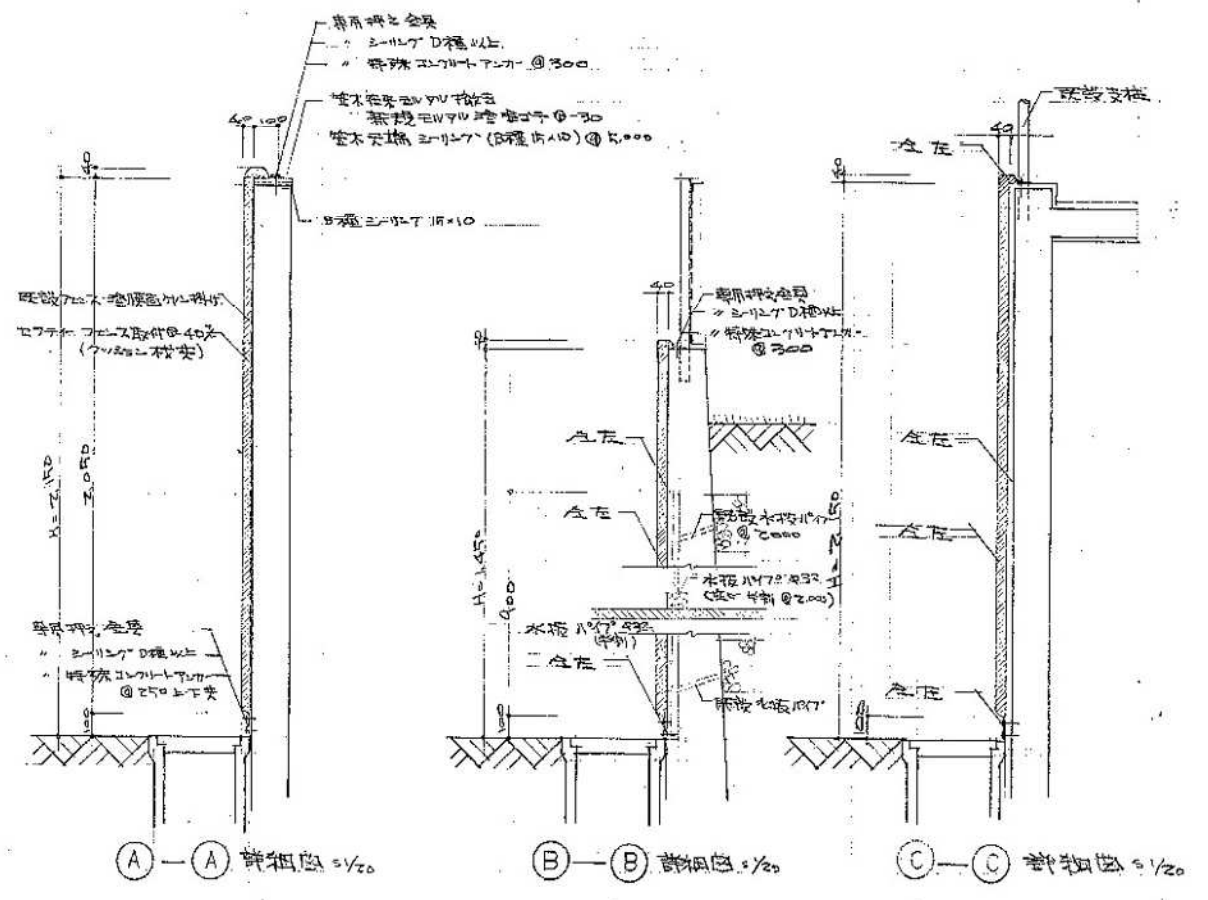
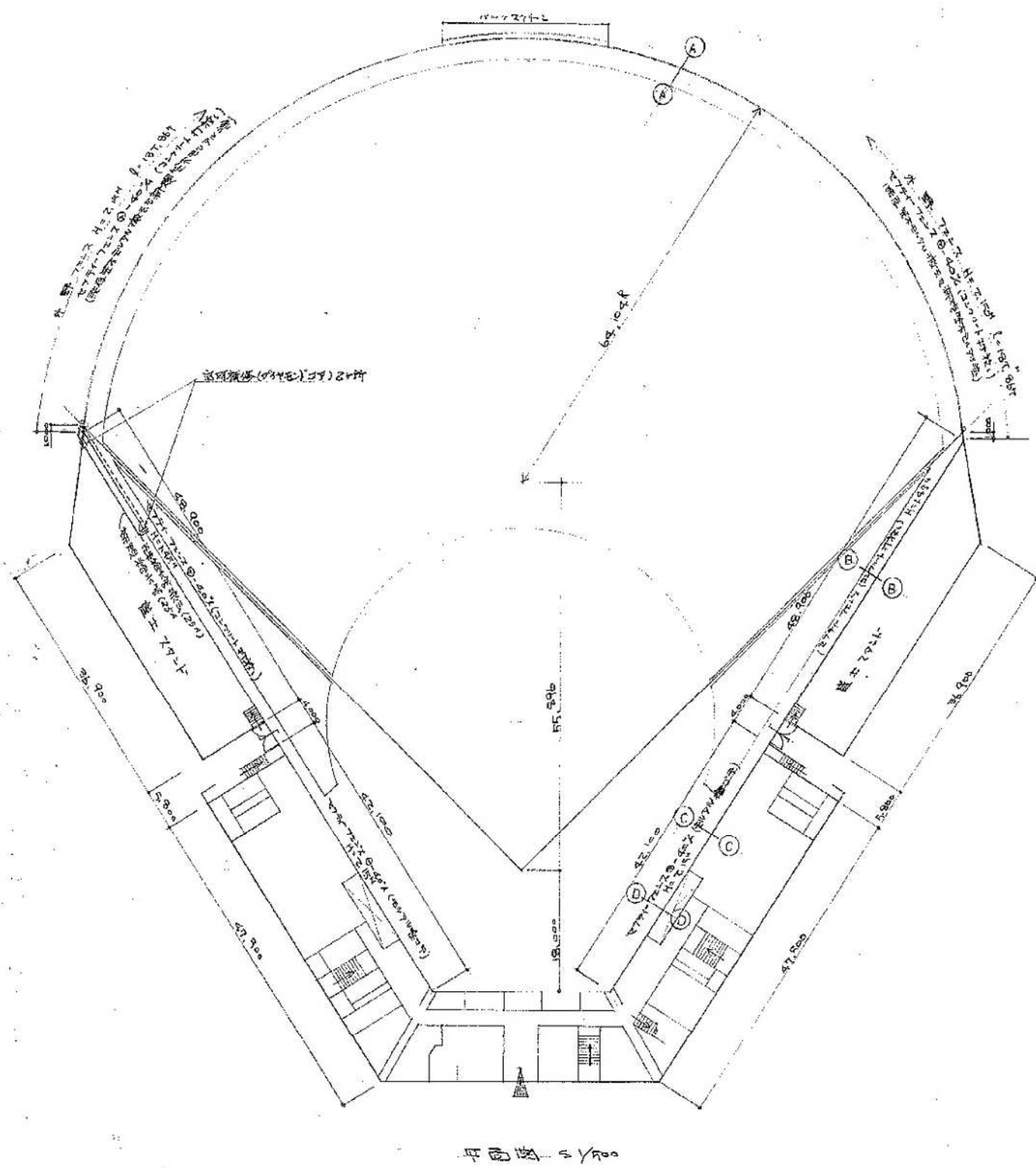


㉔ 木製支柱防球ネット 参考図



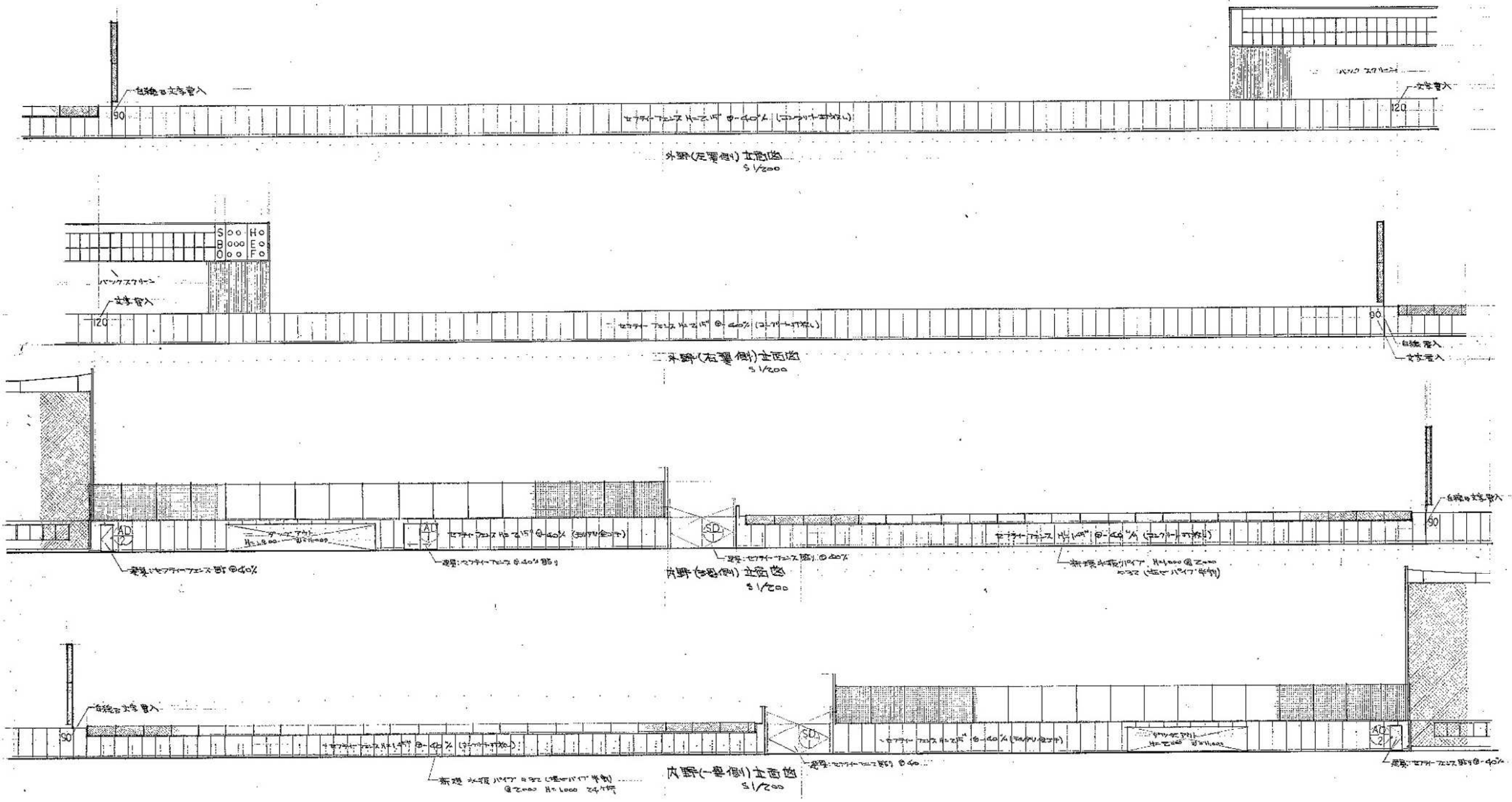
S55 防球ネット設置工事図面転用

※既存図に記載の無い杭や地盤改良等は想定していない



S61 セフティーフェンス取付工事図面転用

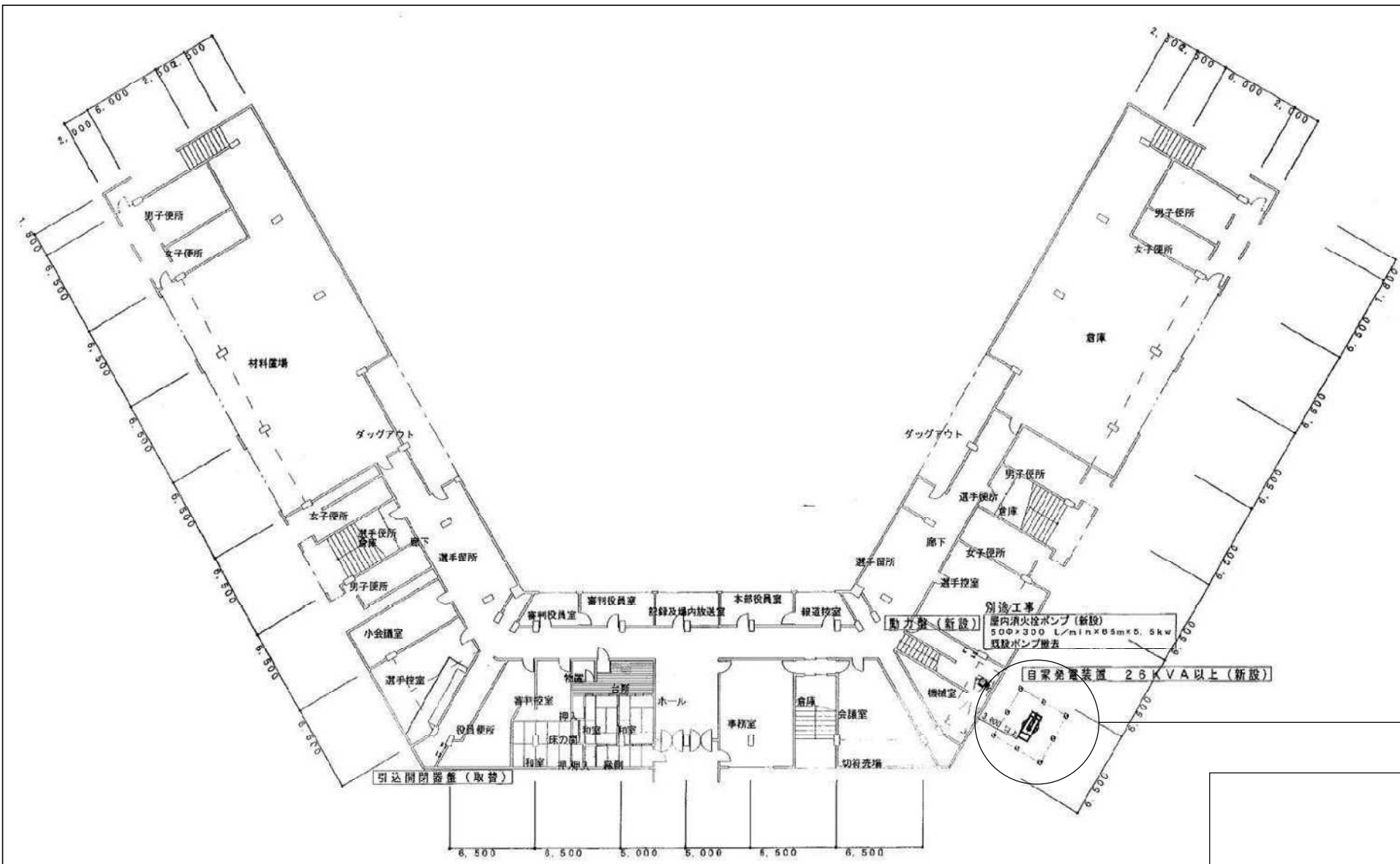
工事名	小針野球場解体工事
図名	セフティーフェンス取付工事図面転用
年月日	2020.10
縮尺	A3 1/800.30 A1 1/400.15
図面番号	A-38



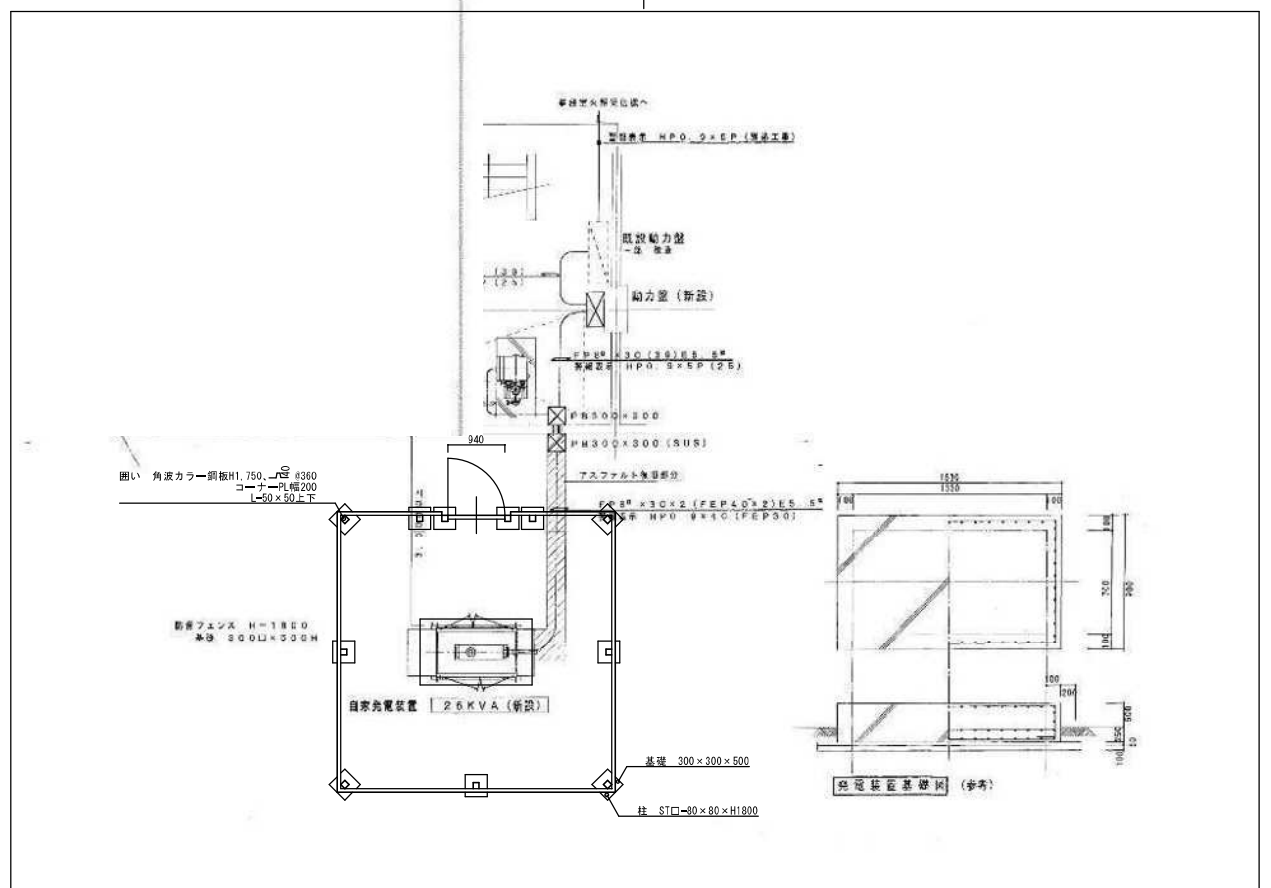
※SD-1、AD-1-2は建具表-3を参照

S61 セフティーフェンス取付工事図面転用

図名		小針野球場解体工事		図名		セフティーフェンス取付工事図面転用	
年月日		2020.10		図面番号		A-39	
縮尺		A3 1/300 A1 1/150		図面番号		A-39	

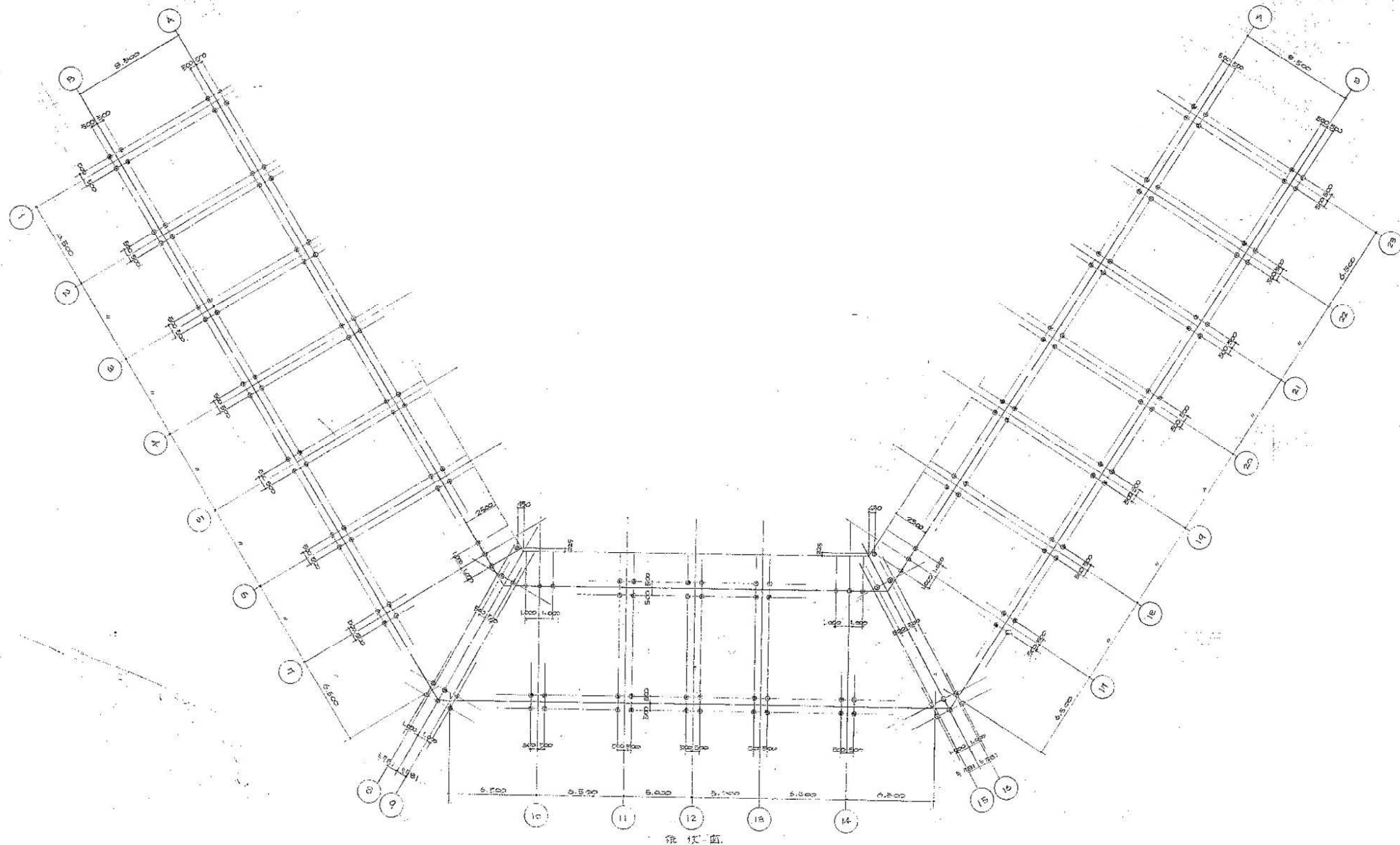


平面図 S=1:200



H 1 7 自家発電設備図面転用

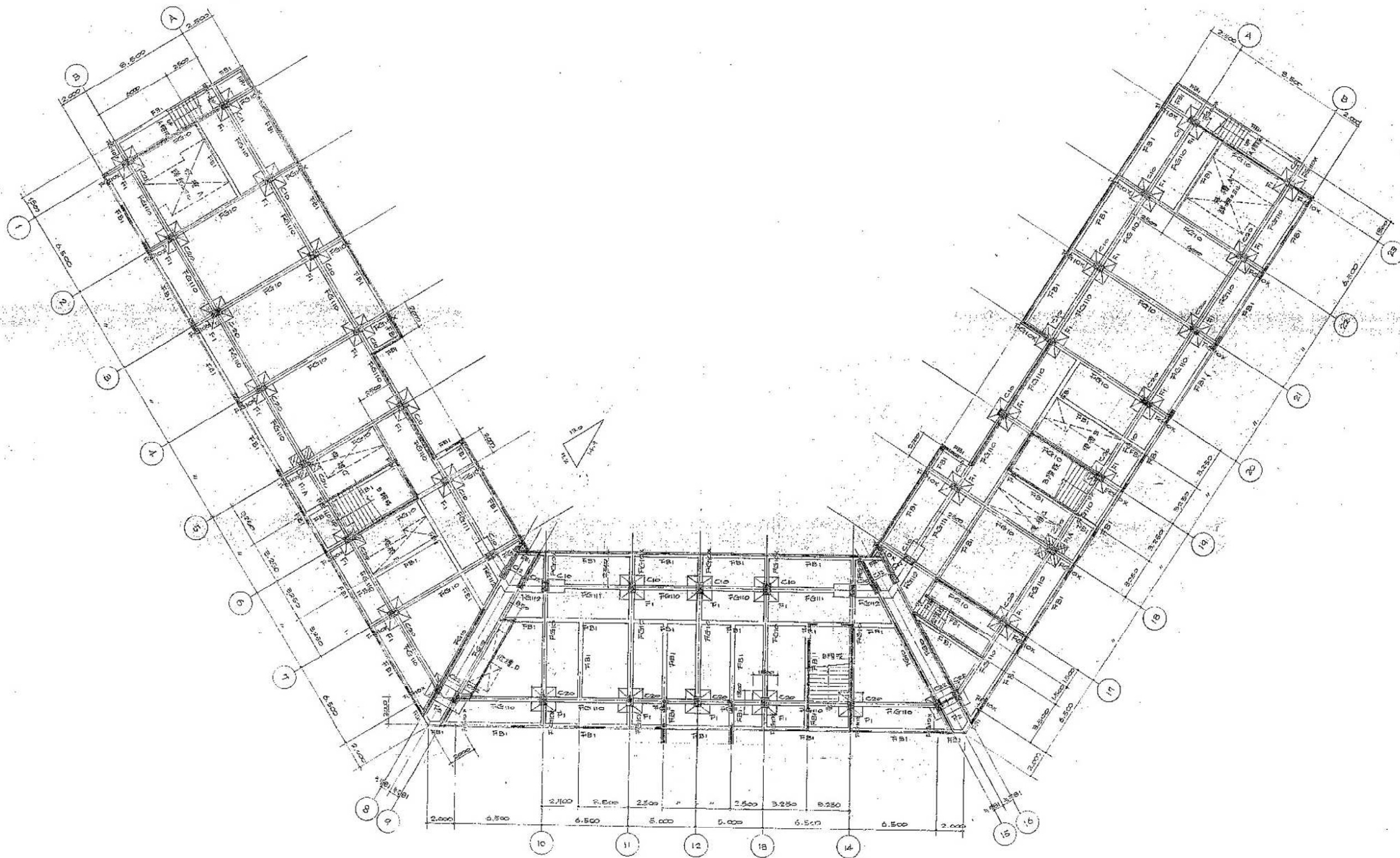
工事名 小針野球場解体工事		図名 非常用発電機基礎・7/27詳細図	
年月日 2020.10	図面番号 A3 1/400, 100, 50 A1 1/200, 50, 25	図面番号 A-40	



※解体工事費の積算には図面上の杭を全て含んでいます

S44 既存図転用

工事名		小針野球場解体工事		図名		桁状図	
年月日		2020.10		縮尺		A3 1/300 A1 1/150	
図面番号		C-01		図面番号		C-01	

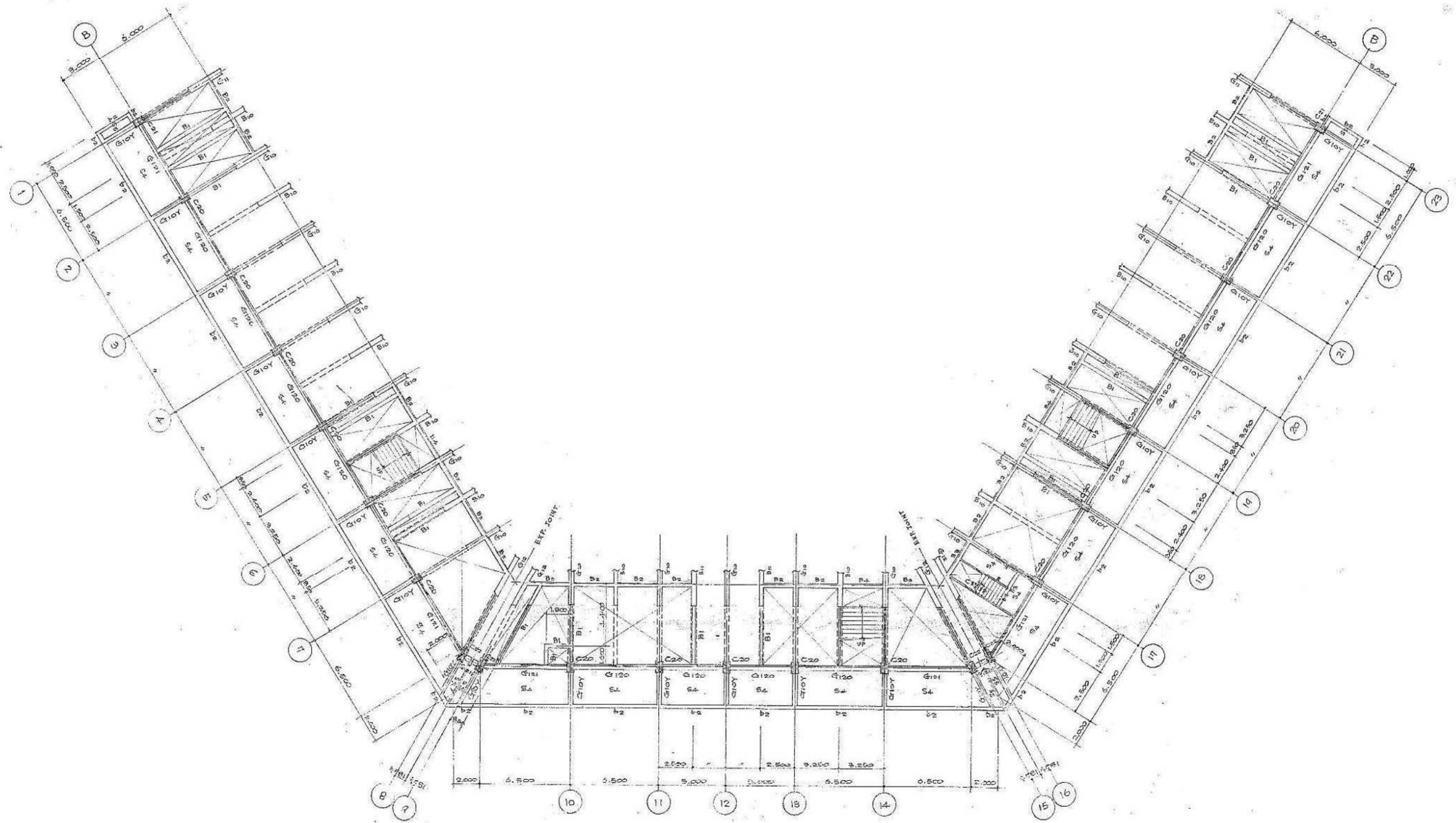


基礎伏図

註記、特記点等は全図を参照

S44 既存図転用

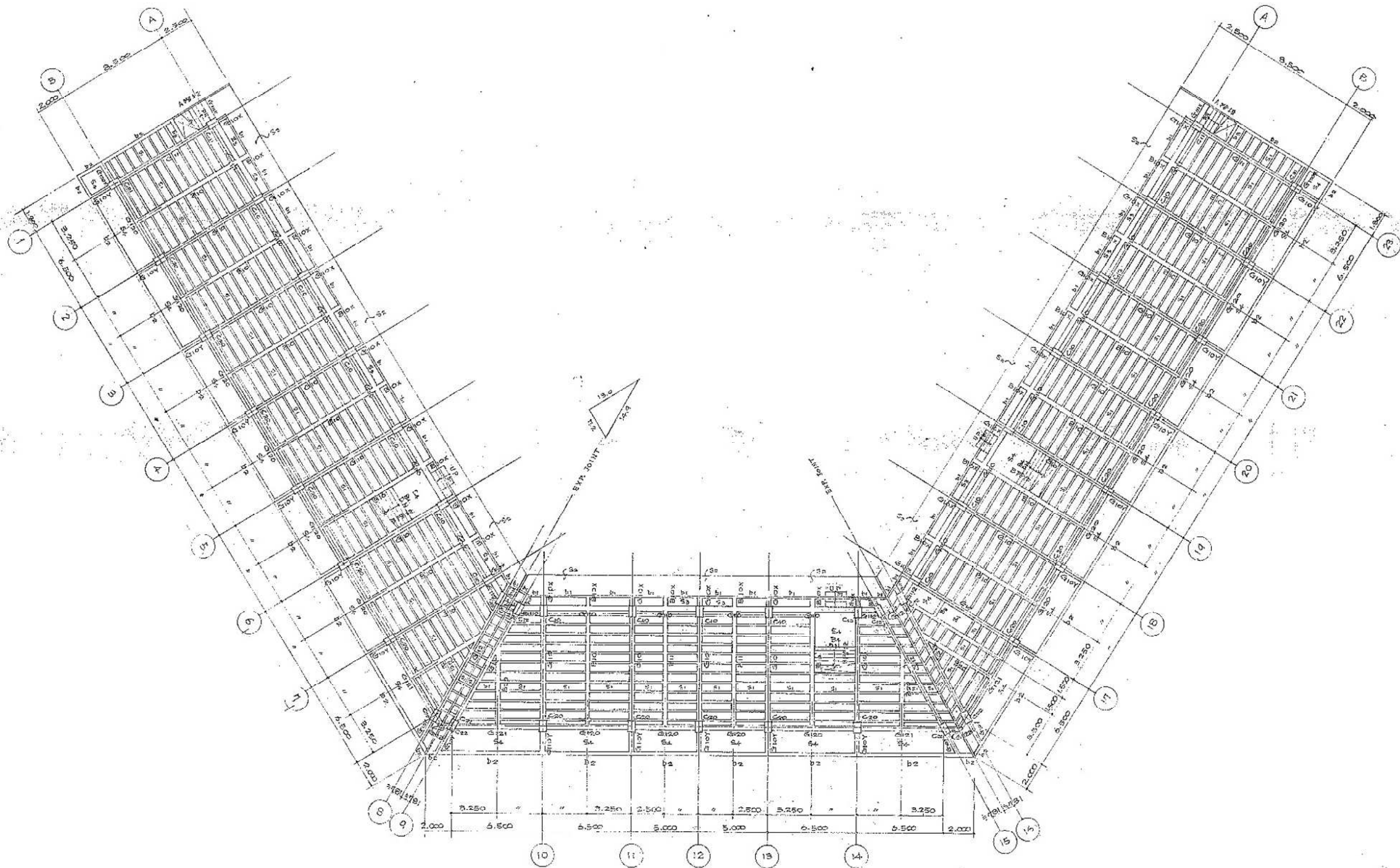
		工事名 小針野球場解体工事		図名 基礎伏図	
		年月日 2020.10	縮尺 A3 1/300 A1 1/150	図面番号	C-02



M2階伏図 1/200 (注) 壁ハ全ク省略ナリ

S44 既存図転用

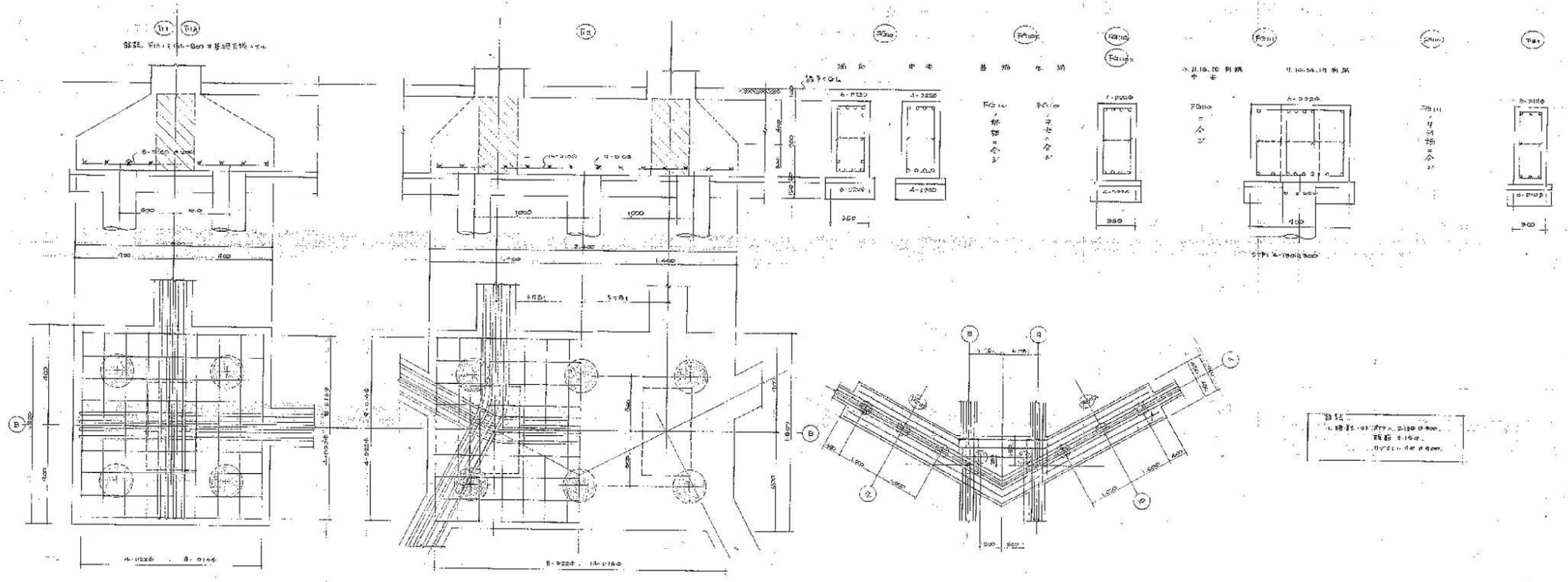
工事名		小針野球場解体工事	
図名		M2階伏図	
年月日	縮尺	図面番号	
2020.10	A3 1/300 A1 1/150		C-03



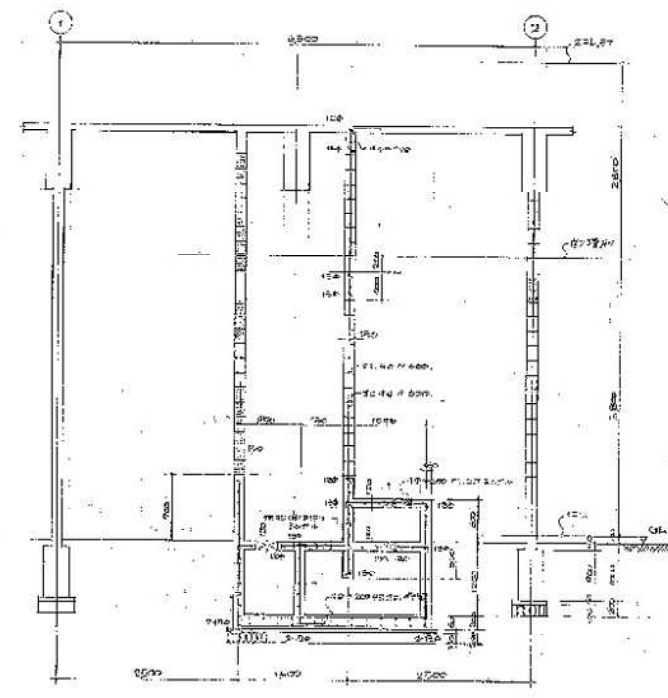
2階伏図 1/200

S44 既存図転用

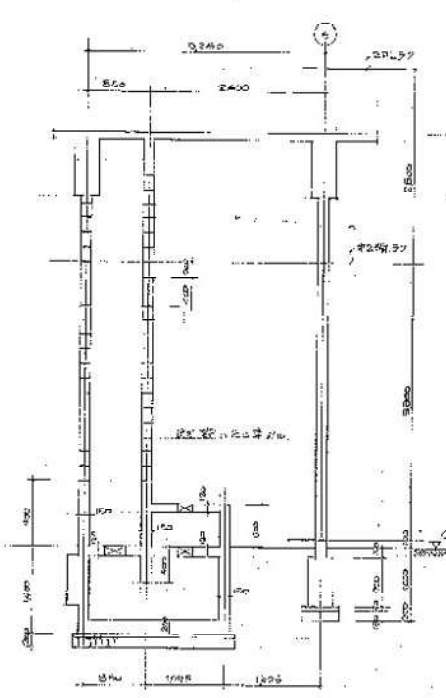
工事名 小針野球場解体工事		図名 2階伏図	
年月日 2020.10	縮尺 A3 1/300 A1 1/150	図面番号 C-04	図面番号 C-04



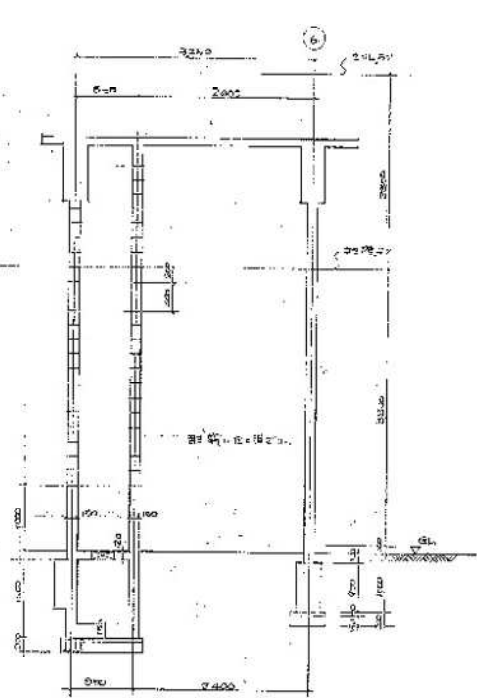
註記
 1. 構造上必要な部材は
 破断線で示す。
 2. 破断線の破断部は
 破断部を示す。



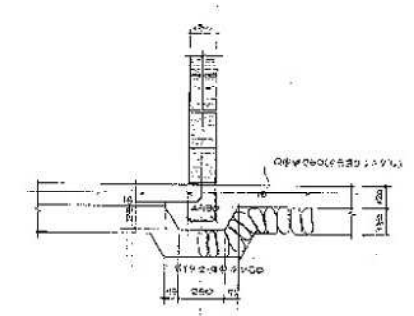
構造A部詳細図



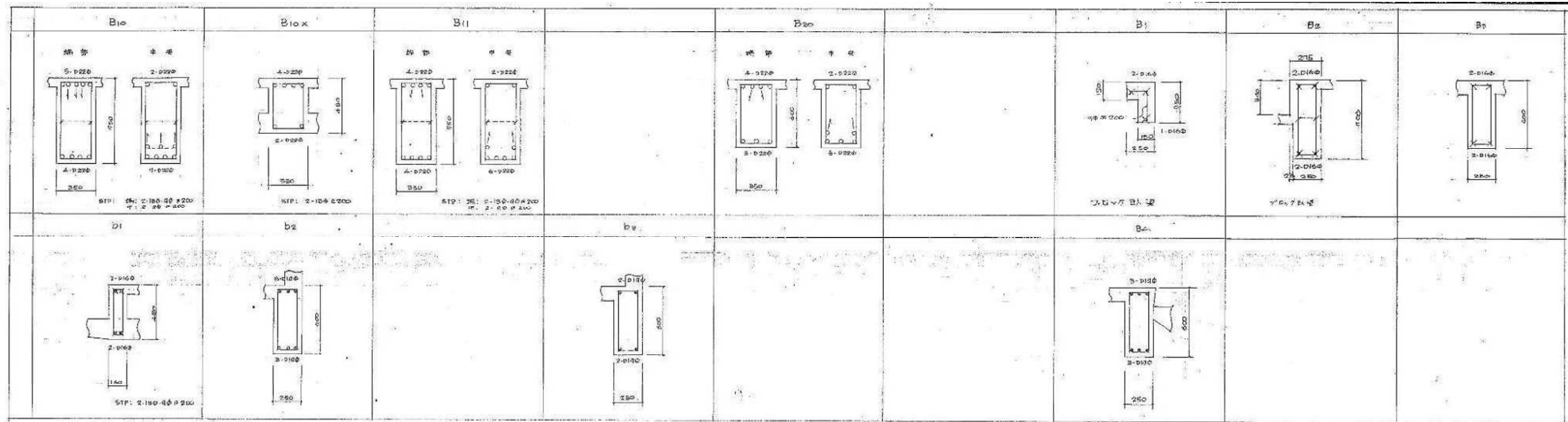
構造B部詳細図(2階部)
破断部は破断線にて示す



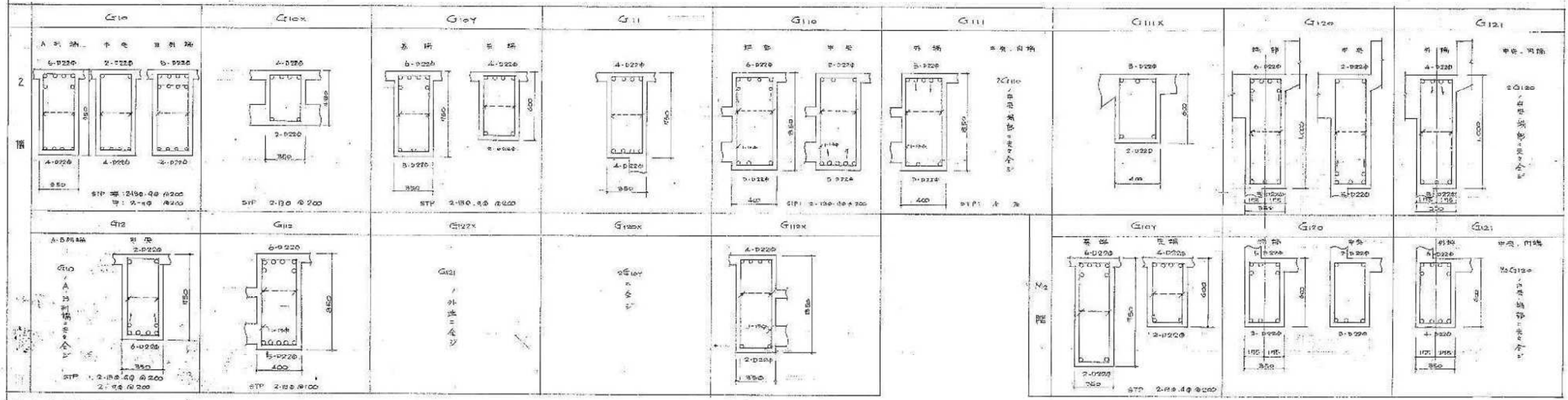
構造C部詳細図(1階部)



工部A部(1階部)部詳細図

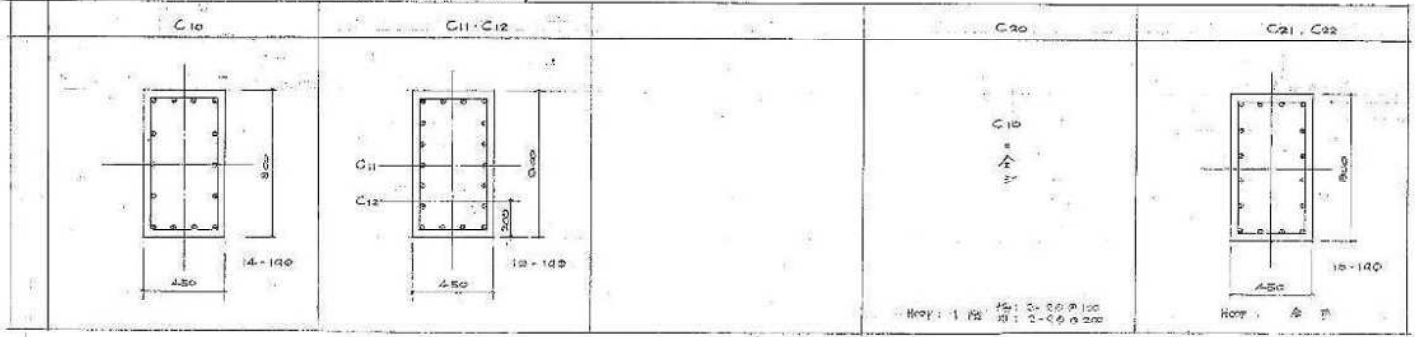


小梁断面表
 (柱): 断面 1: STP: 2-20 @ 200 断面 2: 100 断面 3: 100 @ 600x100

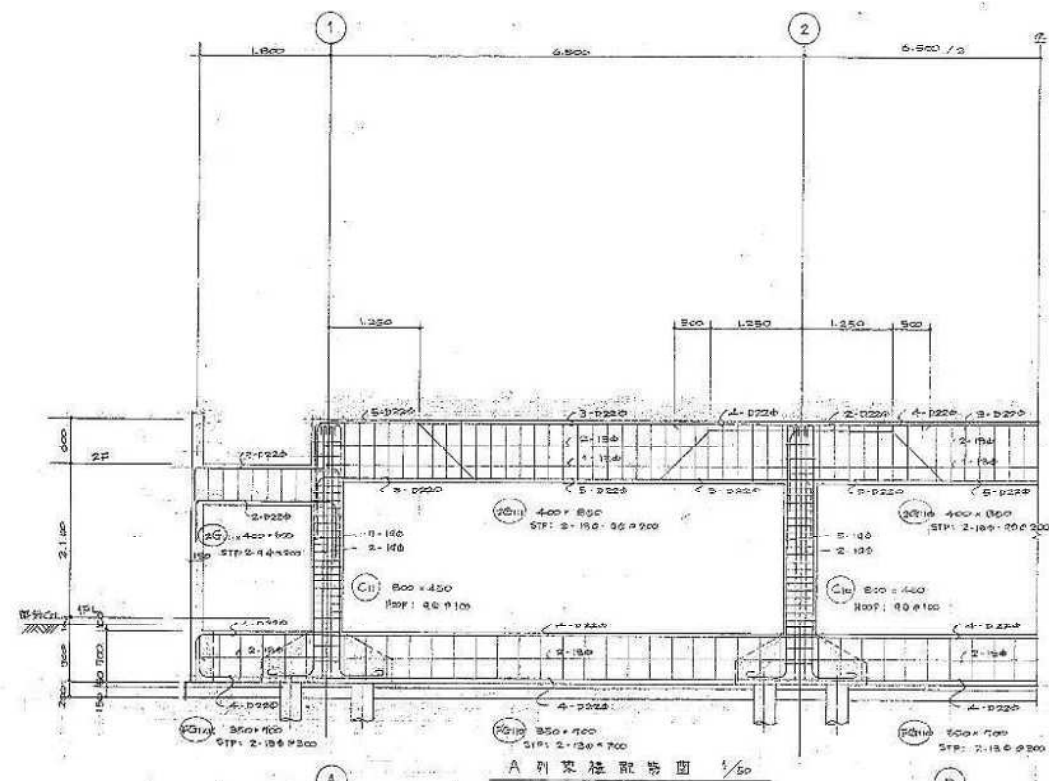


大梁断面表
 (柱): 断面 1: STP: 2-20 @ 200 断面 2: 100 @ 100 断面 3: 100 @ 600x100

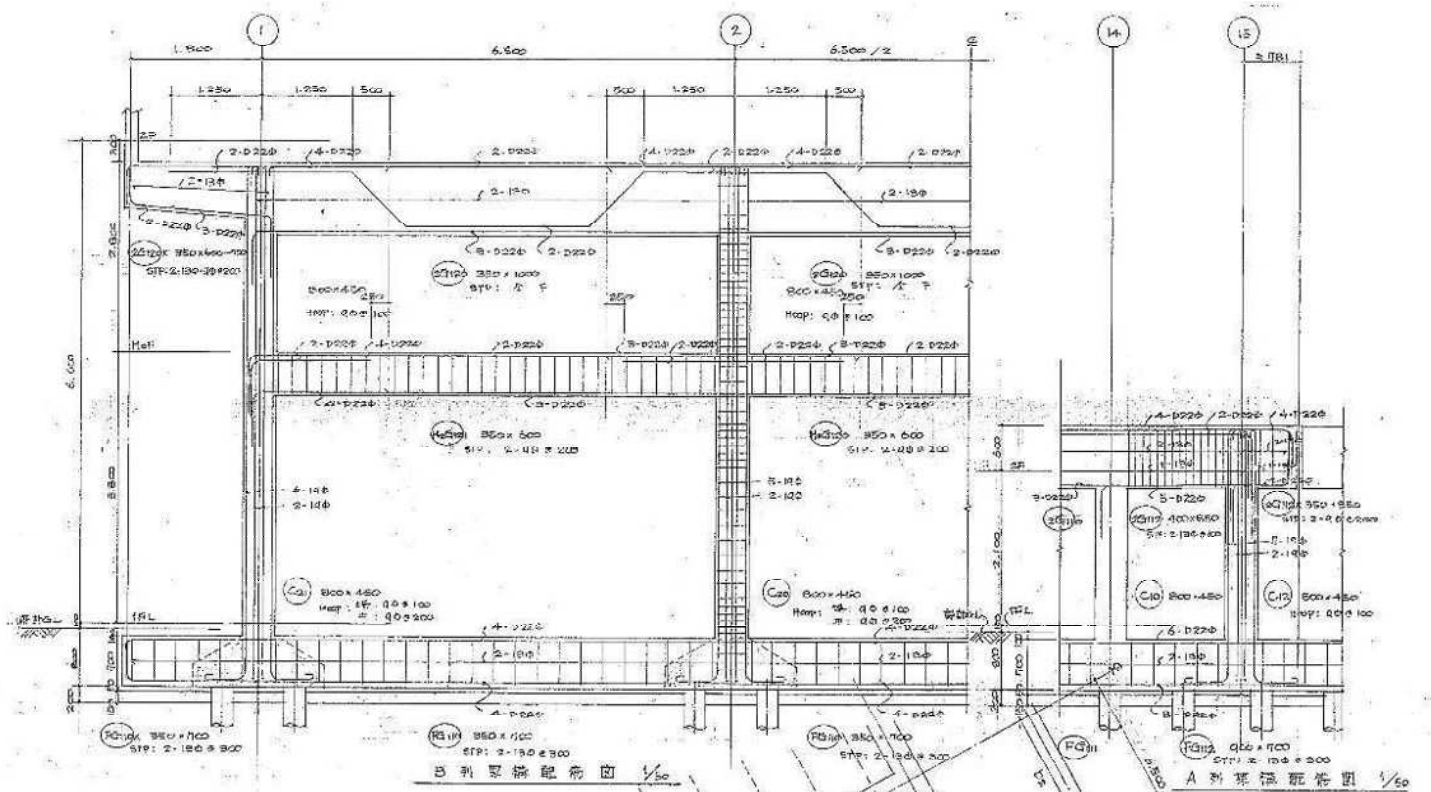
柱断面表
 (柱): 断面 1: STP: 2-20 @ 100



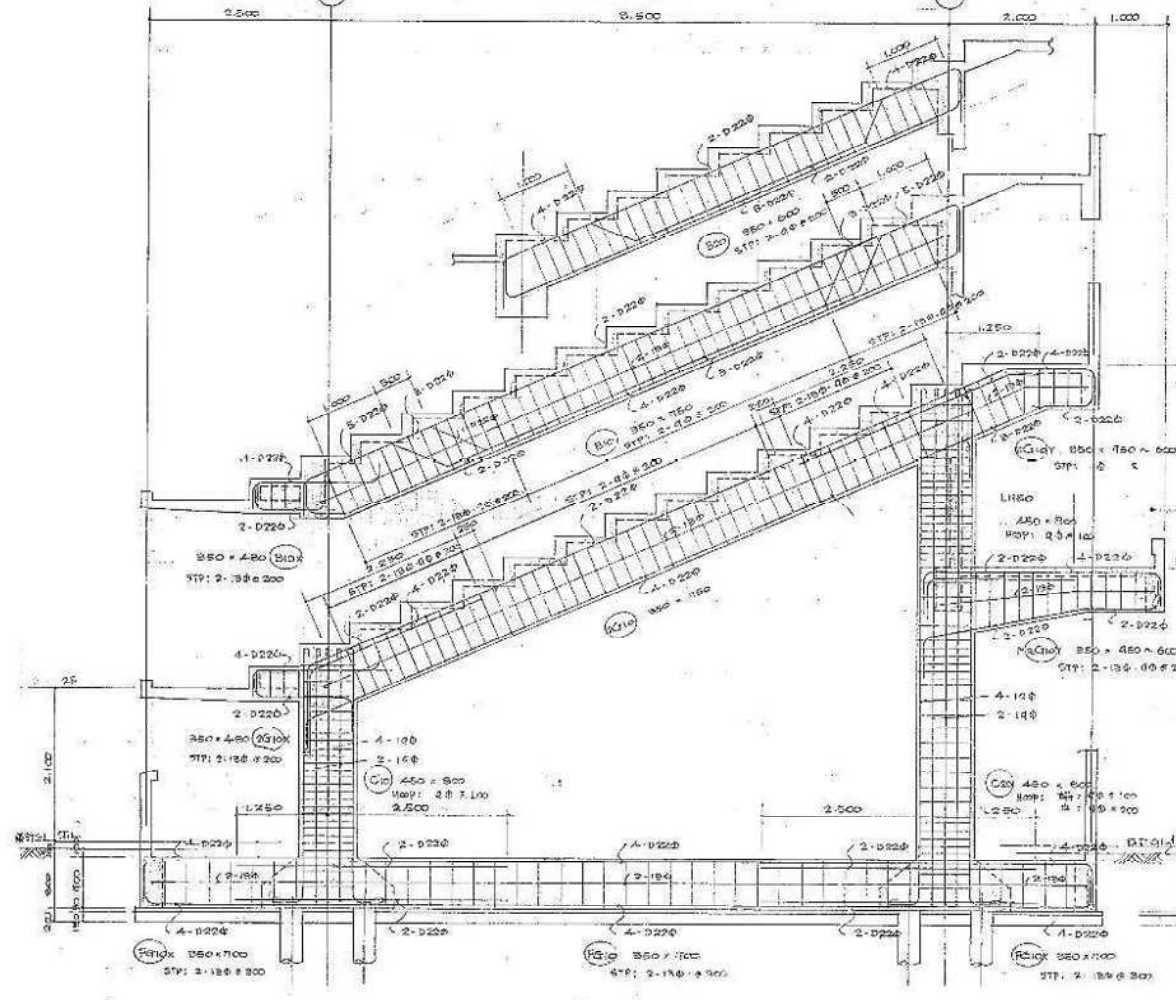
S44 既存図転用



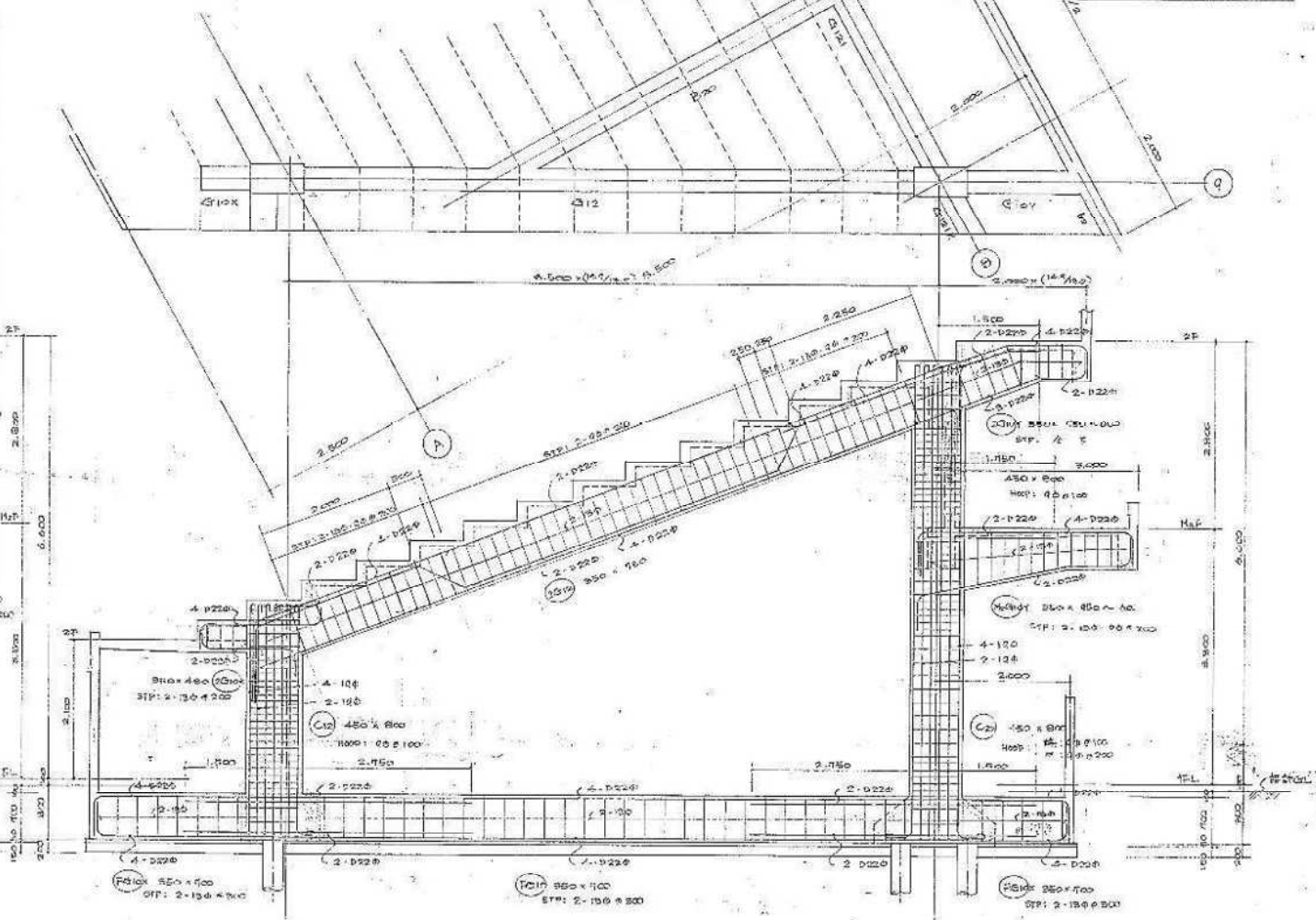
A 別室梁筋配筋図 1/50



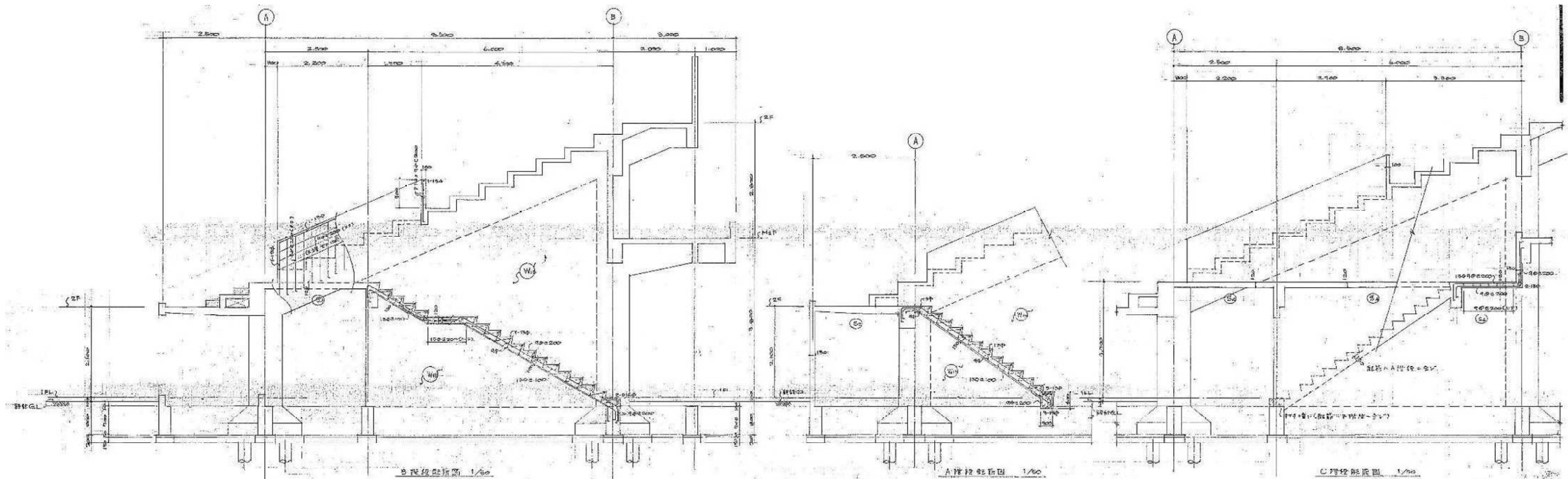
B 別室梁筋配筋図 1/50



C 別室梁筋配筋図 1/50



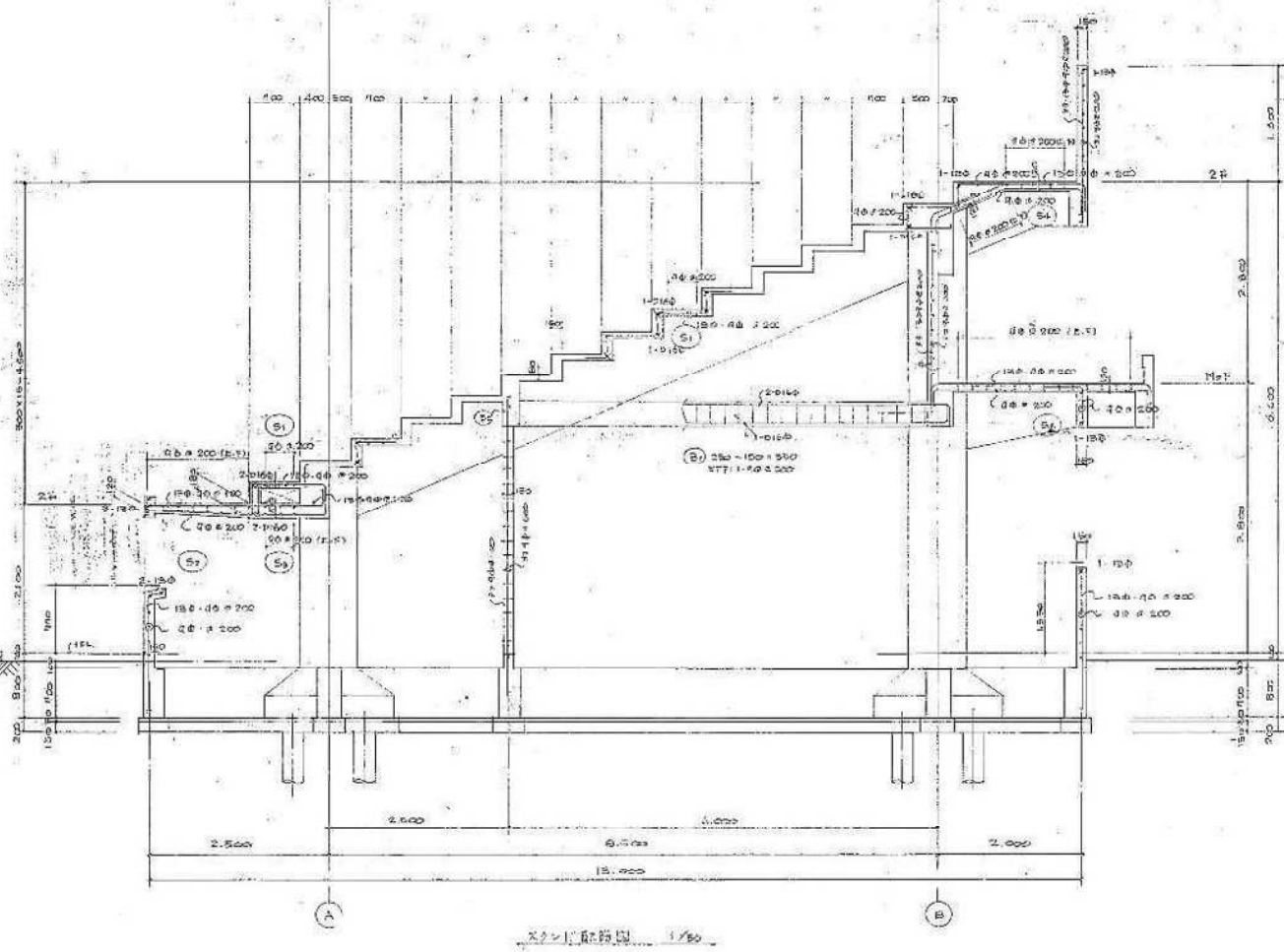
D 別室梁筋配筋図 1/50



B階階段断面 1/50

A階階段断面 1/50

C階階段断面 1/50



スラブ断面図 1/50

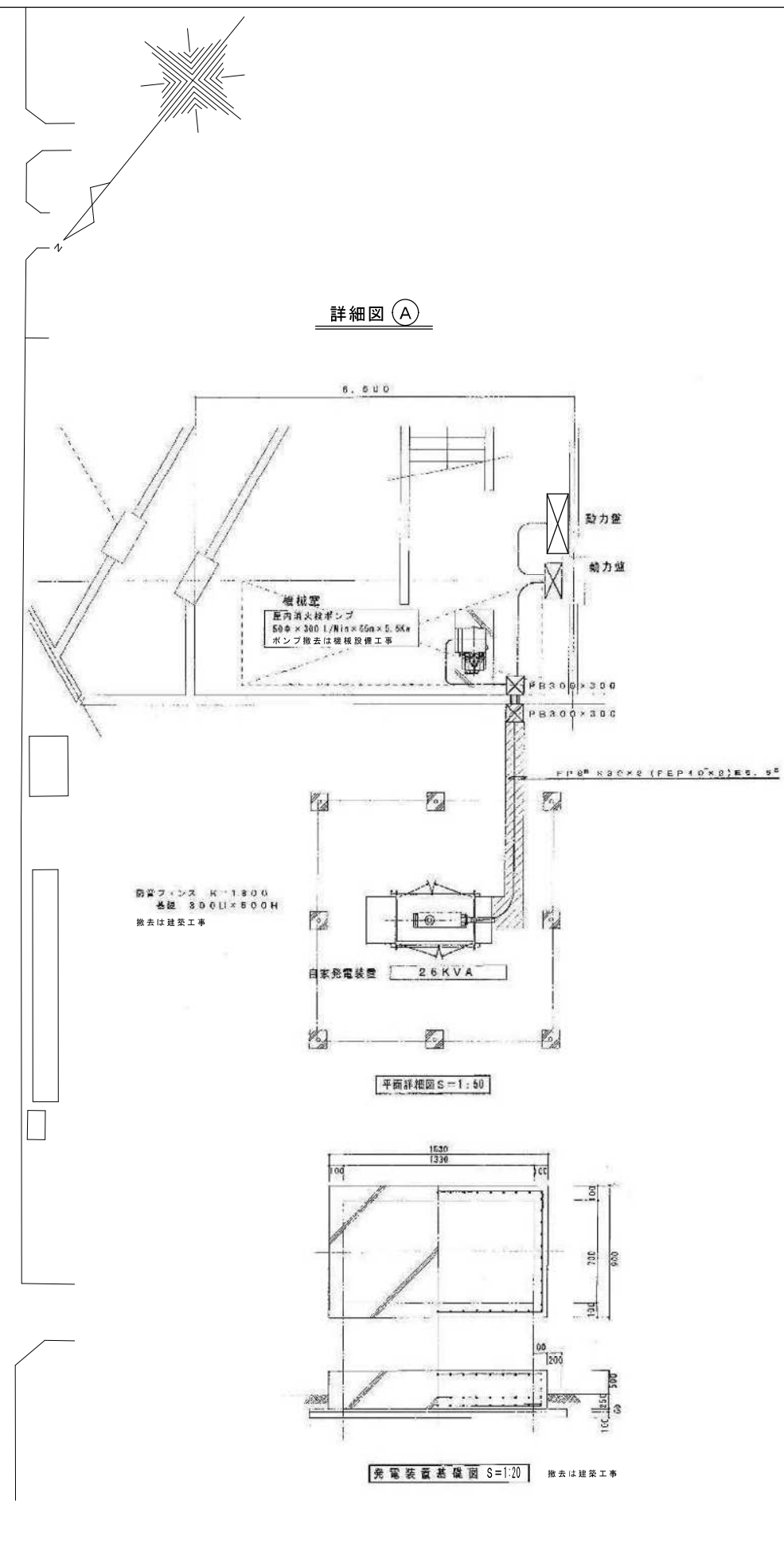
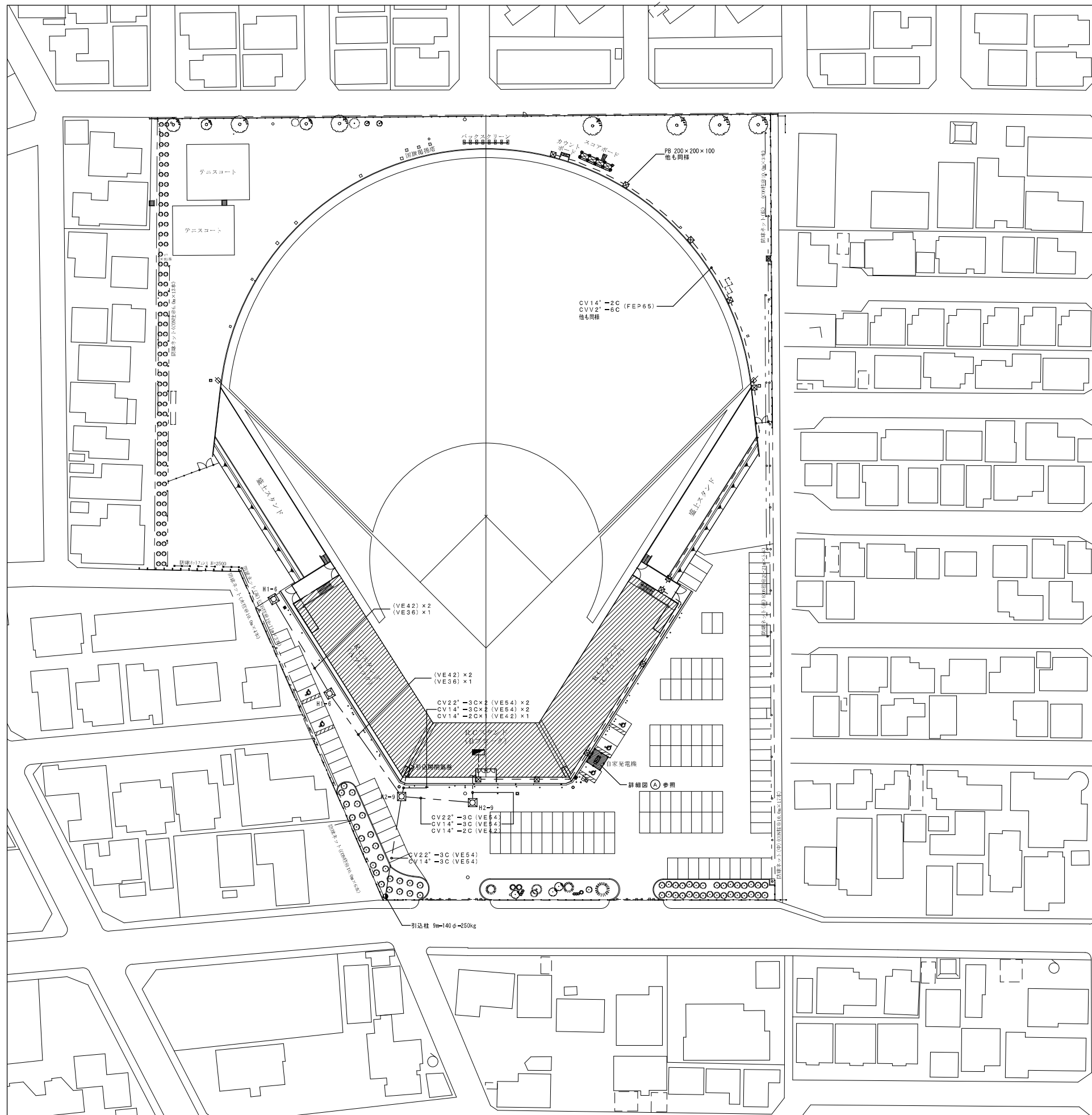
床版配筋表

符号	階層	位置	短辺方向		長辺方向		備考
			端部	中央部	端部	中央部	
S1	30		15φ	9φ @ 200		4φ @ 200	スタンド床
S2	4階180 5階120	上	13φ	9φ @ 100		4φ @ 200	標準 2-13φ
		下		4φ @ 200		4φ @ 200	
S3	180	上	13φ	9φ @ 100		4φ @ 200	
		下		4φ @ 200		4φ @ 200	
S4	120	上	13φ	9φ @ 200		4φ @ 200	
		下		4φ @ 200		4φ @ 200	
S5	120	上	13φ	9φ @ 100		4φ @ 200	5階 2-13φ
		下		4φ @ 200		4φ @ 200	

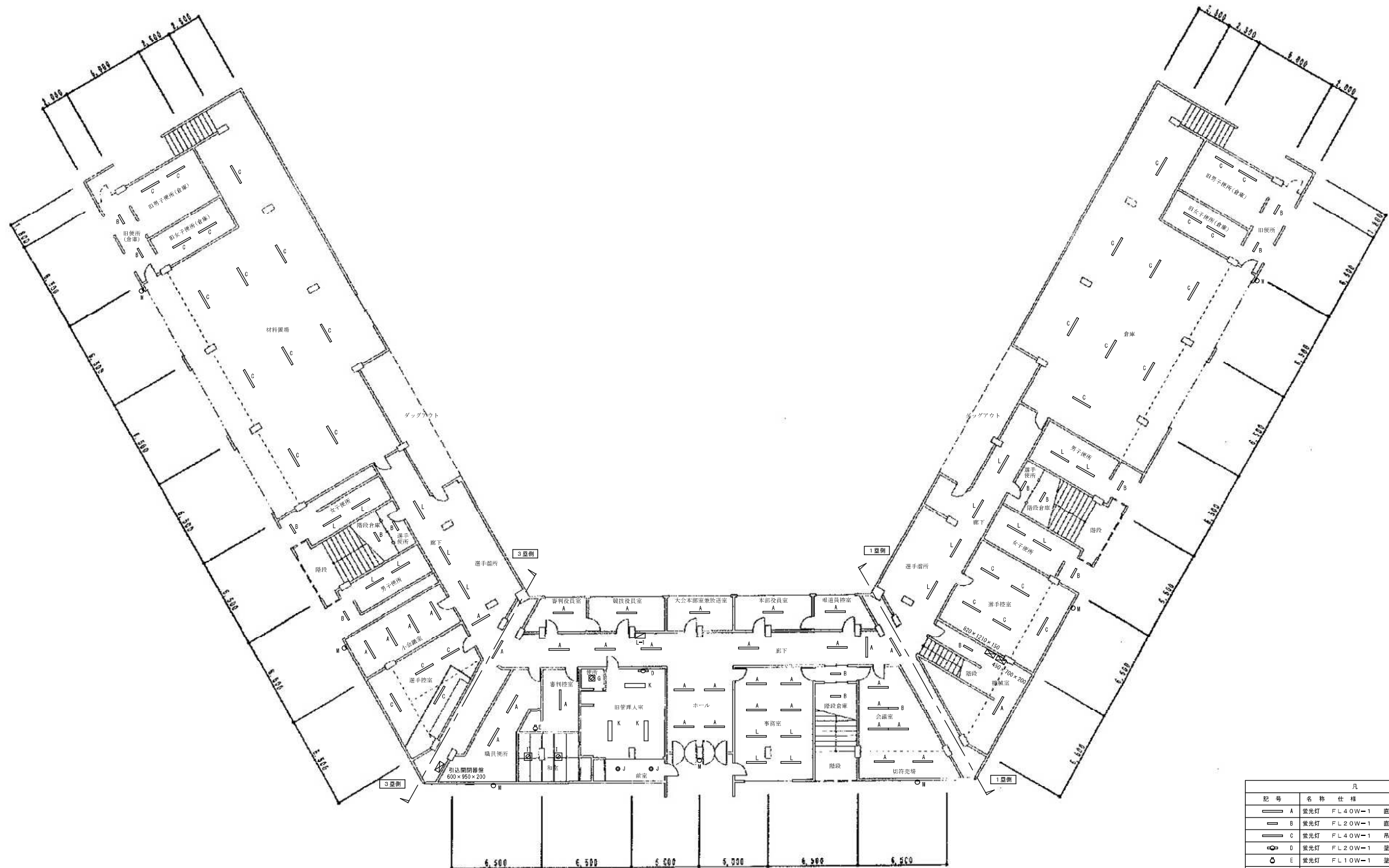
壁配筋表

符号	形	杯	端部及 開口部
W15			1-13φ
BW15			1-13φ

S44 既存図転用

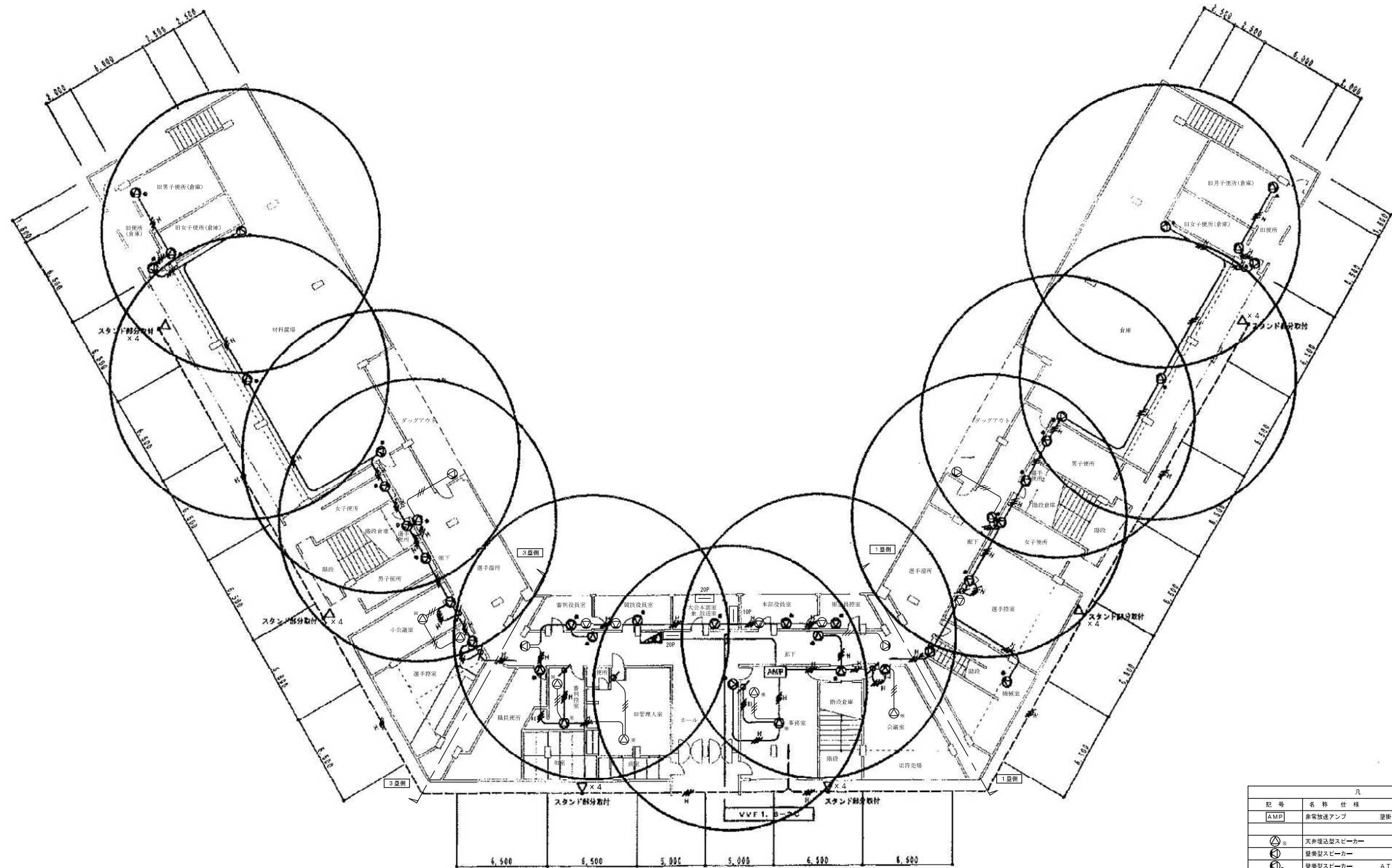


工事名	小針野球場解体工事	図名	全体配置図
年月日	2020.10	縮尺	A3 1/1000 A1 1/500
		図面番号	E-02



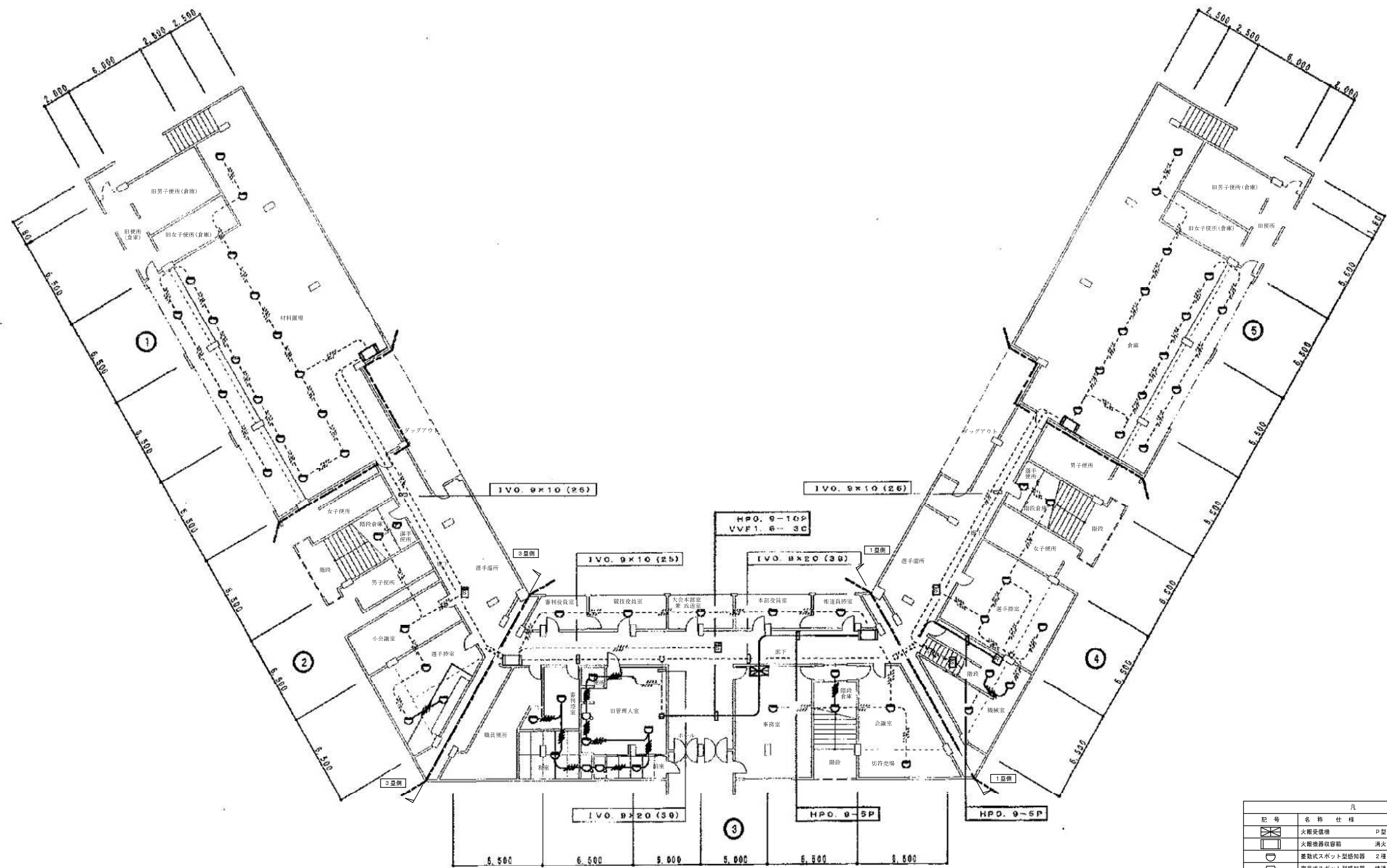
平面図 S=1/150

凡 例		
記号	名称 仕様	備考
A	蛍光灯 FL40W-1 直付	
B	蛍光灯 FL20W-1 直付	
C	蛍光灯 FL40W-1 吊下	
D	蛍光灯 FL20W-1 吊付	
E	蛍光灯 FL10W-1 吊付 カバー付 防水型	
G	蛍光灯 FCL20W-1 直付 カバー付 防水型	
I	蛍光灯 FCL30W-1 コードペンダント	
J	蛍光灯 1L60W-1 シーリングライト	
K	蛍光灯 FL40W-2 直付	
L	LED灯 FL40W-1相当 直付	
N	LED灯 1L100W 相当 投光器	



平面図 S=1/150

凡 例			
記号	名称	仕様	備考
[AMP]	非常放送アンプ	壁掛型	450×700×130
⊙	天井埋込型スピーカー		
⊗	壁掛型スピーカー		
⊕	壁掛型スピーカー	ATT付	
⊘	音響調節器		
◁	フィードバックスピーカー	屋外用	



平面図 S=1/150

凡 例		
記号	名称 仕様	備考
	火警受信機 P型1級 5回線	400×560×130
	火警機警収容箱 消火栓組込型	
	差動式スポット型感知器	2種
	定温式スポット型感知器	特種
	光電式スポット型感知器	2種
	消火栓起動用リレー	

衛生器具表 (撤去)

器具名称	記号・品番	仕様・付属品	合計	Aブロック					Bブロック					Cブロック					屋外	
				観客席入口	女子便所C	男子便所B	選手控室	ダグアウト	職員便所	旧管理入室	事務室	審判員控室	選手控室	女子便所C	男子便所B	ダグアウト	観客席入口	グラウンド内	その他	
洋風便器	C710+ロータンク	隔付浴露型タンク、止水栓付風呂一式、紙巻器	4		1	1														
洋風便器	C1200R+ロータンク	防漏型タンク、止水栓付風呂一式、洗浄便座、紙巻器	1							1										
和風便器	C311R+ロータンク	隔付浴露型タンク、止水栓付風呂一式、紙巻器	9		3	1				1										
5人立ストール小便器	U321R+ハイタンク	ストール小便器×5台、自動ハイタンクバルブ、防漏型ハイタンク他付属品一式	2			1														
ストール小便器	U321R+FV	押しボタン式FV	2							2										
そで付洗面器	L620	立水栓、止水栓、水石入れ、排水金物他付属品一式	10		2	2				1	1					2	2			
洗面器	L230D	立水栓、止水栓、化粧棚、排水金物他付属品一式	1																	
化粧鏡		455×600×5t、止め金具	10		2	2				1						2	2			
回転型胴長横水栓	13-F6		18	2			5	2							5		2	2		
泡沫自在水栓	13-F5		2							1	1									
シャワー金具	TB18RX		2			1									1					
散水栓	T-27-20	水栓BOX共	3																3	
散水栓	T-28-25	水栓BOX共	1																1	
冷水器		白立型、500×300×1200h	2					1								1				

機器表 (撤去)

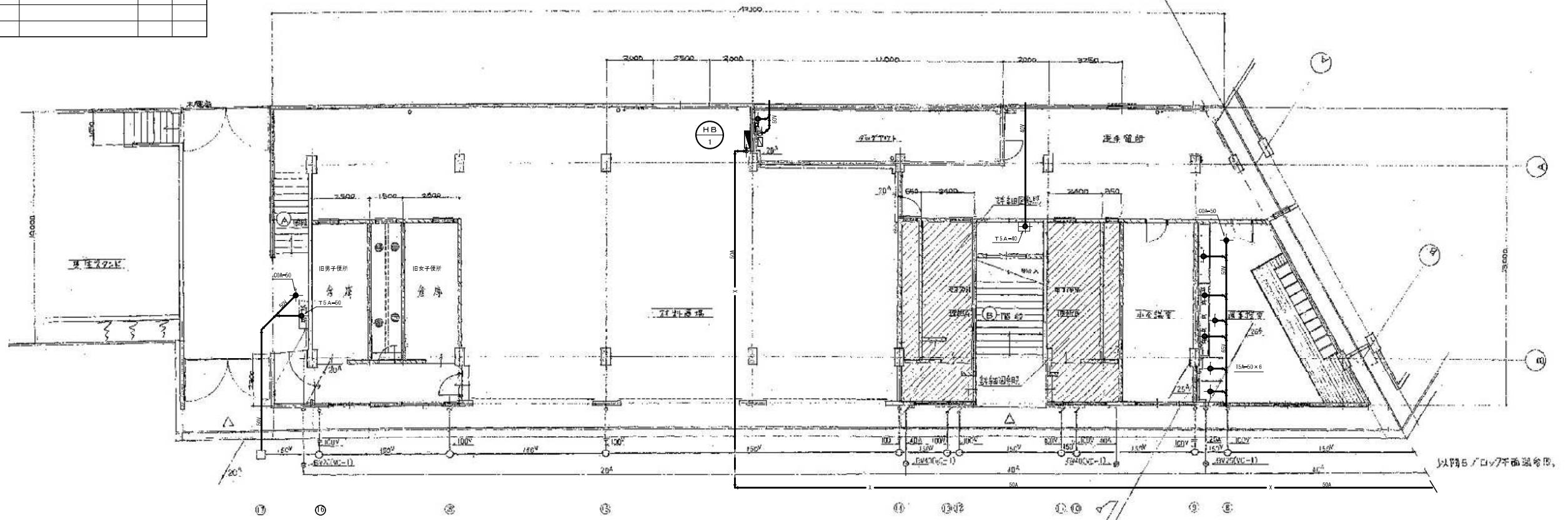
記号	機器名称	設置場所	台数	仕様・付属品	備考
FP-1	屋内消火栓ポンプユニット	機械室	1	認定型消火栓ポンプユニット、50φ×300L/min×81m×5.5kW 呼水機、制御盤、試験装置他付属品一式	(参考重量) 本体重量=175kg
HB-1	屋内消火栓BOX	通路、倉庫、材料置場	4	組合型 750×1400×250、消火栓バルブ、ホース他付属品一式	本体重量=42kg
SP-1	散水ポンプ	機械室	1	渦巻型 40φ×100L/min×10m×0.4kW	本体重量=40kg
PA-1	パッケージエアコン	事務室	1	天井吊り型、ヒートポンプパッケージエアコン 冷房能力:16.0kW、暖房能力:11.2kW 消費電力:3φ200W-0.63kW	型番:ダイキンFHP1120(室内) 室外機重量=90kg JR:R22=3.0kg 室内機重量=40kg
RA-1	ルームエアコン	旧管理入室	1	壁掛型、ヒートポンプエアコン 冷房能力:8.9kW、暖房能力:9.5kW 消費電力:1φ200W-0.2kW	型番:ダイキンFR0PTXPK(室内) 室外機重量=50kg 家電リサイクル 室内機重量=17kg
FE-1	有圧換気扇	男女便所、職員便所	5	壁付型、450φ、塵外排気フード	
FE-2	壁付換気扇	選手便所	2	壁付型、250φ	
FE-3	天井換気扇	旧管理入室	1	天井埋込型、100φ	

樹リスト (撤去)

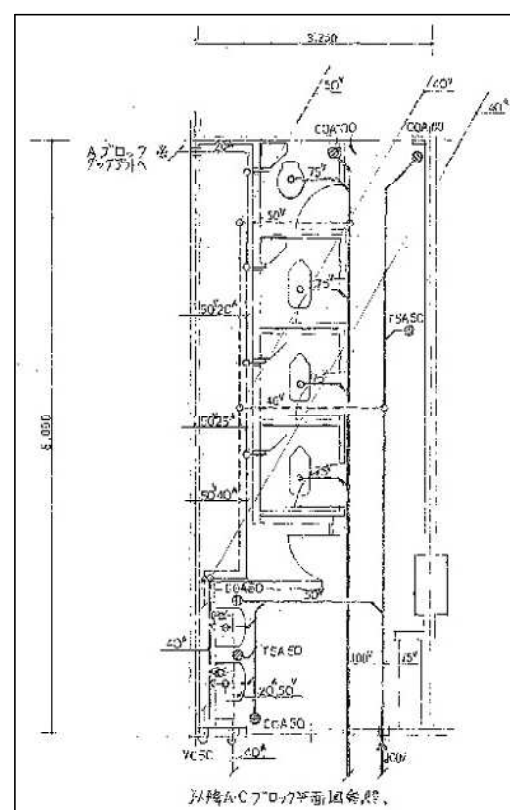
記号	名称	仕様	寸法・付属品	深さ (管深長さ)	備考
公設樹A	2φ11汚水樹	2φ11樹脂埋立人工	150×900φ-800φ MHA-600	1,700	(撤去)
①	2φ11汚水樹	2φ11樹脂埋立人工	150×900φ-800φ MHA-600	1,370	SC-4同等
②	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-90Y 防凍蓋	1,355	
③	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-UT 防凍蓋	1,295	
④	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-90Y 防凍蓋	1,205	
⑤	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-90Y 防凍蓋	1,195	
⑥	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-UT 防凍蓋	1,125	
⑦	汚水樹	2φ11鉄心PVC樹	150×500φ MHA-500	1,060	SB同等
⑧	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-90Y 防凍蓋	925	
⑨	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-UT 防凍蓋	910	
⑩	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-90Y 防凍蓋	835	
⑪	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-90Y 防凍蓋	830	
⑫	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-90Y 防凍蓋	770	
⑬	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-90Y 防凍蓋	760	
⑭	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-UT 防凍蓋	730	
⑮	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-UT 防凍蓋	550	
⑯	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-90Y 防凍蓋	450	
⑰	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-UT 防凍蓋	370	
⑱	雑木樹	既成2φ11樹	450×450 様子差	345	RA-1同等
⑲	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-90Y 防凍蓋	1,345	
⑳	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-90L 防凍蓋	1,240	
㉑	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-90L 防凍蓋	1,230	
㉒	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-UT 防凍蓋	1,085	
㉓	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-UT 防凍蓋	975	
㉔	汚水樹	2φ11鉄心PVC樹	150×500φ MHA-500	915	SB同等
㉕	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-UT 防凍蓋	880	
㉖	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-UT 防凍蓋	865	
㉗	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-90Y 防凍蓋	710	
㉘	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-UT 防凍蓋	690	
㉙	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-90Y 防凍蓋	655	
㉚	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-90Y 防凍蓋	650	
㉛	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-90Y 防凍蓋	590	
㉜	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-90Y 防凍蓋	585	
㉝	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-UT 防凍蓋	515	
㉞	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-UT 防凍蓋	350	
㉟	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-90Y 防凍蓋	335	
㊱	汚水樹	塩ビ製小口径樹	150×200-90L 防凍蓋	450	
㊲	汚水樹	塩ビ製小口径樹	100×150-90L 防凍蓋	450	
㊳	汚水樹	塩ビ製小口径樹	100×150-90L 防凍蓋	400	
㊴	雨水樹	既成2φ11樹	450×450 2φ11蓋	1,000	
㊵	雨水樹	既成2φ11樹	450×450 2φ11蓋	800	
㊶	雨水樹	既成2φ11樹	450×450 2φ11蓋	800	
㊷	雨水樹	既成2φ11樹	600×600 2φ11蓋	1,100	
㊸	雨水樹	既成2φ11樹	600×450 2φ11蓋	950	
㊹	雨水樹	既成2φ11樹	450×450 2φ11蓋	950	
㊺	雨水樹	既成2φ11樹	450×450 2φ11蓋	650	
㊻	雨水樹	既成2φ11樹	450×450 2φ11蓋	700	
㊼	雨水樹	既成2φ11樹	450×450 2φ11蓋	700	
㊽	雨水樹	既成2φ11樹	450×450 2φ11蓋	800	
㊾	雨水樹	既成2φ11樹	600×600 2φ11蓋	1,000	
公設樹B	2φ11汚水樹	2φ11樹脂埋立人工	150×900φ-800φ MHA-600	1,850	(撤去)
公設樹C	2φ11汚水樹	2φ11樹脂埋立人工	150×900φ-800φ MHA-600	1,820	(撤去)

アスベスト含有保温材（撤去）レベル2

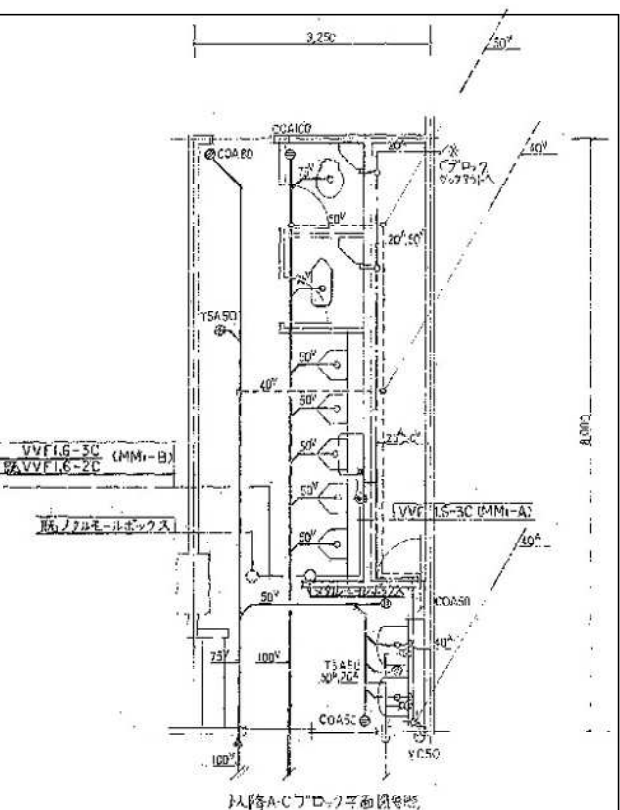
場所	含有部分	配管径	箇所数
材料置場	屋内消火栓箱廻り配管エルボ	50A	1



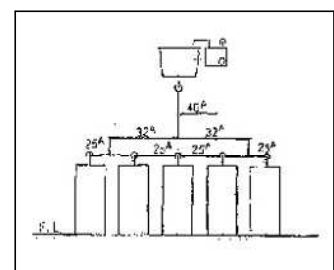
Aブロック平面図 1/100



A・Cブロック女子便所詳細図 1/50



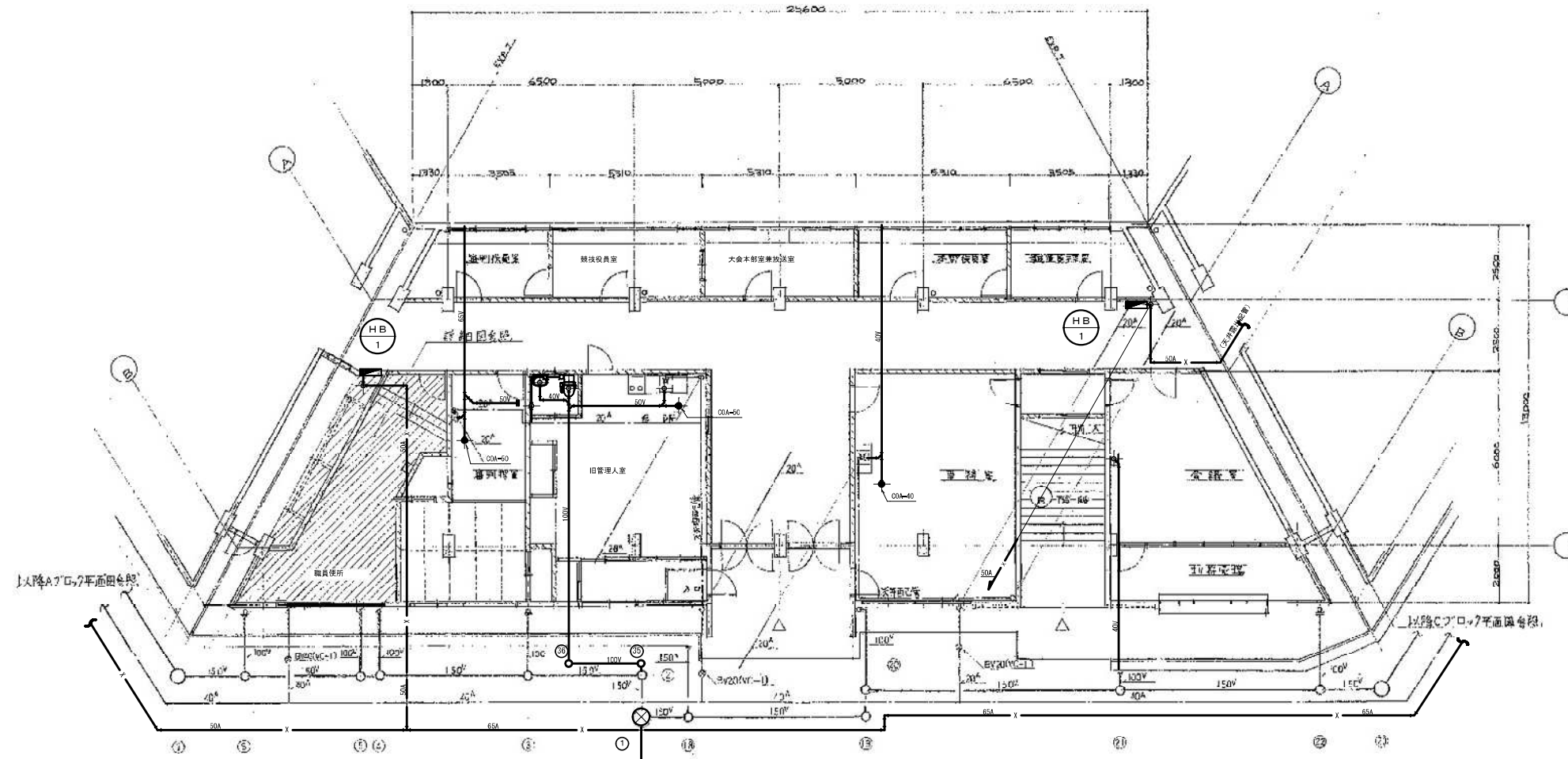
A・Cブロック男子便所詳細図 1/50



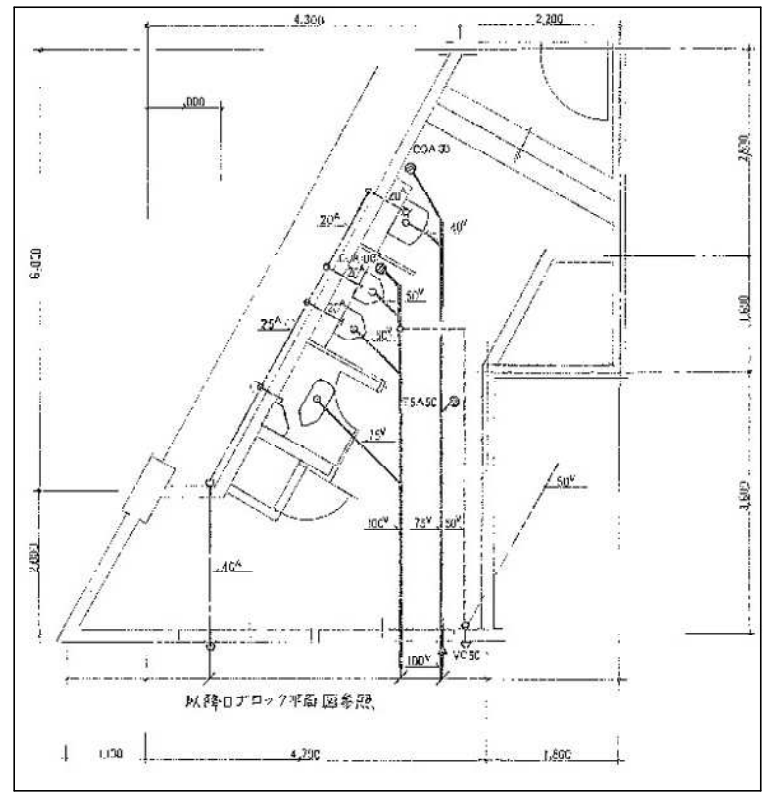
小便器廻り詳細図 1/50

配管仕様

- 配管工事
 - 給水管 埋設 内外面ポリウレタンライニング鋼管 (SGP-PO)
 - 露出 ポリウレタンライニング鋼管 (SGP-PO)
 - 消火栓管 全て 配管用炭素鋼鋼管 (白)
 - 排水管 全て 硬質塩化ビニル管 (50以下VPC[®]200)
 - 配気管 全て (V2)
- 保温工事 (給水管)
 - 屋外露出 ポリスチレンフォーム+ステンレス板 (既設保温)
 - インサイ クラスワール + ジュルミスタクロス
 - 露出 ウレタン (カーモガード)
- 支保金物
 - 屋外露出及び床下配管の支保金物はステンレス製とする。
- その他
 - 埋設された給水管配管の埋設深度は土壌がSL-450以下。
 - 給排水器具と排水配管の接続は、専用フタカバー及び埋込シロイ付仕様とする。



Bブロック平面図 1/100



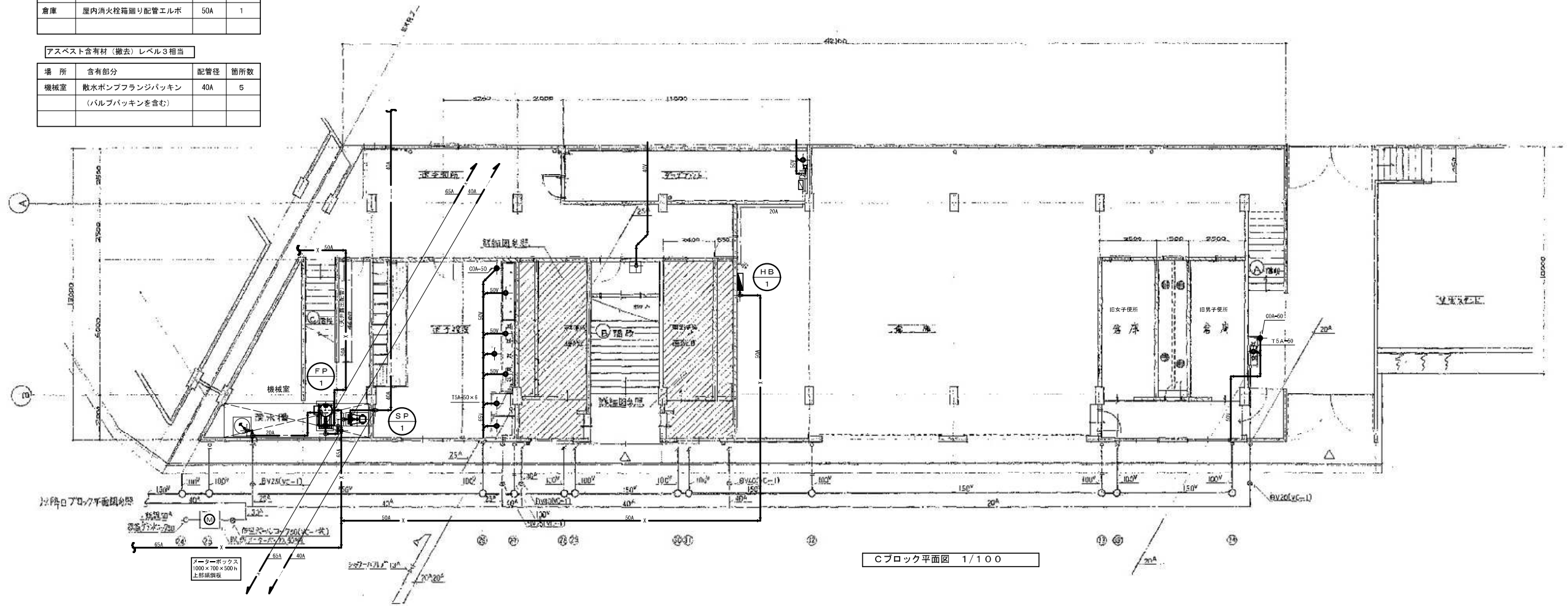
職員便所詳細図 1/50

アスベスト含有保温材（撤去）レベル2

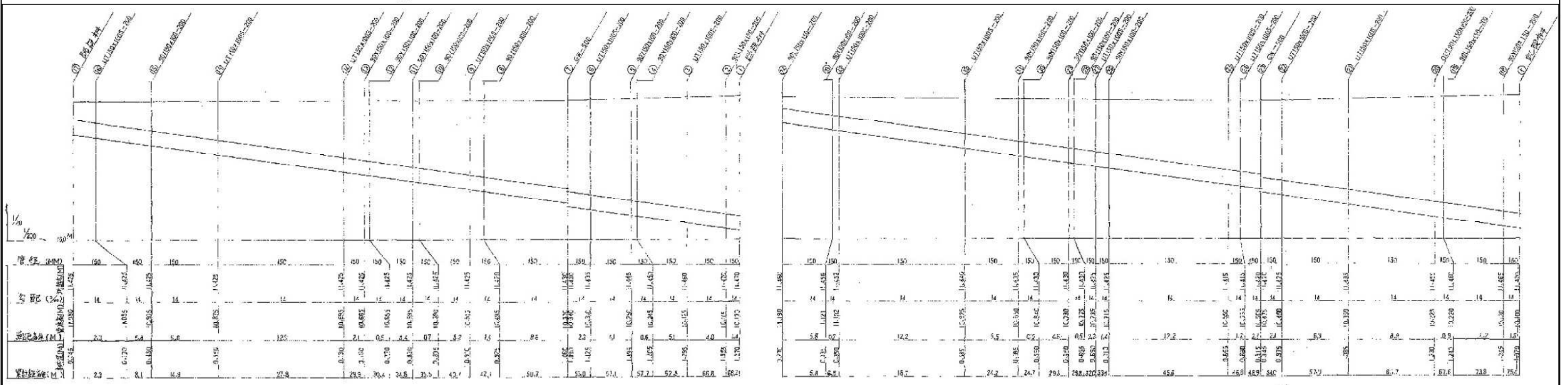
場所	含有部分	配管径	箇所数
機械室	散水ポンプ廻り配管エルボ	40A	4
倉庫	屋内消火栓廻り配管エルボ	50A	1

アスベスト含有材（撤去）レベル3相当

場所	含有部分	配管径	箇所数
機械室	散水ポンプフランジパッキン (バルブパッキンを含む)	40A	5

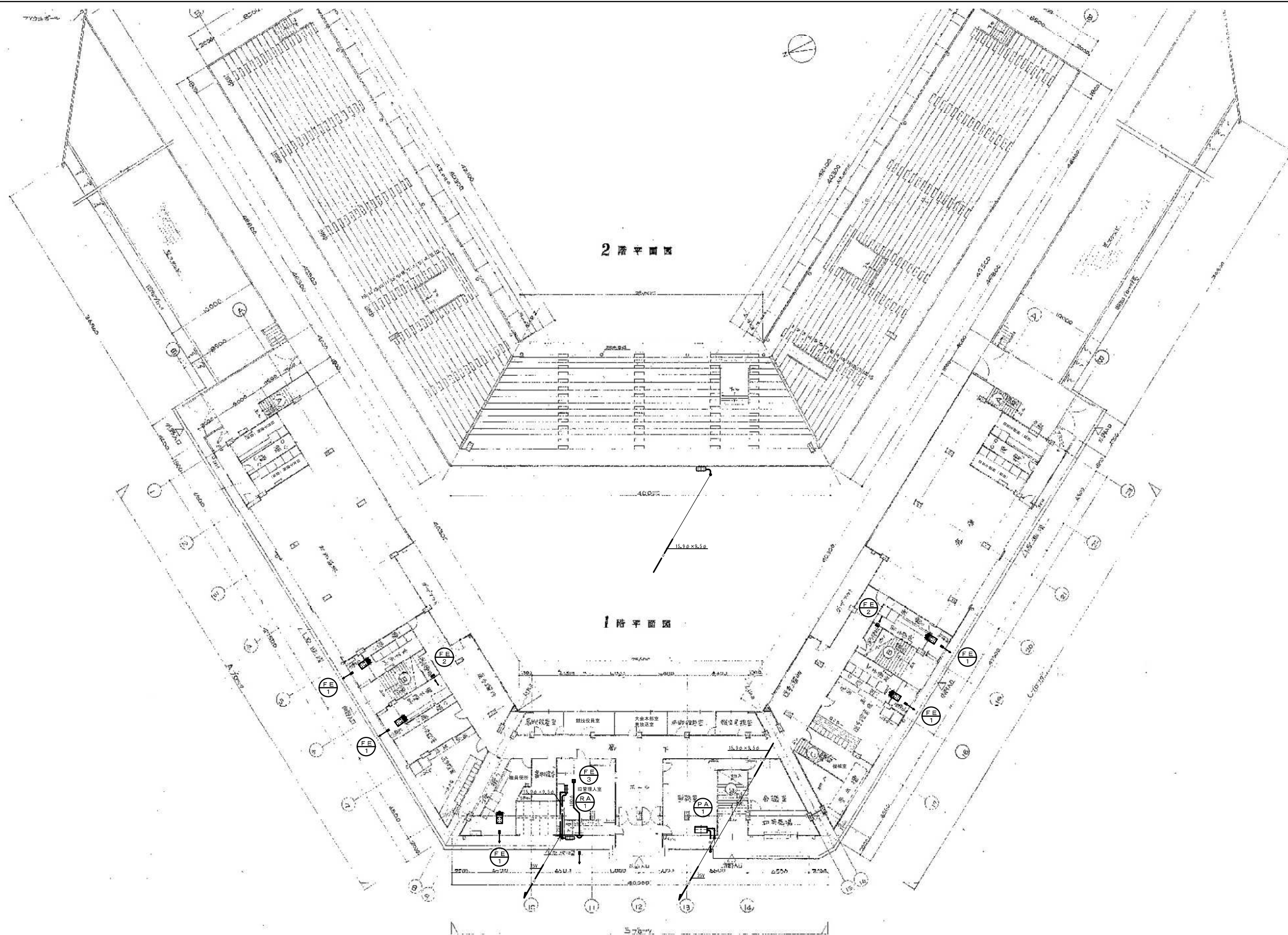


Cブロック平面図 1/100



排水縦断面図 V=1/20・H=1/200

(小口径種の蓋はφ400製鋼製リング付200#とす)



1階・2階平面図 (空調) 1/200